

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

令和4年度 山梨県立博物館年報

令和4年度
山梨県立博物館年報
Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



はじめに

令和4年度の県立博物館の活動は、昨年度末より開催しておりました企画展「伝える－災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」から始まりました。東日本大震災以降、私たちはいつ発生するかわからない災害について、より敏感に意識するようになりましたが、同展は未だ禍中にある新型コロナウイルス感染症という“災害”との関わり方についても、今一度考え直す機会となった展覧会かと思えます。続く夏期企画展「たんけん！はっけん！南極展－壮大な自然と人々の物語－」では、厳しくも美しい南極の自然環境について紹介し、また南極探検・観測において郷土出身の人々が重要な役割を果たしたことについてご紹介しました。秋期においては、山梨で発行された最古の地方紙である「峡中新聞」（現山梨日日新聞）が、創刊されてから150年の節目を迎えたことを踏まえ、企画展「山梨と新聞－知識ヲ広ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ－」を開催いたしました。シンボル展については、初夏に「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いととも」を、冬期に「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」を開催し、山梨における貴重な文化財を皆様にご紹介する機会を設けることができました。このように、本年度は幅広い視点から、山梨の歴史と文化をご紹介する展覧会を開催することが叶いました。昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から企画展を中止にせざるを得ない状況だったことを顧みれば、今年度はお客様に最後までお楽しみいただくことができ、感慨深く感じております。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題を4件実施しているほか、県費による総合・共同研究を継続して推進しております。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連の資料についても収集活動をおこない、博物館としてこの未曾有の状況について後世に残すべく、活動しております。

少しずつではありますが日常を取り戻しつつあるなかで、地域の博物館としての責務を果たすべく、館員一同、一層努めていく所存です。今後とも、皆様のご支援ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 守屋 正彦

目次

はじめに

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度 …… 1

- (1) 県立博物館の使命 …… 1
- (2) 県立博物館の評価制度 …… 1

第2章 通信簿ツアーの実施 …… 6

- (1) 通信簿ツアーの内容 …… 6
- (2) 通信簿ツアーの結果 …… 8

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス …… 22

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 …… 22
- (2) 令和4年度利用者状況一覧 …… 22

第2章 調査・研究 …… 26

- (1) 外部資金による調査・研究 …… 26
- (2) 県費による調査・研究 …… 28
- (3) 個別調査・研究 …… 30
- (4) 調査・研究成果の公表 …… 32

第3章 資料の収集・保管・活用 …… 35

- (1) 資料収集の方針 …… 35
- (2) 資料の収集 …… 36
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 …… 37
- (4) 資料の修復・管理 …… 37
- (5) 資料の活用 …… 38

第4章 展示 …… 40

- (1) 常設展示 …… 40
- (2) 企画展・シンボル展 …… 48
- (3) 展覧会関係刊行物 …… 69

第5章 企画交流事業 …… 70

- (1) 生涯学習サービス事業 …… 70
- (2) 博学連携 …… 73
- (3) 博物館同士のネットワーク …… 79
- (4) 広報 …… 79

第6章 施設の整備・管理 …… 80

- (1) 安全快適な施設づくり …… 80
- (2) 施設開放 …… 80

第7章 情報の発信と公開 …… 81

- (1) 資料閲覧室の利用状況 …… 81
- (2) 博物館総合情報システム …… 82
- (3) 博物館ホームページ …… 83

第8章 県民参画 …… 84

- (1) NPOとの連携 …… 84
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 …… 85

第9章 組織・人員 …… 87

- (1) 職員の資質向上 …… 87
- (2) 第三者委員会 …… 87

第10章 外部支援と連携 …… 89

- (1) 外部支援 …… 89
- (2) 外部との連携 …… 89
- (3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの
展示協力 …… 89

第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動 …… 91

- (1) 感染症対策日誌 …… 92
- (2) 施設の整備と来館者対応 …… 92
- (3) 情報発信と収蔵資料の活用・資料収集 …… 92
- (4) 展示・公開 …… 93
- (5) 博学連携 …… 93
- (6) 県民参画（NPO・協力会） …… 94
- (7) イベント …… 95
- (8) その他 …… 96

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿 …… 97

2 令和4年度予算額 …… 99

3 年間日誌 …… 99

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て令和4年度のものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」ジオラマの人形

第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

第 1 章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の抛り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命 3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第 II 編第 9 章参照）において評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定、さらに平成24年に開館6周年目から10周年目までの評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニ

ズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第 1 期評価制度で掲げた使命 1・使命 2 という県立博物館の使命に使命 3 を新たに加えた。

第 3 期評価制度（開館11周年年度めから15周年年度目まで）では、平成30年度から令和元年度にかけて、開館15周年目までの評価制度（以下「第 3 期評価制度」という）について「みんつく」で検討を行った。第 2 期評価制度を踏襲しつつ課題とされた「展示と調査研究」「情報発信」「博学連携」3つの重点項目を設けた。

第 4 期評価制度（開館16周年年度目から開館20周年年度目まで）は、令和 2 年度から検討を開始し、利用者評価の一部変更について検討した。これにより、評価体系自体は第 3 期の評価体系を引き継ぐものの、利用者評価については直接意見聴取会の実施と「通信簿ツアー」の質問項目精査と回数を削減することで承認を得た。これを受け、令和 3 年度より「通信簿ツアー」の質問数はおよそ半分に削減した。削除した質問は、これまでの実施により回答傾向が定まっている項目と、利用者の意見を反映しづらい設備などに関わる項目を中心とした。実施日程についても、年 2 回から年 1 回に削減し、11月の県民の日を中心とした複数日にわたり、来館者400人を目安として実施するよう変更した。さらに、利用者と職員が直接意見交換を行うことで博物館の課題の解決策を探る「意見交換会」も実施するよう変更した。

また、令和 3 年度には、第 3 期評価制度に基づき平成28年度から令和 2 年度までの運営実績の検証を行い、その結果を掲載した『山梨県立博物館総合評価報告書－開館15周年年度目までにおける評価結果－』を刊行した。これに基づき、令和 4 年度より、第 4 期評価制度における評価項目の検討を開始した。

■令和 3 年度から令和 7 年度までの評価項目

※評価方法 A は数値評価、評価方法 B は自己診断、評価方法 C は通信簿ツアーをそれぞれ指す。

※評価 A、B、C をふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行した。

使命 1	使命 2	使命 3
使命 1 に対応した活動目標	使命 2 に対応した活動目標	使命 3 に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

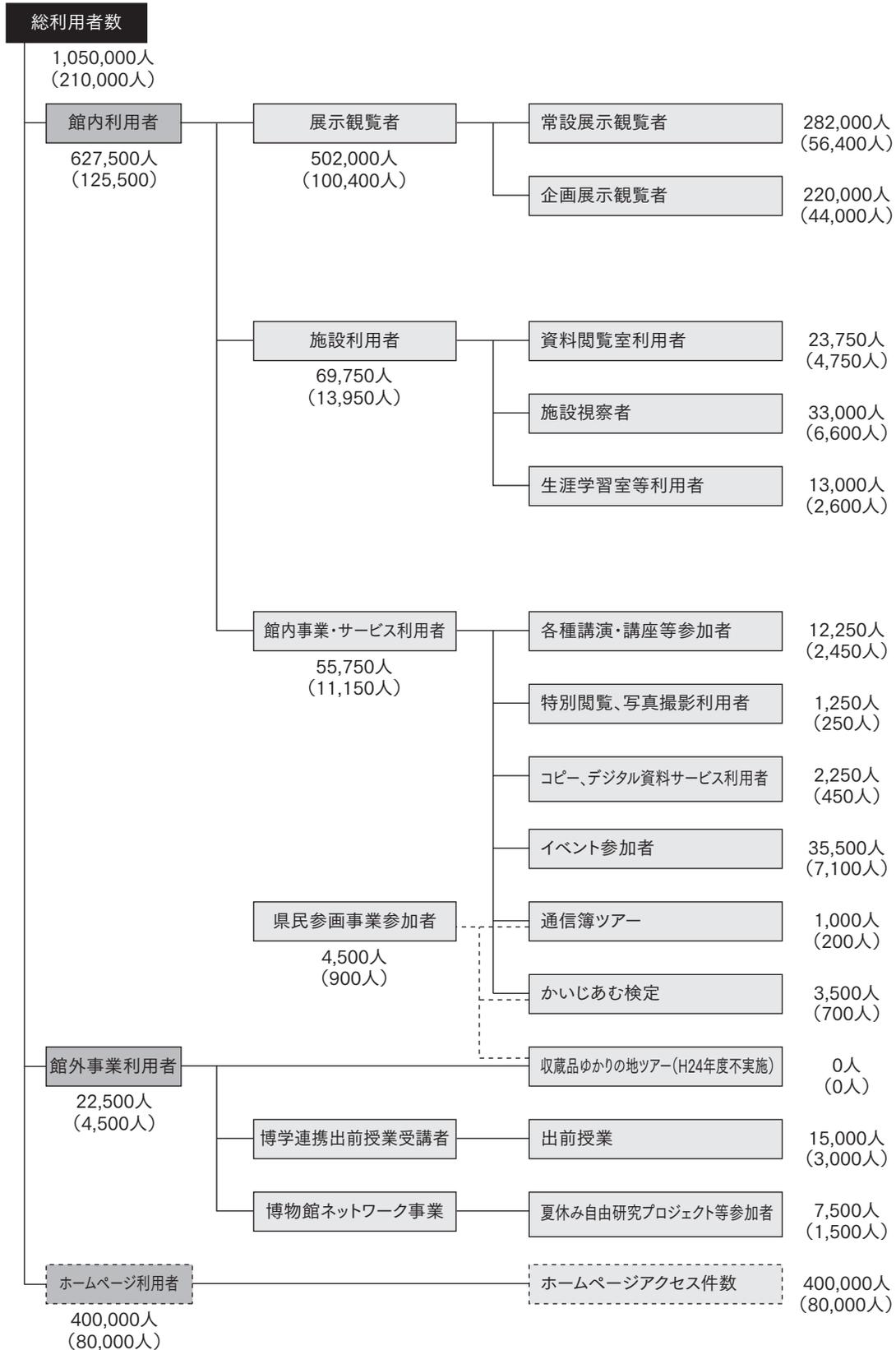
山梨県立博物館の使命	使命 1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命 2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命 3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館 6 周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 NPOとの協働などをとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 総利用者数（評価方法 A） 館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法 C） 利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法 B） 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法 B・C） 県民参画事業の参加者数（評価方法 A） 	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法 A） 科学研究費ほか外部資金の導入などをおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法 B） 県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法 B）
	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員及び共同研究者が行った調査・研究項目について一覧表化がなされているか？（評価方法 B） 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要や調査報告書類の作成・発行を行っているか？（評価方法 B） 館主催諸講座の開催数（評価方法 A） 館職員の館外担当講座数（出前授業も含む）（評価方法 A） 	

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをとおして、新たな資料情報を積極的に公開します。
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> 展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 常設展示の利用者数（評価方法A） 企画展利用者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。 博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A） 展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。 常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB） 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB） 常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A） 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> 県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。
	<ul style="list-style-type: none"> 年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 博学連携に関わる取り組み（評価方法B） 出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A） 貸出用キットの利用件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B） 各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B） 地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> 山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B） 緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B） バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B） 資料保存について措置を講じているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。 利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B） 展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」について支援することに努め、リファレンスをとおして開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。 リファレンス対応件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合には開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。 HPアクセス数（評価方法A） HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。 どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 ・NPOや協会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A） ・協会（ボランティア）の登録者数（評価方法A） ・協会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 ・利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC） 	
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 ・第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 ・職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） ・第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 ・館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B） ・山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B） ・文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B） 		

■山梨県立博物館 令和3年度から令和7年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…令和3年度（開館16周年年度）から令和7年度（開館20周年年度）までの目標値

※2 ()内の数字…令和3年度から令和7年度までの5年間における単年度の目標値

第2章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■令和4年度における通信簿ツアーの特徴

令和4年11月20日（日）～11月23日（水・祝）の期間に、県民参画事業（第II編第8章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照）。

令和4年度の通信簿は、次のような内容とした。参加者人数についても次に記す。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、館内イベントで一部人数制限されることもあったが、感染症対策を行うことで、企画展やイベントについては予定通り実施された。通信簿ツアーも令和3年度同様、秋期企画展開催中に一定期間実施日を設けることで、幅広い年齢層の来館者に意見を伺えたと考え、実施した。
- ・質問内容が多すぎるという参加者からの声を踏まえ、平成24年度からは、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図っている。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・通信簿ツアーの参加者（参加同意者）数は269名であった。

■通信簿ツアー評価項目

- A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりで、わかりづらいところはありましたか？
電車の最寄り駅電車 バス乗り場・路線 看板 目印になる建物 県道からの入口 その他
- B 受付（総合案内）や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか？
よい ふつう あまりよくない
- C 館内サービスについてうかがいます。
1. 障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。
 2. 外国人の方に対応したサービス（サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど）は充分だと思えますか？充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。
 3. 小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？こんなサービスがあるとうれしい！！というものがあればお聞かせください。
- D 展示室についてうかがいます。常設展
1. 常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したバナーやパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？
 2. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか？
 3. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？
 4. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
 5. 展示品の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ（クイズシートなど）についてのご

意見やご提案があればお聞かせください

6. 常設展で、山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください。
7. 常設展示室の横にあるにぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
9. 体験型展示では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験はできましたか？ご感想があればお聞かせください。

展示室についてうかがいます。企画展

10. 今回の企画展はいかがでしたか？よろしければ、どんなところに興味を持った（努力が必要と感じた）のか、感想も聞かせてください。
 11. 山梨県立博物館だからこそやってほしい・見たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。
- E 調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。資料閲覧室は博物館の図書館で古文書の閲覧やデジタル画像を見ることが出来ます。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
 2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
 3. 「古文書相談日」も開かれています。もし、お宅に古文書があれば相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
 4. 博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を見てどこかの地域に実際行ってみたいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。

F ショップや休憩室、お庭についてうかがいます。

1. レジの対応はいかがでしょう？
2. ショップでは、オリジナルグッズ（マスキングテープや手ぬぐい、絵葉書など）收藏品ゆかりのグッズ、展示会の図録・リーフレットを販売しています。品揃えはいかがでしょう？他にどのような商品があると良いと思いますか？
3. 県博とNPOで製作した、まちミュージアムガイドブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？
4. 現在、軽食・喫茶コーナーは営業しておりませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用した方はご感想をお聞かせください。試してみた方は、ご感想をお聞かせください。
5. オープンテラス（休憩室の外）やお庭で食事をとることができるのをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。
6. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。

G 博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？

1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？

H 博物館で働く人たちと交流できましたか？

1. 展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。
2. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。

I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
2. 博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
3. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことがありますか？

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポー

ト（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？

知っている 知らなかった

2. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見があればお聞かせください。

スタッフの案内・誘導 館内の誘導サイン 展示内容 解説文の見やすさ・わかりやすさ
博物館HPやTwitter ショップの品揃え 広報・情報発信 安全対策 その他

3. 博物館にきたことでもっと山梨県を知りたい、観光してみたいと思いましたか？気持ちに一番近いものに○をつけてください。

山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった

積極的に観光したいとまでは思わないが、歴史や文化に興味があった

観光したいとは思わなかったし、興味もわかかなかった

4. もう一度、この館に来たいですか？

また来たい もう来たくない

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

	回答数	評価者No.
年代		
小学生	3	
中学生	1	
10代	17	
20代	15	
30代	24	
40代	38	
50代	57	
60代	55	
70代	25	
80代	6	
90代	0	
無回答	28	
性別		
男性	130	
女性	111	
無回答	28	
来館回数		
初めて（1回）	90	
2～5回	86	
6～11回	30	
11回～	32	
無回答	31	
住所		
県内(市町村未記入)	67	
甲府	34	
峡東（笛吹・山梨・甲州・牧丘）	28	
中北（甲斐・南アルプス・昭和・中央・北杜・韮崎）	31	
峡南（身延・市川三郷・富士川・南部）	8	
東部（大月・上野原）	1	
富士北麓（富士吉田・富士河口湖）	6	

	県外（都道府県未記入）	6	
	関東（東京都）	17	
	関東（神奈川）	13	
	関東（埼玉）	11	
	関東（千葉）	2	
	中部（静岡・岐阜）	2	
	近畿（大阪・兵庫）	3	
	中国・四国・九州	1	
	海外	1	
	無回答	38	
	交通手段		
	電車	8	
	バス	7	
	自家用車	216	
	タクシー	2	
	徒歩	4	
	自転車	1	
	バイク	1	
	その他	1	
	無回答	29	
	来館目的		
	常設展	68	
	企画展	125	
	イベント	26	
	観光	35	
	学習、調査	12	
	その他（修学旅行）	13	
	同伴者		
	1人	54	
	家族	161	
	友人	14	
	団体	1	
	その他	6	
	無回答	33	
	質問内容・意見		
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりで、わかりづらいところがありましたか？		
	電車の最寄り駅	0	
	バス乗り場・路線	5	
	看板	21	
	目印になる建物	2	
	県道からの入口	18	
	その他	1	
	【ご意見】		
	・道路の入口がわかりづらい。		2
	・20号の表示がはげていた。 ・道路標識の字が消えかかっていた。 ・国道の看板がわかりづらい。 ・案内看板の劣化。		3・13・ 15・32・ 53・79・ 80・174・ 181・215
	・駐車場からの入口。		9・119
	・バスの本数が少ない。		25
	・大きな看板があるといいと思う。わかっても通り過ぎてしまう。		34

	・ナビは裏を誘導する。		38・189
	・土手から橋を渡る所に目印がほしい。		44
	・駅から来ました。富士急のバス乗り場が2つあって初め間違っていました。		72
	・はじめてきたとき、韮崎方面から20号線を通り、左折するところを間違えてしまいました。		120
	・駐車場		121
	・案内が少ない。		144
	・カーナビゲーション		114・152
B	受付（総合案内）や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか？		
	よい	190	
	ふつう	40	
	あまりよくない	4	
	【ご意見】		
	・車いすを増やしてほしい。押して動く、車やシルバーカーを増やしてほしい。		15
	・微笑んで迎えてくれています。 ・みんな笑顔で対応してくれました。		16・104
	・順路を誘導してくださる職員を配置しなくてもよいようにそもそも順路をわかりやすくするか、順路をなくしてもよいのでは？		24
	・順路がわかりにくかったです。		25
	・すばらしい。		33
	・もてなしの心を感じうれしく思いました。		35
	・親切丁寧な対応。 ・親切でとてもよい。		37・183・ 206・230・ 251
	・意外にスタッフが多くおどろいた。		62
	・少し声かけが多く感じた。		71
	・声をかけるときおどおどでした。		121
	・駐車場の警備員の態度が悪かった。		124
	・暗い。		198
	・ゆっくり見たいので、必要以上に話しかけないでほしい。		255
C	館内サービスについてうかがいます。		
C01	障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・案内がとても丁寧でした。 ・親切だと思います。		5・105・ 128
	・充実していた。		6・204
	・職員の誘導・案内		16・26・ 60・74・ 106・159・ 200・213・ 241
	・老眼鏡を忘れたとき、貸していただけるとありがたい。		23
	・目や耳、手足の障害に対応しているかどうか。		32
	・スタッフに展示について質問して良いのか？良いなら入口で伝えてほしい。		62
	・駐車場から車いすの距離がある（以前来館してみて）。		64
	・順路が悪い。		74
	・点字の追加。		81・138
	・誘導・案内が積極的でした。		104
	・父が介護2ですが、いすがもう少しあると助かります。		112
	・年寄りには暗いかも。 ・常設展は全体的に暗く説明が読みづらい。		121・172
	・トイレの案内。		144
	・対応について一般の人々に伝わっていないと思う。		162
	・体験型をふやしてほしい。		186

	・充実していて助かりました。		190
	・トイレが近くにほしい。		195
	・常設展で写真が撮れない博物館はほとんどありません。再考を。		210
	・常設展の段差が気になった。		217
	・展示の追加。		242
	・タッチパネルや展示物の位置が低くてかがむのが大変でした。		248
	・常設展の人形、もう少し明るくしてほしい。		253
C02	外国人の方に対応したサービス（サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど）は充分だと思いますか？充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。		
	【ご意見】		
	・充分だった。		6
	・館内の案内表示		37・158
	・音声ガイド		39・61・ 106・147・ 151・158・ 195
	・資料解説の英字表記、とても必要だと思う。		104
	・職員の案内、誘導		124・158
	・カラーのラインを床に塗装し、トイレ、常設展などに誘導する。		131
	・外国語パンフレット		138・158
C03	小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？こんなサービスがあるとうれしい！！というものがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・子ども用図書、積み木 ・今はコロナで難しいと思いますが、ちょっと遊べる積み木やLAQなど、遊べるコーナーがあると良いと思いました。		33・35・ 72・220
	・子ども向けイベントやクイズラリー ・子どもが飽きずにいられるイベント ・コロナ禍で難しいかと思いますが、子ども向けに体験型イベントやおまつり的なイベントがあるときやすいです。 ・子ども向けにもう少しわかりやすく、クイズラリーなどがあるとよいと思います。		36・39・ 101・138・ 152・159・ 186・195・ 218・220・ 233
	・イベントが多いと思います。		43
	・外で観察できるフィールドワーク資料が欲しい。		53
	・子ども向けイベント、小さくていいので、午前と午後2個ずつあるとしっかり遊べて助かります。何回かすると常設展を見つづ。特別展は、子どもには難しいものが多い。		55・81
	・授乳室の有無・場所をわかりやすく。		56
	・子どもが楽しめる遊具		60・61
	・プレゼント		104
	・体験		121
	・スタンプラリー		123
	・職員の案内、誘導		124
	・子どもが楽しめるイベントがありよかったです（クイズ・けん玉・紙漉き）。		128
	・ベビーカーがあったのでよかった。		183
	・子どもルームがあればよい。		185
	・子ども用図書が資料室からフロアに出て行って手に取りやすくなっていた。		225
	・低年齢の子ども向けと中学生、高校生向けのイベントを分けて開催してもらえると、年齢にあった勉強になると思います。		227
	・ネット		269
	・ふりがなをふってほしい。		254
D	展示室についてうかがいます。常設展		
D01	常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したバナーやパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？		
	気づいた		80
	気づかなかった		75

D02	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐるとき、迷われてお困りになることはありましたか？		
	迷って困った	16	
	迷わなかった	105	
	迷って探すのも楽しかった	38	
	【ご意見】		
	・順路は完全になくしてもよいと思います。		24
	・暗い。		144
	・困りはしないが、正直順路の案内もわかりにくい。		157
	・子が自由に見回っているのを探しながら展示をみられた。		235
	・親切的な誘導があったから迷わない。		269
D03	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？		
	文字の大きさ 適当	131	
	文字の大きさ 小さい	35	
	文字の大きさ 大きすぎる	0	
	内容 適当	140	
	内容 難しい	8	
	内容 もっと詳しく	6	
	【ご意見】		
	・文字の大きさ、内容など読みやすかったです。		10
	・ミニチュアが精巧でよかった。		49
	・難しいですが、例をあげて子どもがわかるようにしてほしい。		53
	・内容も濃くておもしろかった。		104
	・教育には十分だと思う。考古学と同じような内容が気になる。		14
	・暗くて読みづらいところがある。 ・暗いところの文字は読めなかった。		156・217
	・もっと知りたい！と思う解説文もあった。		235
D04	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	楽しめた	137	
	楽しくない	3	
	気づかなかった	16	
	【ご意見】		
	・以前より充実していると感じました。		13
	・オープン時のままなのか、リニューアルしたのかわからない。		32
	・後半に気づいた。 ・気づきにくい。暗いところは気づかないところもあった。 ・流れがわかりづらい。		78・88・ 121・176・ 252
	・1つだけでなく、2～3種類の展示品を入れてくれるといい。		92
	・仕掛けがあまりよくわからない。		96
	・早送りできるといいかな。		104
	・色々なところに仕掛けがあって楽しかったです。 ・いろいろ工夫があってすごくよかったと思います。 ・沢山おもしろい仕掛けがあるため、何回来ても楽しめる常設展です。		105・227・ 240
	・デジタルトランスフォーメーションの映像がきれいだった。		115
	・動きが悪かった。 ・タッチパネルの進みが遅いので時間がかかる。		129・223
	・引き出しが利用可能かわかりにくいかもしれない。		131
	・楽しいものと楽しくないものがあった。		132
	・引き出しがあることをわかりやすいように目立たせた方がよいと思う。引き出しをしまうときに指をはさむので、持ち手をつけたほうが良いと思う。		149
	・入場場所のロープはコロナでだれももたない、コロナでさわるものはだれも利用しない。30分前、10分前に放送は早すぎる。		189

	・縄の先からの音声がおもしろかった。しかし、説明がないと気づけないかも。		194
	・案内してもらってわかった。		267
D05	展示品の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ（クイズシートなど）についてのご意見やご提案があればお聞かせください。		
	解説 充実していた	117	
	解説 足りなかった	7	
	補助グッズ 充実していた	72	
	補助グッズ もっと増やしてほしい	18	
	補助グッズ 気づかなかった	15	
	【ご意見】		
	・山梨市の展示は、字（あざ）まで書いてほしい。		62
	・ワインの歴史とワイナリーとコラボし、観光の推進。		150
	・解説が難しいところがあった。		252
D06	常設展で、山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・山梨のCMの歴史		2
	・山梨は果実王国、果実栽培の歴史など展示しては？ ・果実地帯である歴史 ・ぶどうや桃の果物 ・ぶどう栽培		7・17・ 104・186
	・水晶等を入れてほしい。 ・宝石		16・104
	・地方病（ビデオとてもよかったです）について杉浦医院とコラボ。地方病について学ぶため東京から日帰りできました。地方病の展示があるのはこちらの博物館と杉浦医院くらいだと思うので今後もぜひ続けてください。 ・日本住血吸虫についてWikipediaで知り、興味を持ち、伺いました。常設展のVTRも見ることができ、当時の資料、本物の宮入具をみることでよかったです。この病気の発見自体が世界に先駆けたことだと聞いたので、その点のアピールをしてもよいかと思いました。世界的にはまだ終わっていない病気ですので、山梨県が発信することは非常に有意義だと思います。常設展示にしてくださってありがとうございました。勉強になりました。		24・25
	・全体として、内容も展示のしかたも工夫されていて、飽きずに楽しく興味をもてました。トップレベルで面白かったです。		35
	・富士山の歴史 ・富士山等の資料がない。		37・104・ 189
	・山梨の歴史、どのような変化をしてきたか。		53
	・南部氏についての展示		54
	・信玄公ゆかりの名所案内等		56
	・山梨のスポーツの歴史		76
	・武田家の関係資料 ・武田家の姫 ・武田信玄を増やして		89・104・ 153
	・紙漉き、金山、発酵食品（酒、みそ）		92
	・苗字の特性、薬袋、右左口など		111
	・昔の写真をもっと見たい。		112
	・昔の食べ物		121
	・歴史展・武具等		123
	・祭事など		144
	・ロタコなどの戦争遺跡、戦後の社会関係など。		148
	・文化財の展示を増やして		153
	・岩、石、地質		154
	・昔の山梨の地理がいつでも知れるとうれしい。		161
	・フルーツ公園の創設について		186
	・ワインの産地や種類などの展示。		187
	・日本刀		194
	・写真を撮るコーナーがほしい。		195
	・金山の場所がわかりづらく残念でした。（ジオラマのポイントが見えない）		217

	・ほうがうが人気になった理由。		223
	・巨富を築いた人々の展示は、台に乗せた方がいい。展示が低すぎて読むのに大変。また、入口にある衛星写真に山や川、大きな都市の名など書かれているとわかりやすい。		227
	・山梨県内の山の名前の由来などあれば面白い。		228
	・動植物、地質分野、自然史系		235
D07	常設展示室の横にあるにぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	楽しめた	85	
	楽しめなかった	6	
	【ご意見】		
	・孫と一緒にの時はここが楽しみ。		9
	・時間、人数制限の上再開してほしい。 ・体験できる日を楽しみにしています。		48・240
	・使用休止で残念です。 ・楽しみたかった。 ・入れなかった。		76・96・257
	・昔、来て楽しんだ思い出があるため。		77
	・入れなかった。		96
	・じっさいに体験できるのはいいと思う。		104
	・使用を開始したら子供は楽しいと思いますが、子供の声はうるさいと思うので、その辺はきちんと対応してください。		255
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	気づいた（知っていた）	70	
	気づかなかった（知らなかった）	51	
D09	体験型展示では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験はできましたか？ご感想があればお聞かせください。		
	楽しめた	32	
	楽しめなかった	4	
	参加したことがない	64	
	【感想】		
	・ぜひ、参加してみたい。		104
	・ただ、写真と字だけ。		121
	展示室についてうかがいます。企画展		
D10	今回の企画展はいかがですか？よろしければ、どんなところに興味を持った、または努力が必要と感じたのかも聞かせてください。		
	大満足	41	
	満足	96	
	今ひとつ	17	
	不満	1	
	【ご意見】		
	・とても見やすかったです。 ・今回の企画展はまとまっていて、解説もわかりやすくおもしろかった。		5・240
	・新聞と山梨の歴史も知ることができた。		6
	・照明の具合で説明が読みにくい。		9
	・写真が新聞の中に入ったこと。		16
	・明治、大正、昭和の情報展 ラジオ、テレビ、音響再生装置		32
	・新聞の中でも戦争についての記事の報じ方に興味をもった。		35
	・子どもには少しつまらない内容でした。合成写真はとても楽しめました。 ・大人には良いが、子ども（中学生くらいまで）には難しいと思う。		72・237
	・文字が少し小さい。 ・文字解説が多いのでもう少し大きな字で簡単な文面が望ましいのでは？		76・162
	・明治のものが多かったが、昭和の各年代の展示をみてみたい。		80

	・過去（発足）だけでなく、現在のサンニチまで取り上げてくれたのがよかった。 ・サンニチ新聞の歴史がわかってよかったです。	92・120
	・いつ新聞がはじまったか知ることができて興味深かった。	95
	・地元のことを知れてよかった。	104
	・最後のグリーンバックや現在の作成方法をきけて楽しかった。昭和の新聞社もよかった。	119
	・昭和の新聞社もよかった。 ・編集室も昭和30年代、40年代の雰囲気がよかったです。	119・120・184
	・古い新聞に興味をもった、戦時中等。	123
	・実際に体験できるものが多くあったのはよかったが、体験しやすいように目標をおいてほしい。	127
	・新聞文化の歴史が楽しく学べた。	141
	・県内にも多くの新聞社があったことを知った。新聞といっても初期のものは雑誌のようであった。	171
	・新聞の写真の中に入れてたり、整理部の仕事が体験できたりしたところに工夫があった。	183
	・県博の新聞資料の多さに驚いた。	189
	・現在にも通じるマスメディアと言論統制の歴史を知ることができた。	235
D11	山梨県立博物館だからこそやってほしい・見たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。	
	【ご意見】	
	・甲府城について	2
	・以前にも展示がありましたが、「木喰展・なつかしの昭和展等」昭和展については、もう一度行きたいとの話が周りでも多いです。	11
	・ぶどう、もも等歴史から現代へ	16
	・山梨の歴史、風土、文化などを旬のタイミングで実施してほしい。	31
	・化石	33・238
	・剥製、ミイラ、刀	33
	・恐竜展 ・福井恐竜博物館などの他の博物館と連携した企画展をしてほしい。特別展（科学館のような視点とはちがう視点で）	33・35・237
	・戦国武士の暮らし	35
	・富士山の歴史	37
	・山、関連の企画 ・南アルプスの山々、登山家	43・189・259
	・収蔵している資料の整理と展示（甲州文庫） ・甲州文庫に焦点をあてた展示をぜひやってほしいです。	50・258
	・江戸時代くらいの時代展、色がある展示物の方が子どもが見てくれる。 ・江戸時代に焦点を当てた民の生活様式	54・56
	・武田家のルーツや末裔の現在等	56
	・信玄公 ・武田信玄について ・武田三代 ・武田24将に焦点	60・61・153・259
	・今、昭和や平成がレトロとして注目されているので、県内の70年代から90年代のオウム事件、こうふ博、えびす講まつりを見たい。	62
	・山梨とスポーツ	76
	・森林（自然環境）	104
	・宝石	104
	・山梨の武将たちの展示を色々やってほしい。全国でもやっている展示を山梨でもやってほしい。	105
	・武田勝頼、小林一三、甲府勤番、根津嘉一郎	108
	・犬展をしてほしい。ねこ展をしたので。	109
	・人生が豊かになる様な企画展。以前、ブータンの展示を見ましたが、よかったです。	120
	・ロボットに関する展示、ファナックがあるからとかはおもしろいと思う。	127
	・災害、市町村の暮らし、出土品など	144
	・県内の俳句の歴史、人物、作品の詳しい紹介	147
	・仏教美術	153
	・古地図がみたい。	161

	・戦争 ・戦時中の山梨がどんなだったのかをしりたい。		169・252
	・山梨百名山の特色シリーズのようなもの。		171
	・山梨県民の今の生活		186
	・昭和の生活雑貨展		209
	・鉄道とリニアの展示		209
	・天津司の舞の展示が興味深かったので、県内の祭りや行事についても観てみたい。		240
	・子どもと一緒に楽しめる企画		254
	・山梨の地域性がわかるような企画展（特産品、県民性など）		255
	・山梨の自然と動物、甲斐犬、県の鳥獣、花。		259
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。資料閲覧室は博物館の図書館で古文書の閲覧やデジタル画像を見ることもできます。		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	入った	32	
	入らなかった	87	
	気づかなかった	14	
	【ご感想】		
	・静かな雰囲気 좋아요と思います。		162
	・何度も資料について相談させてもらっているが、いつもきめ細かく丁寧に対応していただいております。		235
	・敷居が高いような気がして入ったことがない。		240
E02	古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	わかりやすい	24	
	わかりにくい	4	
	使ったことがない	69	
E03	本年度は館内での「古文書相談日」が開かれています。もし、お宅に古文書があれば相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	相談してみたい	16	
	相談する必要はない	17	
	古文書を持っていない	60	
	【希望する相談内容】		
	・家の骨董品を鑑定してもらいたいです。		104
E04	博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を見てどこかの地域に実際行ってみたいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。		
	役立つと思う	71	
	役に立たないと思う	7	
	【ご感想】		
	・地域インデックスの情報はありがたいです。		11
	・気づかない。		17
	・パンフをいただきました。		35
	・ネットで可能だから、役に立たない。		60・61
	・他県の人にはありがたいことだと思う。		104
	・ウェブサイトがあれば		144
	・わからないことがすぐにわかるから。		238
F	ショップや休憩室、お庭についてうかがいます。		
F01	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	40	
	ふつう	28	
	わるい	0	
	利用しなかった	65	

F02	ショップでは、オリジナルグッズ（マスキングテープや手ぬぐい、絵葉書など）收藏品ゆかりのグッズ、展覧会の図録・リーフレットを販売しています。品揃えはいかがでしょうか。他にどのような商品があると良いと思いますか？		
	品揃えがよい	39	
	品揃えよいとは言えない	17	
	利用しなかった	58	
	【ご意見】		
	・今回図録が高価である。		92
	・もう少し頑張ってほしいです。		104
	・いつも同じ商品ばかりで西側の「ゴジラ」は3,4年飾ってあり、障害者は車いすでショップに入りづらい人がいた。		109
	・ここに来なければ買えない商品		150
	・大変いいものが売っている。		177
	・あんまり古い物を売らないで。		216
	・企画展の内容を反映したポストカードがあるとよいと思いました。		240
F03	県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？		
	興味がある	66	
	興味はない	34	
F04	現在、軽食・喫茶コーナーは営業しておりませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用した方はご感想をお聞かせください。試してみた方は、ご感想をお聞かせください。		
	利用したことがある。	19	
	利用したことはない	103	
	【ご感想】		
	・飲食コーナー、休憩スペースはコロナがおさまれば利用できるといいですね。		11
	・いつか利用してみたい。 ・あれば利用したい。		104・184
	・南極展の時、パン屋さん、かわいかったです。		105
F05	オープンテラス（休憩室の外）やお庭で食事をとることができるのをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。		
	知っている	32	
	知らなかった	96	
	【ご感想】		
	・広く明るく気持ちが良い。		9
	・オープンテラスはとても良いですね。		11
	・過ごしやすい。		76
	・イイ！		104
	・もっと気軽に利用できるように案内してもよい。		184
F06	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。		
	【ご感想】		
	・お庭もホットスペースです。		11
	・維持が大変かと思うが大切に景観や植栽を守ってほしい。		50
	・とてもきれいでした。 ・大変美しかったです。 ・緑がたくさんでよかった。		53・72・104
	・樹木内の遊歩道をもっと利用しやすく。木の名札を増やして。		56
	・広いので外に遊具もあつたら子供も楽しめる。		61
	・ボランティアの男性の声小さくて、聞きづらい。もう少し、県民にやさしく教えてほしいです。		109
	・外の床の汚れが気になった。		122
	・散歩に最適。木々の名札もありがたい。 ・一周散歩コースとしてグッドです。 ・時々散歩します。手入れされていて素敵です。		141・162・240

	・ぜひ、利用したい。		186
	・とてもきれいなので、庭や植物を見るのも季節毎の楽しみです。		198
	・まだ見たことがないので次にはゆっくり見てみたい、と思います。		237
	・GOOD！		269
G	博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？		
	知っている	56	
	知らなかった	68	
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	わかりやすかった	84	
	わかりにくかった	1	
	説明を受けられなかった	16	
	説明は不要	13	
	【ご意見】		
	・普通		17
	・気づかいがとってもいいです。		34
	・赤いジャケットのメガネの男性の方がとてもていねいに子どもに説明してくれて、大変うれしかったです。ありがとうございました。		72・102
	・赤いジャケットの男性の説明がとてもわかりよかったです。		
	・みんな穏やかでやさしかったです。		104
	・男性？女性だかわからない。一年中サンダルでいるので、服装を女らしくしてほしい。		109
	・声をかけてくれてわかりやすかった。		190・230
	・簡潔でわかりやすかった。		
	・毎度、声をかけてよいのか悩んでいます。展示内にいる方にはどなたにも質問して良いのでしょうか。		240
H02	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・とても明るいきいきとイベントに協力している様子が楽しそうで良いと思います。		11
	・非常に親切。丁寧でよい。		31・34・
	・やさしく対応してくれる。		37・53・
	・親切に説明してくれた。		91
	・関心です。		56
	・気軽に声をかけていただいてありがたかった。		102
	・いい感じ。		104
	・もう少し県民に対して優しく教えてほしい。あいさつもきちんとしていただきたいと思います。ボランティアの人は口のきき方をしらない。		109
	・紙漉き体験たのしかったです。		119
	・けん玉先生が優しく指導してくれたおかげで初めてでもできるようになりうれしく思いました。		130
	・展示について質問してよいのかわかりにくい。		162
	・多すぎない方がよいのでは。		185
	・必要な人が必要であれば利用できるサービスであってほしい。		255
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？		
	役に立った（知りたい情報があった）	62	
	役に立たなかった	5	
	ホームページは見えていない	67	
	【ご意見】		
	・バスや駅からの徒歩の地図を書いてほしい。		67

	・スマホもってません。		104
102	博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。		
	見たことがある	26	
	見たことはない	106	
	【ご意見】		
	・これで県民の日は常設、企画共に無料であることがわかった。		92
	・スマホもってません。		104
103	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（ http://www.museum-kai.net/ ）、利用したことがありますか？		
	利用したことがある	17	
	利用したことはない	105	
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？		
	知っている	57	
	知らなかった	98	
J02	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	スタッフの案内・誘導	47	
	館内の誘導サイン	17	
	展示内容	30	
	解説文の見やすさ・わかりやすさ	19	
	博物館HPやTwitter	1	
	ショップの品揃え	7	
	広報・情報発信	5	
	安全対策	4	
	その他	5	
	【ご意見】		
	・沢山のスタッフがいてわからないこともすぐ聞くことができる。		34
	・今はやっていない映像もあった。		92
	・いい意味で気軽に感じがしてよかった。		104
	・県民に対してあいさつしてほしいし、作業風を着るのをやめてほしいです。		109
J03	博物館にきたことでもっと山梨県を知りたい、観光してみたいと思いましたが？気持ちに一番近いものに○をつけてください。		
	山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった	57	
	積極的に観光したいとは思わないが、歴史や文化に興味をわいた	36	
	観光したいとは思わなかったし、興味もわかなかった	5	
J04	もう一度、この館に来たいですか？		
	また来たい	143	
	もう来たくない	4	
	【ご意見】		
	・企画展の内容によっては来たい。		93・198
	・料金を見直してほしい。		118
	・アンケートにお金をかけすぎ、小冊子にする必要を感じない。		236

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものを示す。

※「ご意見」欄は、重複意見は集約して掲載した。

■評価結果の分析

令和4年度の通信簿ツアーは、秋期企画展開催中に一定期間の実施日（11月20日～11月23日）を設けて実施した。通信簿の内容についても精査をし、昨年度同様、設問数を減らして実施した。博物館までの交通手段は圧倒的に自家用車の割合が多く、回答者全体の90%を占めた。リピーター来館者の割合については、回答者全体の62.9%であった。特に来館回数6回以上の割合が回答者全体の26.1%であった。したがって、自由記述欄への記入にも具体的な意見が見られたり、新型コロナウイルス感染症に対する対応策前後を比較してご意見をいただいたりと、参加者の博物館に対する期待の高さがうかがわれた。

平成18年度以来続けてきた通信簿ツアーは、寄せられた利用者の声に可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりの参考としてきた。

この結果、(B)「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？」という設問に対して、「よい」回答率が81.2%、「ふつう」回答率が17.1%であった。この指標については、例年高い回答率を得ているが、昨年度より、「よい」回答率についてはさらに上昇した。記述欄には、親切な案内や説明、丁寧な対応を受けたとする記述が数多く見られた。反面、「あまりよくない」と答えた来館者が4名見られ、自由記述欄には、「必要以上の声かけがあった」、「声をかけるときおどおどしていた」との意見もいただいた。

館内サービスについての項目では、(C01)「障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？」という設問に対して、職員の誘導・案内に対して評価をいただいている反面、館内の暗さ、展示物や案内板の見づらさを指摘するご意見をいただいた。引き続き、職員の丁寧な誘導や案内を希望する声が多数寄せられた。(C02)「外国の方に対応したサービスは充分だと思えますか？」という設問に対して、外国人に向けたパンフレットや外国語の解説や案内（音声ガイド）を要望する声が多かった。(C03)「小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思えますか？」という設問に対して、子ども向けイベント、案内・説明、子ども用図書についてのご意見や要望をいただいた。

次に、展示についてである。(D01)常設展が2ヶ月ごとに展示替えを行っていることについて、おすすめ資料を紹介したバナーやパネルに「気づいた」回答率と「気づかなかった」回答率がほぼ同数であった。テーマ性をもたせた展示替えは、資料保存の観点のみならず、数多く博物館に来館していただく方に対して、博物館が力を入れてきた活動であるが、2ヶ月ごとの展示替えを多くの来館者に周知できているかという点で充分だとはいいにくい結果である。今後も展示替えに関する継続的な広報の強化に努めることで、博物館の魅力につなげていきたい。また、開館以来続けてきたキャプション等の文字の大きさの課題(D03)についても改善が進んでおり、成果に表れているものの、「文字が小さい」「照明不足で暗くて見えにくい」など、引き続き改善を進めていく必要性が示された。その他としては、コロナ対策で引き出し式展示やタッチパネル式の映像、体験コーナー等が休止となっていることを残念がる意見が多かったが、年度後半になって一部施設を開放したことにより「楽しめた」との意見も見られた。(D06)「山梨でこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください」の設問に対しては、「富士山」、「武田家」、「郷土の自然」、「果実栽培の歴史」等、来館者の要望が数多く寄せられた。

企画展については、通信簿ツアー中に「山梨と新聞」が開催されていた。全体的な評価として、(D10)企画展を楽しめたかの設問での「大満足」「満足」回答率は88.4%（令和3年度45.2%）と昨年度に比べ高い評価となった。具体的な記述として、「新聞と山梨の歴史を知ることができた」、「編集室の雰囲気よかった」、「県博の新聞資料の多さに驚いた」、「古い新聞に興味をもった」とのご意見があった。また、(D12)企画展の希望テーマについては、「恐竜や化石」、「信玄公や武田家三代」、「甲州文庫」、「山関連の企画展」、「犬展」等、様々なご意見をいただいた。展示内容そのものについてのご意見は、今後の展覧会の計画を検討するうえで参考にしていきたい。

資料閲覧室の利用については、今年度は自由に閲覧利用ができるようになった。結果的には、「入った」と回答したのは32名（24.1%）と少数であり、「入らなかった」、「気づかなかった」と回答したのは101名（75.9%）であった。具体的な記述にも「静かな雰囲気でのよい」、「きめ細かく丁寧に対応していただい

りがたい」という意見があった反面、「気づかなかった」、「敷居が高い」との意見もあり、今後、利用方法についてさらなる周知を図っていく必要がある。

展示以外の施設については、館内レストランの再開や休憩スペースの設置を望む声が引き続き寄せられている。また、不定期に行っている移動販売についても要望が寄せられている。来館者サービスのため、食事ができるスペースや休憩場所等を含め利用者の声に応えることができるよう今後の課題としたい。

(F06)「お庭についてのご感想をお聞かせください」の記述欄には、「手入れがよくされている」、「散歩に最適」、「四季それぞれに楽しい」との高評価をいただいた。まだ知られていない部分も多いので、さらに広報に努めていきたい。

広報関係では、見た広報の種類の設問(I01)では、当館ホームページをはじめとするインターネットのほか、紙媒体、電波広報など利用者が多様な方法で情報入手して、来館していることが分かった。博物館が発信している公式ツイッター、ミュージアム甲斐・ネットワークのホームページについての認知度は低い水準であるが、インターネットを活用した情報発信により一層力を入れる必要がある。

最後に総合的な設問として、(J02)「博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか」について聞いてみたところ、よくなっている点として、「スタッフの案内・誘導」、「展示内容」、「解説文の見やすさ・わかりやすさ」を挙げる来館者が多かった。また、(J04)「もう一度、この館に来たいですか?」の設問には、全回答者の97.3%にあたる来館者が、「また来たい」と答えている。

以上、令和4年度の通信簿ツアーでは、これまでに改善を進めてきた事項の成果の蓄積が感じられるとともに、継続的な課題についても再確認することができた。また、リピーター来館者が多かったことから、新型コロナウイルス感染症に対する対応策前後を比較して好意的な意見をいただいたり、具体的な改善策を示したりする意見や要望が多く見られた。具体的な記述に関しては、利用者の県立博物館に対する期待の反映であると認識し、実施可能な内容は活動に反映させるとともに、運営や資料保存、その他の観点から実施不可能な内容については、その理由も含めて周知を図り、博物館活動に対する利用者の理解につなげていきたい。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、感染拡大に伴う要請等が出されたこともあり、人数制限やイベントの縮小、一部施設の閉鎖等、利用者には不便な思いをさせてしまうこととなった。今後は、新しい生活様式を踏まえたうえで、幅広い様々な利用者を想定し改善策を講じていく必要がある。少数ではあるが、苦情につながりかねない意見が見られたことは大いに反省すべき点である。可能な限りの利用者とのコミュニケーションを重視し、今後も県立博物館の使命と機能を果たしていきたい。そして、小さな課題も軽視せず、職員間で共有しながら改善に取り組んでいきたい。

(3) 意見交換会の内容

令和5年1月29日(日)に、生涯学習室にて実施した。テーマを「何を観たい? 展覧会のアイデア大募集」とし、これからの展覧会テーマや展示内容について意見を交わした。参加者は、事前申込による一般参加者6名、つなぐNPO2名、博物館職員7名の計15名であった。

当日は、各自が「こんな展示を観てみたい」、「もう一度やってほしい展示がある」といったアイデアや希望、秘めた熱い思いを語りながら、今後の県立博物館の展覧会について意見交換をした。

意見交換会で得られたアイデアや希望については、今後の博物館の運営や開催する展覧会に活かしていきたい。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編)第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。23頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

(2) 令和4年度利用者状況一覧

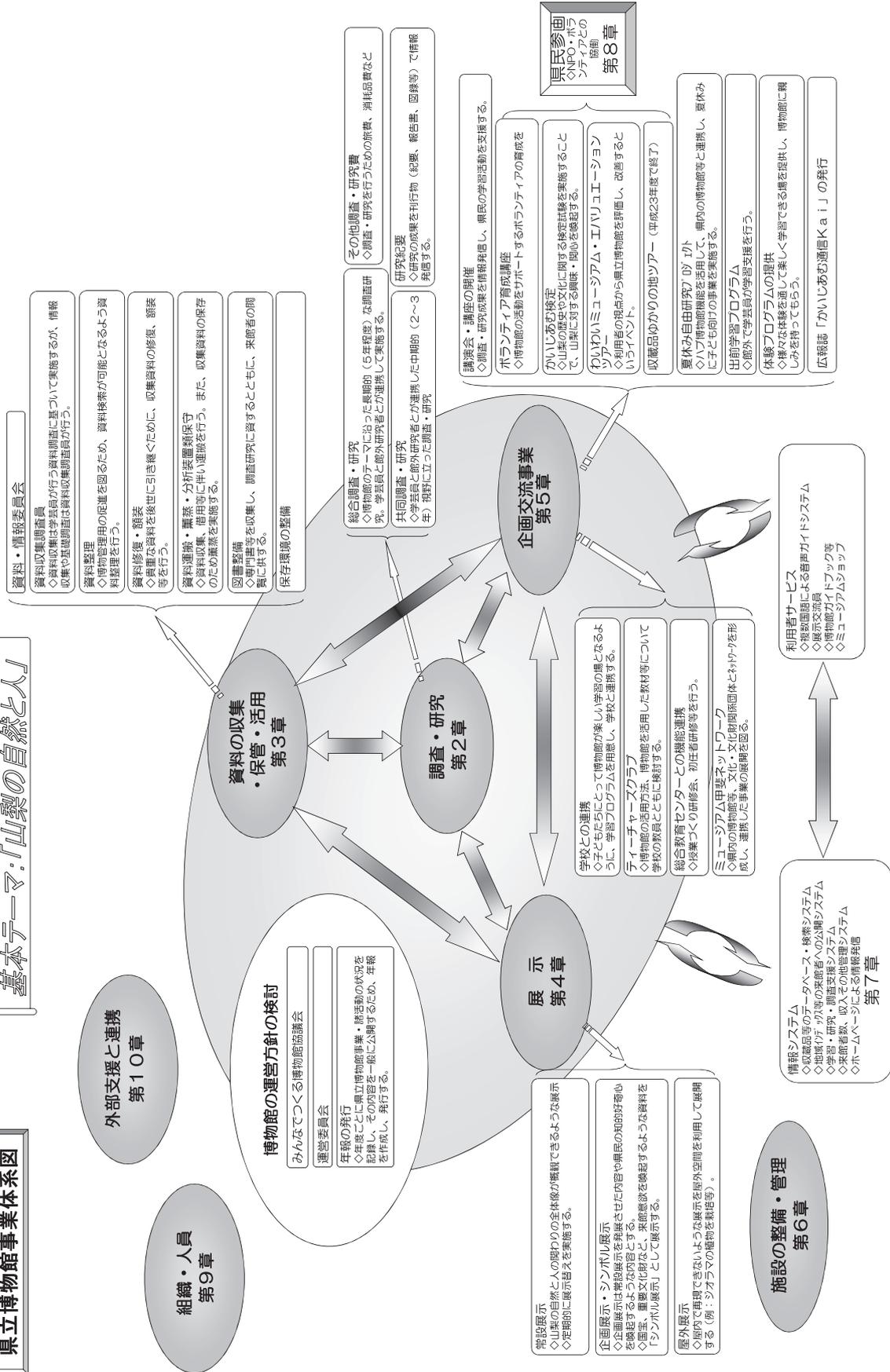
県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが24頁の「令和4年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

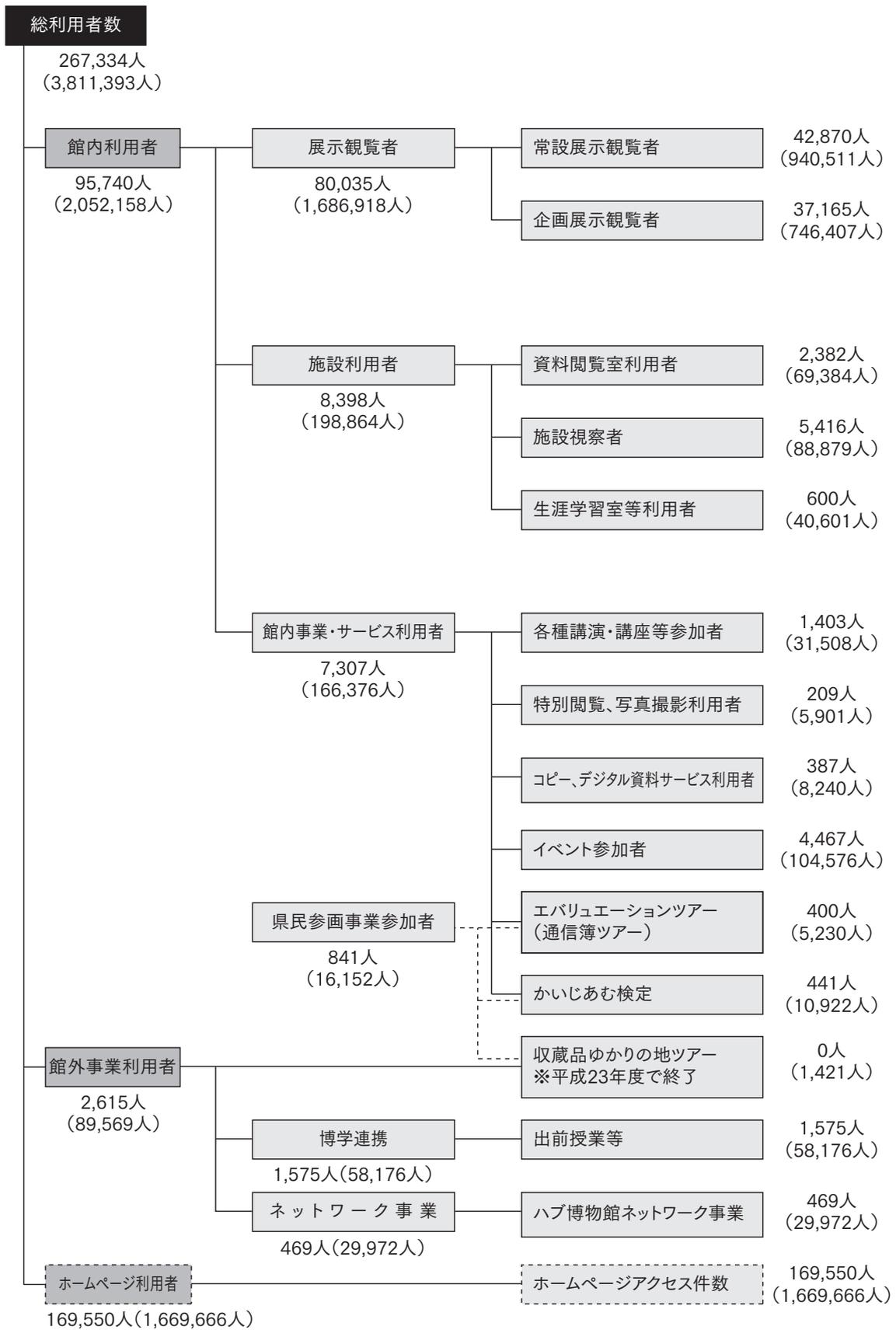
- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は令和4年度分(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から令和4年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から令和4年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17~26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

基本テーマ：『山梨の自然と人』

県立博物館事業体系図



■ 令和4年度 県立博物館利用者状況



※（ ）内の数値は平成17年度分から令和4年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から令和4年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者										
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)				イベント参加者	E/VIEWツアー	かいしおむ	博士学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホベ ー 用 者					
	常設展示 (券券数)	企画展示 (券券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	資料閲覧室 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 等 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー							かいしおむ	定	県民参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホベ ー 用 者
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	84	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	0	4,327	5,744	94,696
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	4,207	2,439	98,200
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	0	3,862	4,260	101,670
31年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903
2年度	148,749	36,078	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,877	185	400	100	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718
3年度	228,571	78,785	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798
4年度	267,334	95,740	80,035	42,870	37,165	8,398	2,382	5,416	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	0	1,575	469	169,550
計	3,811,393	2,052,158	1,686,918	940,511	746,407	198,864	69,384	88,879	40,601	166,376	31,508	5,901	8,240	104,576	5,230	10,922	89,569	1,421	58,176	29,972	1,669,666

■4年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者										
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)				イベント参加者	E/VIEWツアー	かいしおむ	博士学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホベ ー 用 者					
	常設展示 (券券数)	企画展示 (券券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	資料閲覧室 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 等 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー							かいしおむ	定	県民参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホベ ー 用 者
4月	14,426	4,443	2,947	1,673	1,274	439	93	284	62	1,057	852	13	19	173	0	0	60	0	60	0	9,923
5月	16,093	4,364	3,061	2,325	736	426	120	246	60	877	23	17	30	807	0	0	121	0	121	0	11,608
6月	15,046	2,875	2,322	2,322	0	372	110	235	27	181	76	15	27	63	0	0	316	0	316	0	11,855
7月	30,264	12,001	10,890	5,201	5,689	816	343	446	27	295	91	20	22	162	0	0	195	0	76	119	18,068
8月	51,742	25,971	22,256	9,717	12,539	1,894	684	1,193	17	1,821	79	16	41	1,685	0	0	147	0	0	147	25,624
9月	23,363	7,392	6,574	3,591	2,983	693	227	438	28	125	0	15	28	82	0	0	207	0	207	0	15,764
10月	17,249	4,544	3,890	2,678	1,212	386	125	192	69	268	43	15	28	182	0	0	258	0	171	87	12,447
11月	17,322	6,156	4,120	2,257	1,863	951	160	702	89	1,085	65	19	34	350	400	217	116	0	0	116	11,050
12月	8,498	2,012	1,423	977	446	493	62	424	7	96	20	14	19	43	0	0	0	0	0	0	6,486
1月	15,464	2,283	1,485	1,485	0	264	67	88	109	534	24	16	25	469	0	0	161	0	161	0	13,020
2月	15,901	3,222	2,469	2,469	0	367	138	169	60	386	22	23	47	70	0	224	401	0	401	0	12,278
3月	41,966	20,477	18,598	8,175	10,423	1,297	253	999	45	582	108	26	67	381	0	0	62	0	62	0	21,427
計	267,334	95,740	80,035	42,870	37,165	8,398	2,382	5,416	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	0	1,575	469	169,550

第2章 調査・研究

令和4年度における県立博物館の調査・研究は、外部資金である日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によるものとして前年度より継続して4件が行われている（「動物考古資料の食餌推定に基づく飼養化個体判別法の構築」[若手研究]、「地域に残る写真の保存・活用に関する調査研究」[若手研究]、「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」[基盤研究C]、「無形民俗文化財の活用及び教材化と「博・学・地域連携」の手法に関する実践的研究」[基盤研究C]）。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」（～令和6年度）を実施、共同調査・研究のうち「富士川舟運に関する基礎的研究」が最終年度を迎え、「月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」（山梨県立博物館蔵）に関する基礎的研究」（～令和6年度）を実施した。

各博物館職員がそれぞれの専門分野で行った個別調査・研究の成果については、『山梨県立博物館研究紀要』第17集のほか、関連する学術雑誌などで発表された。

(1) 外部資金による調査・研究

①科学研究費補助金 若手研究「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」（課題番号19K13425）

■調査・研究の目的

本研究は、(a) 琉球列島で家畜の飼養が開始された地域と時代、(b) 飼料や給餌方法にみられる地域差、(c) 琉球列島内に家畜が伝播した経路、の三点を明らかにする。

このうち項目(a)は、野生種とされてきた出土資料の歯に残された微細な傷の立体形状を計測し、ヒトに飼養された個体の特徴がみられる資料を探索する。また項目(b)では、遺跡から出土した「ブタ」の歯の表面に残された磨耗痕を、現在の放牧個体と屋内飼育個体それぞれと比較し、各時代の動物飼育方式を明らかにする。さらに項目(c)では各遺跡から出土したイノシシ類の歯がもつ形態学的類似性と島間の交流を比較検討する。

■研究体制

研究代表者 山田英佑（学芸員）

■活動記録

- ・令和4年5月13日（金）
現生イヌ科頭骨標本12点に対する線形計測（東京大学総合研究博物館）
- ・令和4年6月1日（水）～3日（金）
現生イヌ科頭骨25品種、111標本の計測と撮影（国立科学博物館筑波研究施設）
- ・令和4年6月24日（金）～27日（月）
イヌとオオカミの白歯に対する形態学的研究成果の報告（日本動物考古学会、豊橋市自然史博物館）
- ・令和4年9月22日（木）～23日（金・祝）
今後の研究体制についての協議（ふじのくに地球環境史ミュージアム）
- ・令和4年10月23日（日）
アケボノゾウ化石の撮影・計測とレプリカ作成（神奈川県立生命の星地球博物館）
- ・令和4年12月11日（日）～15日（木）
沖縄県内各地から出土したイノシシ類の歯の収蔵状況の確認（今帰仁村歴史文化センター、沖縄県立埋蔵文化財センター、浦添市歴史にふれる館）

- ・令和4年12月21日（水）

南アルプス地域及び周辺環境の自然史標本コレクションの閲覧と当該地域を中心とする研究展開の可能性の検討（飯田市美術博物館）

- ・令和4年12月26日（月）

自然学史・考古学等に関する文献の収集（鳥海書房）

■活動内容と成果

今年度は、前年度に引き続きこれまでに蓄積したデータの解析と考察に力点をおいて研究を進めた。その結果、当初計画で挙げた「家畜化の開始時期」と「家畜の交易ルート」の解明が大きく前進し、その成果を国際誌上で発表、議論を喚起することができた。さらに当初計画のあったもうひとつのテーマ「家畜利用の地域差」を解明する重要性が再認識されるとともに、対象動物を拡大した新たな研究の展開が期待された。

②科学研究費補助金 若手研究「地域に残る写真の保存と活用に関する研究」

（課題番号 20K13256）

■調査・研究の目的

近年、博物館に古い写真の紙焼きやフィルムが持ち込まれる事例が増えている。21世紀に入りデジタルカメラが普及するまでは、フィルムは日用品として膨大な量が流通しており、現在でも多くの紙焼き写真やフィルムが一般家庭や各施設に残っていると考えられる。日用品であり、思い出を記録するもの、アート作品として扱われることが多い写真は、一般的に歴史資料としての認識は少なく、博物館に持ち込まれるものは、ほんの一部であると考えられる。歴史資料として価値のある写真はどれくらい残っているのだろうか。本研究では、地域に残る写真の保存・活用に関する基礎データの取得を目的として、一般家庭や施設に所在する山梨県の歴史・文化・風景に関する情報を含む写真の紙焼きやフィルムの①現状調査および②デジタル化をおこない、③被写体情報の収集や④デジタルデータの活用方法の検討を行う。

■県立博物館担当職員

研究代表者 西願麻以（学芸員）

■活動記録

- ・令和4年4月～（継続中）紙焼き写真およびフィルムの情報収集・調査・デジタル化
- ・令和4年9月～10月 岡島百貨店写真展「岡島の歩み」にて古写真の展示および、アンケートによる被写体情報の収集

■活動内容と成果

本年度も、昨年度から引き続き、資料の調査およびデジタル化を中心に進めた。個人宅に所蔵されていたフィルム（昭和30年代及び前後・県内カメラマン撮影・数千枚）および、岡島百貨店所蔵のフィルムのデジタル化を行った。デジタル化した画像と、当館所蔵の写真を、岡島百貨店で開催した写真展「岡島の歩み」で展示し、アンケートで被写体情報の収集を試みた。約100件のアンケートの回答が得られ、被写体にまつわるエピソードや、昭和から現代までの百貨店と地域の人々との関わりがよくわかる情報が得られた。

③科学研究費補助金 基盤研究（C）「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」

（課題番号 21K00160）

■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧・木喰行道（五行、明満）は、現存作例が700体を越える、作仏聖と

してよく知られる。木喰は諸尊のほかにも自らの姿を写し取った「自身像」を多く制作しているが、その造形は仏の聖性の指標である「頭光」を表すとともに、後年は他の尊像とともに群像中に安置するに至った。こうしたことから、木喰行道の「自身像」の制作背景を明らかにすることは、当時の造仏を専らとした作仏聖が信仰の対象である「仏」と自身との間にどのような関係性を構築していたかを明らかにすることにつながると思われる。本研究では、木喰行道の「自身像」の造形的特色の変遷に着目して、作仏聖が抱いていた「仏」と「自身」と関係性に関する意識について明らかにしていく事を目的とする。

■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸員）

■活動記録

調査に先立つ情報収集・情報整理を進めるなどした。

■活動内容と成果

情報収集・情報整理を進めるに留まり、現地調査は依然として滞った。今後は積極的に現地調査を実施することとしたい。

④科学研究費補助金 基盤研究（C）共同調査・研究「無形民俗文化財の活用及び教材化と『博・学・地域連携』の手法に関する実践的研究」（課題番号 21K01013）

■調査・研究の目的

博物館における無形民俗文化財の活用・教材化に対する取組みは、日常的な博物館活動のなかで、「地域連携」「博学連携」として実践されているが、その教材化や「博学連携」の手法についての議論を積極的に行ってこなかった。また、収集した無形民俗文化財に関する資料・情報の活用と公開に対する要請は高まっているが、この研究にも積極的ではなかった。本研究では、博物館活動において無形民俗文化財を取扱うための課題を把握し、資料・情報の活用と教材化の手法や効果の検討を通じて、「博・学・地域連携」のあり方を構築し、その連携における地域博物館の役割を考察する。

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）

■活動記録

- ・令和4年4月～令和5年1月 天津司舞をはじめとした県内民俗芸能に関する調査研究と伝承状況の情報収集
- ・令和4年10月～2月 小学校や高等学校に対する県内民俗芸能等に関する教材提供や出前授業の実施、あわせて学校教育における無形民俗文化財の取り扱いに関する情報収集

■活動内容と成果

- ・活動のほとんどが調査と情報収集に留まった。次年度以降、教材化の手法や効果の検討、伝承団体との連携についても積極的に取り組みたい。

(2) 県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

当館は平成20年より大韓民国・国立清州博物館との学術研究交流協定を締結しており、令和元年12月からは4期目3年間を迎えた。本研究では交流協定をより実りあるものとするために、当館学芸員の韓国への派遣と清州博物館研究員の招聘をおこなう。交流事業の目的は第一に各学芸員の調査研究テーマを新たな視点で進展させることである。第二に日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じ

て、双方の博物館活動を充実させることである。

■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸幹）、海老沼真治（学芸員）ほか

■活動内容と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度に引き続き、韓国・国立清州博物館研究員の招聘及び県立博物館職員の派遣は実施しなかった。令和4年12月に4期目の協定期間が満了することにもない、両館合意のもと、5期目3年間の学術交流協定を締結した。

②共同調査・研究「富士川舟運に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

中野賢治（学芸員）

■活動記録

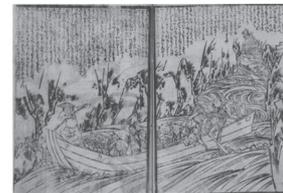
- ・令和4年度 富士川水運関係の先行研究・未翻刻資料の調査と整理
- ・令和5年3月31日（金）山梨県立博物館 調査・研究報告16『富士川水運に関する基礎的研究』刊行

■活動内容と成果

令和2年度から同4年度にかけておこなった文献・資料調査の成果を調査報告書にまとめ、刊行した（論考2本・資料翻刻4点）。またこれに関連した成果として、調査報告書に掲載した史料の分析に基づく論文「鯉沢における米取引―「松本御米仕切帳」の分析を通じて―」を当館研究紀要第17集（令和5年3月31日刊行）に発表した。

山梨県立博物館 調査・研究報告 16

富士川水運に関する基礎的研究



山梨県立博物館 調査・研究報告 16

報告書

③共同調査・研究「月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」（山梨県立博物館蔵）に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

松田美沙子（学芸員）

■活動記録

- ・令和4年6月6日（月）
- ・令和5年3月27日（月）

半田九清堂において「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」の修理状況の視察。

■活動内容と成果

資料の修理状況の確認とともに、先行研究など、必要な情報の整理を行った。今後はそれらの情報を展覧会及び報告という形で提供できるよう、整理していく予定である。

(3) 個別調査・研究

①調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
令和4年4月4日(月)	国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 西願 麻以
令和4年4月6日(水)	国立極地研究所 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 西願 麻以
令和4年4月6日(水)	山梨県立美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年4月10日(日)	天津司舞(甲府市)調査	丸尾 依子
令和4年4月13日(水)	南アルプス市美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年4月29日(金・祝)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	森原 明廣 中野 賢治
令和4年4月30日(土) ～5月1日(日)	金櫻神社太々神楽(甲府市)調査	丸尾 依子
令和4年5月2日(月)	下黒平能三番(甲府市)調査	丸尾 依子
令和4年5月5日(木・祝)	上黒平能三番(甲府市)調査	丸尾 依子
令和4年5月14日(土)	天津司舞(甲府市)人形調査・御成道聞き書き調査	丸尾 依子
令和4年5月17日(火)	昭和大学上条記念館(東京都) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年5月19日(木)	船の科学館(東京都) 所蔵資料の調査	西願 麻以
令和4年5月19日(木)～20日(金)	白瀬南極探検隊記念館(秋田県) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年6月6日(月)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和4年6月6日(月)	南アルプス市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年6月15日(水)	国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査	西願 麻以 海老沼真治
令和4年7月22日(金)	大蔵経寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	近藤 暁子 松田美沙子
令和4年8月10日(水)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和4年9月8日(木)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年10月17日(月)	福岡市博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和4年10月18日(火)	九州国立博物館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年10月24日(月)	真田宝物館(長野県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年10月26日(水)	身延山宝物館(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年11月7日(月)	早稲田大学図書館(東京都) 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和4年11月9日(水)	成田山書道美術館(千葉県) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年11月14日(月)	印章資料館(市川三郷町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年11月16日(水)	東京藝術大学附属図書館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年11月18日(金)	国立歴史民俗博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子

令和4年11月22日(火)	茨城県立歴史館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年11月30日(水)	大和文華館(奈良県) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月1日(木)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月2日(金)	山口蓬春記念館(神奈川県) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月2日(金)	松本市立考古博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月7日(水)	裾野市教育委員会 所蔵資料の調査 静岡県埋蔵文化財センター 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月8日(木)	長野県伊那市個人宅 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月12日(月)	広済寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月13日(火)	甲州市個人蔵 砲弾の科学分析調査	西願 麻以
令和4年12月13日(火)	沼津市明治史料館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月15日(木)	寺院(大月市)の環境調査	西願 麻以 海老沼真治
令和4年12月15日(木)	京都国立博物館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月16日(金)	古代オリエント博物館(東京都) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年12月16日(金)	東京国立博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和4年12月21日(水)	山梨県立美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月26日(月)	静岡県立美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和4年12月26日(月)	甲府城石垣の状態調査	西願 麻以
令和5年1月6日(金)	富士河口湖町教育委員会 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和5年1月7日(土)	一之瀬高橋(甲州市)の春駒調査	丸尾 依子
令和5年1月8日(日)	下市之瀬(南アルプス市)の獅子舞村回り調査	丸尾 依子
令和5年1月14日(土)	下市之瀬(南アルプス市)の獅子舞村回り調査	丸尾 依子
令和5年1月14日(土)	山梨市域道祖神祭り調査	丸尾 依子
令和5年1月15日(日)	山梨市牧平地区「お獅子のお年始」調査	丸尾 依子
令和5年1月17日(火)	天津司舞(甲府市)人形調査	丸尾 依子
令和5年1月17日(火)	千葉市美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和5年1月19日(木)	西念寺(富士吉田市) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和5年1月26日(木)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和5年2月6日(月)	天津司舞(甲府市)スクラップブック聞き書き調査	丸尾 依子
令和5年2月23日(木・祝)	岡島百貨店(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治
令和5年3月1日(水)	岡島百貨店(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 丸尾 依子
令和5年3月6日(月)	天津司舞(甲府市)祭礼準備調査	丸尾 依子
令和5年3月30日(木)	天津司舞(甲府市)祭礼準備調査	丸尾 依子

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
森原 明廣	博物館法改正と博物館施設への影響	モノ・構造・社会の考古学—今福利恵博士追悼論文集	今福利恵博士追悼論文集 刊行委員会	令和4年11月13日
近藤 暁子	シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」リーフレット		山梨県立博物館	令和5年1月21日
小畑 茂雄	地方病流行終息25年に寄せて	昭和町風土伝承館杉浦醫院編「地方病(日本住血吸虫症)を語り継ごう—流行終息宣言から25年—」	昭和町教育委員会	令和4年3月31日
小畑 茂雄	山梨県立博物館における新型コロナウイルス感染症関係資料の収集と現況について	「ネットワーク資料保存」第128号	日本図書館協会 資料保存委員会	令和4年6月
小畑 茂雄	白瀬南極探検隊員村松進の足跡	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
丸尾 依子	シンボル展「国指定重要無形文化財 天津司舞 900年の想いととも」リーフレット		山梨県立博物館	令和4年5月28日
丸尾 依子	天津司舞	国立劇場民俗芸能公演解説パンフレット	国立劇場	令和5年1月21日
丸尾 依子	昭和時代の天津司舞の復活をめぐる—天津司の舞保存会所蔵スクラップブックの時代—	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
海老沼真治	見性院殿—穴山信君の正室	丸島和洋編「武田信玄の子供たち」	宮帯出版社	令和4年4月12日
海老沼真治	武田信玄と子供年譜	丸島和洋編「武田信玄の子供たち」	宮帯出版社	令和4年4月12日
海老沼真治	武田・徳川同盟の成立と崩壊	黒田基樹監修「徳川家康のリアル」	株式会社インプレス	令和5年1月21日
海老沼真治	《史料紹介》遠光寺文書「河東惣導師免許状」	「身延論叢」第28号	身延山大学仏教学会	令和5年3月25日
海老沼真治	《資料紹介》甲斐國一宮淺間神社蔵 天正十七年「一宮御神領帳」	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
中野 賢治	鯉沢における米取引—「松本御米仕切帳」の分析を通じて—	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
中野 賢治	「山梨県立博物館 調査・研究報告 16 富士川水運の基礎的研究」		山梨県立博物館	令和5年3月31日
松田美沙子	改印から見る錦絵—「甲越川中嶋大合戦図」を中心として—	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
西願 麻以 他	恵林寺所蔵不動明王坐像青色体表部位の素材調査	「山梨県立博物館研究紀要」第17集	山梨県立博物館	令和5年3月31日
山田 英佑	遺跡出土イノシシ属から探る琉球列島の動物利用文化史	「月刊考古学ジャーナル」第773号	考古学ジャーナル編集委員会	令和4年9月24日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
森原 明廣	地域資源の保全と活用－山梨の文化財保護・活用の現状と課題－	山梨県立大学「観光高度化人材育成プログラム」	山梨県立大学	令和4年4月20日
森原 明廣	山梨の歴史－富士山から見た山梨の歴史－	山梨ことぶき勸学院南都留教室	南都留合同庁舎	令和4年5月13日
森原 明廣	山梨の歴史・文化－観光振興に役立つ山梨県立博物館の楽しみ方講座－	山梨県立大学連続講座「山梨の観光」	山梨県立大学	令和4年5月25日
森原 明廣	地域の歴史・文化的価値をどう活かすか－文化財の保護と活用の両立に向けて－	山梨県立大学連続講座「山梨の政策課題」	山梨県立大学	令和4年6月16日
森原 明廣	文化財という地域資源の保全と活用について	山梨県観光文化部職員研修会	山梨県立博物館	令和4年7月8日
森原 明廣	山梨の歴史－富士山から見た山梨の歴史－	山梨ことぶき勸学院甲府B教室	山梨ことぶき勸学院本校	令和4年7月29日
森原 明廣	山梨と海の関わりを学ぼう	海と日本プロジェクトin山梨	山梨文化会館	令和4年8月2日
森原 明廣	山梨の歴史－富士山から見た山梨の歴史－	山梨ことぶき勸学院甲府A教室	山梨ことぶき勸学院本校	令和4年8月5日
森原 明廣	博物館・文化財と学校教育－これからの「博学連携」を考える	博物館を利用した授業づくり研修会	山梨県立博物館	令和4年8月18日
森原 明廣	博物館法改正とその影響	日本考古学協会研究環境検討委員会	オンライン	令和4年8月27日
森原 明廣	山梨の歴史－富士山から見た山梨の歴史－	山梨ことぶき勸学院中北教室	北巨摩合同庁舎	令和4年9月9日
森原 明廣	山梨の歴史－富士山から見た山梨の歴史－	山梨ことぶき勸学院峡南教室	南巨摩合同庁舎	令和4年11月25日
近藤 暁子	仏像から見た甲斐源氏	甲斐源氏の歴史と文化を語る	韮崎市民交流センター	令和4年6月11日
近藤 暁子	山梨県立博物館の実務（展示関係）	山梨県観光文化部職員研修会	山梨県立博物館	令和4年7月8日
近藤 暁子	善光寺信仰を学ぶ	信玄公没後450年カウントダウン善光寺御開帳記念講演会	善光寺檀信徒会館	令和4年9月17日
近藤 暁子	仏に救いを求めて	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和4年9月27日
小畑 茂雄	山梨の近代化と文化	山梨英和大学 山梨学講座	山梨英和大学	令和4年5月2日
小畑 茂雄	山梨が生んだ甲州財閥について－若尾逸平の実像と功績－	甲府商工会議所 理財部会定例会	甲府商工会議所	令和4年6月15日
小畑 茂雄	甲府を舞台に活躍した人々－まなび・そだち・つくす－	甲府市青少年ジュニアリーダー研修会	青少年育成甲府市民会議	令和4年9月18日
小畑 茂雄	市民参加型交流プログラム 語り継ぐ、山梨県の地方病（日本住血吸虫症）制圧の歴史	第81回日本公衆衛生学会総会 特別企画 日本住血吸虫症	日本公衆衛生学会	令和4年10月8日
小畑 茂雄	山梨県の歴史・文化	令和4年度 新任職員研修	山梨県職員研修所	令和4年10月18日
小畑 茂雄	若尾逸平と甲府	甲府歴史講座～甲府を学ぶ～	遊亀公民館	令和4年10月19日
小畑 茂雄	地下鉄・青バスと鉄道王 一時代を的確に読んだ峽東の鉄道人たち	山梨近代人物館教育普及講座	山梨近代人物館	令和5年1月22日
小畑 茂雄	山梨が生んだ甲州財閥について	甲府商工会議所 観光運輸部会定例会	甲府商工会議所	令和5年2月10日
丸尾 依子	天津司舞	かいじあむ講座	山梨県立博物館	令和4年6月18日
丸尾 依子	博物館の普及活動～博学連携とは～	博物館を利用した授業づくり研修会	山梨県立博物館	令和4年8月18日
丸尾 依子	日本の伝統芸能 田楽～山梨に伝えられた人形田楽～	甲府西高校（音楽）	甲府西高校	令和4年10月19日
丸尾 依子	芸能解説「天津司舞」	国立劇場民俗芸能公演「祭りの四季」	国立劇場	令和5年1月21日
丸尾 依子	山梨の水の祭り	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和5年1月26日
丸尾 依子	春を告げる天津司舞～知られざる900年の物語～	甲府歴史講座～甲府を学ぶ～	遊亀公民館	令和5年3月16日
海老沼真治	武田家一族の歴史～「鎌倉殿の13人」の時代を中心に	笛吹市民講座	春日居あぐり情報ステーション	令和4年7月7日
海老沼真治	『甲陽日記』が甲府を伝える	甲府歴史講座～甲府を学ぶ～	遊亀公民館	令和4年7月21日
海老沼真治	鎌倉殿、甲斐源氏と3人の与一	中央市歴史講座	中央市豊富郷土資料館	令和4年10月15日
海老沼真治	語り継がれる精鋭たち 武田二十四将	山梨学講座～信玄公450回忌 郷土の英雄の素顔に迫る～	山梨県生涯学習推進センター	令和4年10月26日
中野 賢治	江戸時代北巨摩地域の人々のくらし一名主の活動を中心に	北杜市平田家住宅講座	平田家住宅	令和4年7月23日
中野 賢治	甲斐国の医学史－安政のコレラ流行と人々－	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和4年8月30日
中野 賢治	人々に仰がれる「信玄公」	山梨学講座「信玄公450回忌 郷土の英雄の素顔に迫る」	山梨県生涯学習推進センター	令和4年11月4日
松田美沙子	博物館・美術館における広報事例紹介	令和4年度ミュージアム甲斐・ネットワーク講習会	山梨県立博物館	令和5年1月27日
西願 麻以他	恵林寺所蔵不動明王坐像青色体表部位の色材調査	文化財保存修復学会第44回大会 ポスター発表	熊本県立劇場	令和4年6月18日

■ 県立博物館館内研究会

報 告 者	内 容	開催年月日
丸 尾 依 子	民俗文化にあらわれる山梨の「閉鎖性」	令和4年9月2日（金）
松 田 美沙子	絵画資料にみる山梨らしさ	令和4年11月10日（木）
小 畑 茂 雄	山梨県の近代史を中心に「山梨らしさ」を考察する	令和5年1月6日（金）
中 野 賢 治	新技術・知識の導入と「山梨らしさ」－嘉永年間の種痘導入を通じて－	令和5年2月17日（金）

③ 刊行物

名 称	発 刊 日	体 裁
企画展「伝える－災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」展示図録	令和3年3月20日	B5版、184頁
企画展「たんけん！はっけん！南極展－壮大な自然と人々の物語－」展示図録	令和4年7月16日	B5変形版、160頁
企画展「山梨と新聞－智識ヲ廣ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ－」展示図録	令和4年10月15日	A4版、96頁
シンボル展「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いととも」	令和4年5月28日	A4版、4頁
シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」	令和5年1月21日	A4版、4頁
『山梨県立博物館研究紀要』第17集	令和5年3月31日	A4版、104頁
山梨県立博物館・調査研究16『富士川水運に関する基礎的研究』	令和5年3月31日	A4版、49頁

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、8名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
新井勝紘	元専修大学教授	近現代史
黒田基樹	駿河台大学教授	中世史
小島孝夫	成城大学教授	民俗学
鈴木卓治	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
鈴木麻里子	甲府市文化財審議委員	美術史
内藤正人	慶應義塾大学教授	美術史
新津健	元山梨県埋蔵文化財センター所長	考古学
西村慎太郎	国文学研究資料館教授	近世史

■令和4年度の資料情報委員会開催状況

- ・令和5年3月 第35回委員会を開催
12件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

令和4年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	ぶどうず てんりゅうどうじんひつ 葡萄図 天龍道人筆	江戸時代の画家、天龍道人が描いた墨画の葡萄図。天龍道人は八ヶ岳などに多く作品が残っているが、葡萄の絵を得意としたことから、俗に葡萄和尚とも呼ばれた。	江戸時代	1幅
2	しもいわしたむらだいとくいんじょうりこうせん 下岩下村大徳院浄瑠璃口演ちらし	下岩下村の大徳院で行われた浄瑠璃口演の広告。若者組の活動や農村部への芸術文化の伝播と浸透の様子をうかがうことができる。	明治時代以前	1枚
3	くらはらむらよらいどうじょうりこうせん 蔵原村鑑堂浄瑠璃口演ちらし	蔵原村の鑑堂で行われた浄瑠璃口演の広告。若者組の活動や農村部への芸術文化の伝播と浸透の様子をうかがうことができる。	明治時代以前	1枚

■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	かなざくらじんじやぼんしゆんのず 金櫻神社晩春之図	金峰山山頂に至る登山道のうち、里宮御嶽金櫻神社から山頂の本宮、五丈岩までの登山道を描いている。江戸時代に制作され、木版で摺られた「甲斐国金峰山金櫻神社御嶽山晩春之図」と類似した図像を示すため、それをもとに制作された可能性もある。	江戸時代以降	1幅
2	しみずけしりょう 清水家資料	若尾逸平の親族にあたる、若尾義角の系譜の家に伝来した資料群。若尾家関係資料のほか、同じく逸平の親族である三枝雲岱の屏風や下絵類で構成されている。	江戸～明治時代	122点
3	しまだけもんじょ 島田家文書	松本村（現笛吹市）で村役人を務めた島田家に伝わった古文書。宗門人別改帳・五人組帳などの村方文書が中心。	江戸～明治時代	131点
4	たんののせつくかぎ 端午節供飾り	昭和17年（1942）に購入された端午節供の飾り一式。内箱に日本玩具統制協会のシールが貼られている。	昭和17年 （1942）	1式

■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	こうさいじんじょ 広済寺文書	室町時代の甲斐国守護武田信春によって創建された広済寺（臨済宗向嶽寺派）に伝わる古文書。山梨県内では数少ない室町期の古文書が含まれる。	室町～近代	32点
2	あみださんぞんらいごうず 阿弥陀三尊来迎図	一仏二菩薩形式の阿弥陀来迎図。画面斜めの構図を取り、観音菩薩と勢至菩薩を脇侍に、阿弥陀如来が往生者を迎えにくる様子が描きだされている。甲州市指定文化財。	室町時代	1幅
3	はちぼくず もくじきさく 八木図 木喰作	身延町出身の江戸時代の僧侶・木喰による版画。自身の88歳の米寿を記念し、自画像に和歌を添えて配布したもの。	文化2年（1805）	1幅
4	たきでらししゅうしゅうりょういっしき 滝口氏収集資料一式	北杜市在住の滝口氏が個人で収集した浮世絵類。葛飾北斎の「富嶽三十六景」のうち、「神奈川沖浪裏」や「凱風快晴」、「甲州石班澤」などが含まれる。	江戸時代	10点
5	おおくほかつのりけもんじょ 大久保勝徳家文書	大久保村（現富士川町）の村役人を務めた大久保家に伝わった古文書。『増徳町誌』に一部が紹介されているほか、『大久保村文書目録』で目録化・公開されている。	戦国～明治時代	1,490点

(3) 資料の整理・目録（データ）化

■歴史資料等の整理

収集した歴史資料等について、クリーニング、ナンバリング、目録作成（一覧表作成）、保管容器への収納、収蔵庫での保存を行っている。また、目録情報の総合情報システムへの登録・ホームページ上で公開を随時進めている。

■収蔵資料のデジタル化

利用頻度が高い古文書資料のマイクロフィルムのデジタル化を進めている。

■図書資料の整理

収集した図書・雑誌類は、随時、職員により分類整理し、資料閲覧室及び書庫に排架している。目録情報は総合情報システムへ登録し公開している。令和5年3月31日現在の登録件数は54,549点となっている。

(4) 資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

- ・「武田二十四将図」、紙本着色、江戸時代、1幅 縦84.3cm 横52.6cm

■資料の重要性

- ・法衣武者姿の武田信玄を中心に据え、その家臣総勢23名がその下に描き出された絵画資料。

■修復者

- ・株式会社 修護 東京都台東区上野公園13-14（文化財修理室〈東京文化財研究所内〉）

■修復の内容

- ・修復前の状況は、本紙の劣化が進み、折損やそれに伴う亀裂、欠失、絵の具の剥落等も確認され、表装の破損などが見られた。
- ・修理は解体のうえ、汚損の洗浄、絵の具の剥落止めなどを行い、本紙欠損部に補修紙を補填するなどした。さらに裏打ち紙を新調のうえ、折れ伏せを新たに施すなどして仕立て直しを行った。

■修理の状況



修理前全図



修理後全図

②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを試験的に導入している。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民や博物館利用者の学習や調査研究等に活用するため、資料情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日から開始した古文書等の即日閲覧は、令和4年度に27件80点、事前申請による閲覧は、28件386点であった。

資料撮影は、展示図録への掲載、調査研究などの目的で27件357点、資料画像の提供は、書籍等への掲載、テレビ番組での使用など127件310点であった。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、8件43点の貸出を行った。

■令和4年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	0件	4件	0件	4件	3件	0件	5件	2件	0件	2件	4件	3件	27件
	点数	0点	7点	0点	21点	4点	0点	12点	3点	0点	3点	12点	18点	80点
歴史資料等閲覧	件数	2件	4件	3件	3件	1件	4件	0件	4件	1件	1件	2件	3件	28件
	点数	3点	16点	22点	19点	1点	75点	0点	118点	1点	12点	73点	46点	386点
歴史資料等撮影	件数	2件	3件	3件	3件	1件	3件	0件	4件	1件	1件	2件	4件	27件
	点数	3点	14点	7点	19点	1点	61点	0点	118点	1点	12点	73点	48点	357点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	8件	6件	9件	8件	10件	8件	10件	9件	12件	12件	17件	18件	127件
	点数	22点	10点	40点	19点	11点	8点	16点	10点	17点	104点	27点	26点	310点
歴史資料等貸出	件数	2件	0件	0件	2件	1件	0件	2件	0件	0件	0件	0件	1件	8件
	点数	3点	0点	0点	6点	2点	0点	28点	0点	0点	0点	0点	4点	43点

第4章 展示

(1) 常設展示

令和4年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応しながら、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容にするとともに、来館者のリピートを促すよう図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度以来利用を制限していたもののうち、常設展示室内の引き出しケースなどについては、令和4年10月26日（水）から制限を解除し、利用を再開した。

■展示期間とテーマ

- ①令和4年2月16日（水）から令和4年4月18日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②令和4年4月20日（水）から令和4年6月20日（月）まで
展示テーマ「災いと人々 祈る・助けあう・乗りこえる」
- ③令和4年6月22日（水）から令和4年8月22日（月）まで
展示テーマ「ようこそ！ かいじあむ動物ワールドへ」
- ④令和4年8月24日（水）から令和4年10月24日（月）まで
展示テーマ「資料でめぐる山梨の旅」
- ⑤令和4年10月26日（水）から令和4年12月19日（月）まで
展示テーマ「やまなしの豊かな食文化」
- ⑥令和4年12月21日（水）から令和5年2月13日（月）まで
展示テーマ「招福！ かいじあむのお正月」
- ⑦令和5年2月15日（水）から令和5年4月17日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

■出品資料一覧

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会	○	①②③⑥⑦
原町農業高校前遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
土偶(山梨市宮ノ前(七日子)遺跡)	縄文時代	山梨県立博物館		④⑤
土偶(山梨市立石遺跡)	縄文時代	山梨県立博物館		④⑤
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦(鬼瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦(軒丸瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分尼寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館(原資料 佐久市教育委員会)		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本庵寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	(原資料 天平宝字6年(762))	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	(原資料 天平宝字6年(762))	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	(原資料 天平宝字8年(764))	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	(原資料 天平宝字5年(761))	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
倭名類聚抄(元和古活字本)	元和3年(1617)	山梨県立博物館		⑦
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横板板釘留短甲(複製)	(原資料 古墳時代)	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	原資料○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬上頸齒	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	(原資料 古墳時代)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	(原資料 古墳時代)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土大刀、鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③⑤⑥⑦
寺の前古墳出土鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土金環	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
狐塚古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③⑤⑥⑦
寺の前三号墳出土柄頭	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	(原資料 奈良時代)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	(原資料 天平10年(738))	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
聖徳太子伝暦	寛永5年(1627)	個人		③
日本書紀 卷二十八	享和3年(1803)	個人		④⑤⑥
水に取り組む				
石尊祭の葉束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	(原資料 江戸時代)	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	(原資料 天正3年(1575))	山梨県立博物館(原資料 個人)	原資料○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)	(原資料 江戸時代)	山梨県立博物館(原資料 長遠寺)		①②③④⑤⑥⑦
形代人形(南アルプス市大師東丹保遺跡出土)	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
雨乞いの仏像	不明	清水寺		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国絵図(甲州文庫)	宝暦6年(1756)	山梨県立博物館		①
武田家朱印状(保坂家文書)	天正5年(1577)	個人	○	①⑦
稲積地藏菩薩像(大木家文書)	寛政元年(1789)	山梨県立博物館		①
下条南割村絵図(千野家文書)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		②
武田家朱印状(保坂家文書)	天正5年(1577)	個人	○	②
甲陽軍鑑 卷一(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
宮脇村者共国府村編造い打擲不当の始末一件済口証文(甲州文庫)	文化13年(1816)	山梨県立博物館		③
日蓮大士真実伝	慶応3年(1867)	山梨県立博物館		③
普請目論見鑑	江戸時代	山梨県立博物館		③④
雨乞い祈願和歌写書(太田家文書)	文化14年(1817)	山梨県立博物館		③
富士山麓絵図(甲州文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		④
妙光院より雨乞祈禱に付書簡(五味家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		④
もじり籠に付波高島村相手の訴状(甲州文庫)	寛政10年(1798)	山梨県立博物館		⑤
富士川通もじり籠魚漁禁制廻文(頼生文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑤
下条南割村周辺堤防絵図面(千野家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
湯水に付植付用水引下仰付方願書(甲州文庫)	明和7年(1770)	山梨県立博物館		⑤⑥
徳島堰筋流路図(千野家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
徳島兵左衛門二百遠忌曼荼羅本尊	明治17年(1884)	山梨県立博物館		⑥
徳島堰迷惑につき西郡筋十日市場村言上(市河家文書)	寛文8年(1668)	山梨県立博物館		⑥
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人	◇	⑦
雨乞鎮守 三石大明神 宮再建立施入帳	文政4年(1821)	個人		⑦
戦国からのメッセージ				
勝山古記	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
令和4年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和4年(2022)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
河尻秀隆黒印状(洪江家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		①
妙法寺記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
織田信長禁制(今沢家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		②
勝山記写本(赤岡重樹旧蔵資料)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
小山田信茂判物(洪江家文書)	天正8年(1580)	山梨県立博物館		③
北条氏忠過所(洪江家文書)	天正10年(1582)か	山梨県立博物館		④
武田信玄書状(8月20日付、原与左衛門尉あて)	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		⑤
上杉景勝判物(市河家文書)	室町～江戸時代	山梨県立博物館	○	⑥
小山田信茂朱印状写(若尾資料)	天正5年(1577)	山梨県立博物館		⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
令和5年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和5年(2023)	山梨県立博物館		⑦
山に生きる				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金(一分金 甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大鋸	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
枳・焼き鏡	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装(再現品)	(原資料 昭和時代)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新規紙漉稼難造出入一件綴(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①⑦
山梨産紙沿革一斑(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		①⑦
横手山水晶試堀妨害に付吟味願(甲州文庫)	天保15年(1844)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
柴山并里焼畑寄帳(甲州文庫)	宝永7年(1710)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
乍恐以上書奉願上候御事(青原院移転につき、甲州文庫)	元禄16年(1703)	山梨県立博物館		②
乍恐以書付御注進仕候(雪解け場所山崩れにつき見分願、甲州文庫)	宝暦10年(1760)	山梨県立博物館		②
猪・鹿防ぎにつき差出シ申請負証文之事(甲州文庫)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		③
差上申鉄炮証文之事(甲州文庫)	弘化3年(1846)	山梨県立博物館		③
往来手形之事(甲州文庫)	弘化5年(1848)	山梨県立博物館		④
通り手形之事(甲州文庫)	文久4年(1864)	山梨県立博物館		④
下芦川村産物取調帳(太田家文書)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑤
本栖村去申産物表(太田家文書)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑤
川合村年中煎茶呑高書上(甲州文庫)	江戸時代(18世紀か)	山梨県立博物館		⑤
覚(茶運上請取につき)(甲州文庫)	宝暦12年(1762)	山梨県立博物館		⑤
御請申材木之事(甲州文庫)	万治4年(1661)	山梨県立博物館		⑥
参詣人永代船渡しにつき補任状(甲州文庫)	正徳元年(1711)	山梨県立博物館		⑥
紙漉高帳差出遅延一件吟味勘弁願(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
盗難糊入紙見聞につき口書(甲州文庫)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		⑥
壳渡シ申柴山手形之事(甲州文庫)	元文4年(1739)	山梨県立博物館		⑦
壳渡申柴山手形之事(甲州文庫)	元文5年(1740)	山梨県立博物館		⑦
里にくらす				
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
おかぶと(信玄)	明治時代か	山梨県立博物館		⑤⑦
婚礼盃之事(大木家資料)	不明	山梨県立博物館		⑤
婚礼の盃(樋口家資料)	明治時代以降	山梨県立博物館		⑤
食初めの食器	平成24年(2012)	山梨県立博物館		⑤
出産見舞の控(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑤
西保下村出産見舞受納帳(西保下村武藤家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		⑤
びんぶせ	大正時代以降	山梨県立博物館		⑤
アボ・ヘボ(上野晴朗氏収集資料)	現代	山梨県立博物館		⑤
初節句請納物控(大木家資料)	慶應元年(1865)	山梨県立博物館		⑤
初節句受納物控(大木家資料)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑤
初節句祝儀(市川家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		⑤
痘瘡見舞受納帳(大木家資料)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
ヒブセ(おやなぎ)	平成時代	山梨県立博物館		⑥
解説パネル(山梨の道祖神祭りとお小正月行事)	—			⑥
金草鞋十二編身延山道中記(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		⑥
一之瀬高橋の水祝儀の祝儀品(すりこ木)	平成22年(2010)	山梨県立博物館		⑥
「風俗画報」(頼生文庫)	明治24年(1891)	山梨県立博物館		⑥
「道祖神祭礼再開願」(西保下村武藤家文書)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		⑥
奈良田の小正月のツクリモノ(鉄砲・刀・福籠・オボコ・オカタブチ棒)	平成時代	山梨県立博物館		⑥
韓国扶餘出土 陽物形木簡(複製)	(原資料 538~567年)	山梨県立博物館		⑥
ハイボコサン	平成時代	山梨県立博物館		⑥
ヒイチ	平成時代	山梨県立博物館		⑥
アボ・ヘボ	平成時代	山梨県立博物館		⑥
山の神の弓矢	平成時代	山梨県立博物館		⑥
日本歳時記	貞享5年(1688)	山梨県立博物館		⑦
雛問屋差縫一件訴状并内済証文	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		⑦
おかぶと(カナカンブツ・桃太郎)	明治時代か	山梨県立博物館		⑦
初節句祝儀(市川家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		⑦
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑦
おかぶと(カナカンブツ・天狗)	明治時代か	山梨県立博物館		⑦
雛人形解説パネル	—			⑦
大和耕作絵抄	大正4年(1915)(原資料 元禄年間)	山梨県立博物館		⑦
流し雛(上野晴朗氏収集資料)	現代	山梨県立博物館		⑦
立雛(上野晴朗氏収集資料)	明治~昭和時代	山梨県立博物館		⑦
押絵雛(山梨県教育委員会収集資料)	明治~昭和時代	山梨県立博物館		⑦
押絵雛(山梨県教育委員会収集資料)	明治~昭和時代	山梨県立博物館		⑦
城下町の賑わい				
甲府城跡出土土甃瓦(復元品)	(原資料 江戸時代)	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐紋瓦	室町時代(16世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
稲荷曲輪出土家紋瓦	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
本丸出土花菱紋瓦	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋	江戸時代	甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐紋瓦	室町時代(16世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
武田晴信文像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①⑦
『川中島両将軍記』上・中・下(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		①⑦
『川中島烈戦記』(甲州文庫)	明治25年(1892)	山梨県立博物館		①⑦
甲府上府中組火消法被并纏図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
覚(火の元心得につき、甲州文庫)	天和2年(1682)	山梨県立博物館		②
郭内出火之節定書(甲州文庫)	元文3年(1738)	山梨県立博物館		②
『絵本三国妖婦伝 下編四』(長谷川家文書)	享和3年(1803)	山梨県立博物館		③
『釈迦御一代図絵 二』(長谷川家文書)	弘化2年(1845)	山梨県立博物館		③
『重刻 本草綱目 図巻下』(飯田文良氏旧蔵資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③
『風流使者記』(若尾資料)	近代	山梨県立博物館		④
『峡中紀行』(甲州文庫)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		④
『政談』(成島家文書)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		④
食物喰合之事(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
『料理物語』	寛永20年(1643)	山梨県立博物館		⑤
『当流節用料理大全』	正徳4年(1714)	山梨県立博物館		⑤
通送状之事(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑤
塩一件御用留(太田家文書)	明治2年(1869)	山梨県立博物館		⑤
六十四品 漬物塩加減(樋口家資料)	明治20年(1887)	山梨県立博物館		⑤
酒造商売要旨早算式(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
天保4年現金酒之通(太田家文書)	天保4年(1833)	山梨県立博物館		⑤
廻状(違作のため酒・菓子製造禁止につき)(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		⑤
魚町間別帳(甲州文庫)	享保13年(1728)	山梨県立博物館		⑤
魚町へ附近荷物他町にて直買直卸禁止町触(甲州文庫)	寛政3年(1791)	山梨県立博物館		⑤
魚渡世数願書(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		⑤
『甲府八日町正月初売之景 原画』(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑥
新年引札(関本家文書)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑥
道祖神祭礼の心得につき達(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑥
『義経勲功図会』(長谷川家文書)	文政9年(1826)	山梨県立博物館		⑥
『御成敗式目』(林貞夫氏旧蔵資料)	享保17年(1732)	山梨県立博物館		⑥
『済民記』(佐藤禪光文庫)	元和3年(1617)	山梨県立博物館		⑥
今川義元判物(森家資料)	天文21年(1552)	山梨県立博物館		⑥
『左伝助字法』(高室家資料)	明和6年(1769)	山梨県立博物館		⑥
『譚故書余 金陵文抄 乾』(甲州文庫)	明治9年(1876)	山梨県立博物館		⑥
『絵本 三国妖婦伝』(長谷川家文書)	享和3年(1805)	山梨県立博物館		⑥
『洋銀排除論』(大木家資料)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		⑥
『文明開化 新聞編』(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		⑥
差上申一札之事(万福寺・恵林寺内済につき)(甲州文庫)	明和7年(1770)	山梨県立博物館		⑦
口上覚(信玄公二百五十年遠忌につき、甲州文庫)	文化15年(1818)	山梨県立博物館		⑦
信玄公三百年遠忌化縁簿(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑦
差出申一札之事(山宮祭礼での暴力事件につき詫状、古屋家文書)	明和3年(1766)	山梨県立博物館		⑦
差上申詫一札之事(酒酔い不埒の儀につき詫状、甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑦
差出申一札之事(酒酔いのうへ悪口乱妨につき詫状、渡邊家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		⑦
御幸相延候覚書(坂名井家資料)	宝永元年(1704)	山梨県立博物館		⑦
『当国三社神幸由緒書』(坂名井家資料)	天明6年(1786)	山梨県立博物館		⑦
『甲斐国二之宮神前由緒書』(坂名井家資料)	天保5年(1834)	山梨県立博物館		⑦
姿貌する景観				
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図(複製)	(原資料 明治10年(1877))	山梨県立博物館		①②③⑤⑥⑦
大日本物産図会 甲斐国白柿製之図(複製)	(原資料 明治10年(1877))	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
生糸(県繭糸検査事務所資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐四郡村名尽(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①④⑦
甲斐通手振(赤岡重樹旧蔵資料)	(原資料 嘉永年間)	山梨県立博物館		①⑤⑥⑦
甲山峽水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		①⑦
歳云録(若尾資料)	大正6年(1917) (原資料 江戸時代)	山梨県立博物館		②③
パイ 疫済急法(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		②
甲府太田町公園全図(頼生文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		③
太田町公園絵葉書(上野晴朗氏収集資料(歴史資料))	年代不詳	山梨県立博物館		③
頂上ひとりあんない(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		④
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		④
富士登山と五湖めぐり(甲州文庫)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		④
『並山日記 三』(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		⑤⑥
葡萄苗木代金領収書(葡萄酒会社関係資料一括)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
ビールの資料・広告(複製)	明治7年(1874)	山梨県立博物館		⑤
甲州道中記(若尾資料)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑥
信仰の足跡				
役行者像(複製)	(原資料(平安～鎌倉時代(12世紀)))	山梨県立博物館(原資料 円楽寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻(複製)	(原資料 平安時代)	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)	原資料 ◎	①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像(複製)	(原資料 平安時代(12世紀))	山梨県立博物館(原資料 放光寺)	原資料 ◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、雑鎌)	平安～明治時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
蔵王権現立像	平安時代	山梨県立博物館	○	③④⑤⑥
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		①⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
渡唐天神像 策彦周良賛	室町時代(16世紀)	南松院	○	①(2/16～3/4)
蘭石図 雪窓普明筆	元時代(14世紀)	山梨県立博物館	重要 美術品	①(3/5～4/18)
大日本富士山絶頂之図(歌川貞秀筆)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		②(4/20～5/23)
三国第一山之図(歌川貞秀筆)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		②(5/25～6/20)
金峯山曼荼羅図	室町時代(15～16世紀)	山梨県立博物館		②(4/20～5/23)
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代(18～19世紀)	山梨県立博物館		②(5/25～6/20)
観音菩薩立像	鎌倉時代	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
富士山牛玉	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		③
隔搔録	文化13年(1816)	山梨県立博物館		④⑤
富士山諸人参詣之図(二代歌川国輝筆)	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
七福神図 木食白道作	江戸時代(18～19世紀)	山梨県立博物館		⑥
韋駄天立像	南北朝時代	円光院		⑦
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状(複製)	(原資料 応長元年(1311))	山梨県立博物館(原資料 大善寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本(複製)	(原資料 江戸時代)	山梨県立博物館(原資料 熊野神社)	原資料 ◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品(複製)	(原資料 建久8年(1197))	山梨県立博物館(原資料 個人)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗(複製)	(原資料 室町時代(16世紀))	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗(複製)	(原資料 室町時代(16世紀))	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
小桜草威燈 兜・大袖付(楯無鑑) 復元品	(原資料 平安～鎌倉時代)	山梨県立博物館(原資料 菅田天神社)	原資料 ◎	①②③⑥⑦
武田勝頼書状	天正8年(1580)	山梨県立博物館		①
武田勝頼像	江戸時代	山梨県立博物館		①
武田晴信書状	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		①
武田源氏一統系図写	大正5年(1916)	山梨県立博物館		①⑦
大般若波羅蜜多経	室町～江戸時代(15～17世紀)	日枝神社	○	②
武田信豊書状	戦国時代(16世紀)	個人		②
吾妻鏡 巻1	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		②
源平盛衰記 巻28	江戸時代	山梨県立博物館		②
一蓮寺過去帳(複製)	(原資料 室町～江戸時代)	山梨県立博物館(原資料 一蓮寺)	原資料 ○	②
駒馬図	江戸時代	山梨県立博物館		③
穴山信君書状	永禄12年(1569)	南松院	○	③
小笠原流故実伝書	天和2年(1682)	山梨県立博物館		③
吾妻鏡 巻13	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		③
源平合戦図屏風(右隻)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		④
川中島古戦場の遺蹟(赤岡重樹旧蔵資料)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		④
吾妻鏡 巻十六	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		④
源平合戦図屏風(左隻)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		⑤
穴山信君判物(南松院資料)	戦国時代	南松院	○	⑤
吾妻鏡 巻二十四	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		⑤
武田晴信像(複製)	(原資料 室町時代(16世紀))	山梨県立博物館(原資料 持明院)		⑥⑦
祝いのお膳	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
甲陽武備集覽	万治2年(1659)	山梨県立博物館		⑥
武田晴信朝臣百首和歌(甲州文庫)	文政3年(1820)	山梨県立博物館		⑥
武田晴信書状(2月1日付、北条あて)	戦国時代	山梨県立博物館		⑦
岩窪古碑銘拓本	江戸時代か	山梨県立博物館		⑦
武田家朱印状(天正4年4月7日付、赤津清次郎あて)	天正4年(1576)	山梨県立博物館		⑦
川を彩る高瀬舟				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸～明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土マクロ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
道がっなく出会い				
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑦
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸・美濃灰釉更	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑦
躑躅ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑦
東原常滑大甕	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑦
東原古瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑦
渥美短頸壺	平安時代(12世紀)	個人	○	①
瀬戸瓶	鎌倉～室町時代	山梨県立博物館	○	①
中国銭貨	室町時代	個人		①
後三年合戦絵巻 下巻	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		①
三月節供雛人形(大木家資料)	明治～昭和時代初期	山梨県立博物館		①
おかふと(上野晴朗氏収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		②
甲州道中図屏風(右隻)	江戸時代	山梨県立博物館	○	③
甲陽猿橋之図(歌川広重筆)	天保12～13年(1841～42)頃	山梨県立博物館		③(6/22～7/25)
六十余州名所図会 甲斐 さるはし(歌川広重筆)	嘉永6年(1853)	山梨県立博物館		③(7/27～8/22)
甲州街道道中絵図	江戸時代	山梨県立博物館		③(6/22～7/25)
諸国名所之内甲州猿橋遠景(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		③(7/27～8/22)
甲斐拾図記行	江戸時代	山梨県立博物館		③
身延参詣甲州道中膝栗毛(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		③
金草鞋十二編身延山道中之記(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		③
甲州道中細見記(甲州文庫)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		③
甲州街道(甲州文庫)	天保7年(1836)	山梨県立博物館		③
扇面 猿橋之図(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		③
扇面猿橋記(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		③
甲斐叢記(八珍果)(甲州文庫)	嘉永元年(1848)	山梨県立博物館		④⑤
甲斐名所寿古六(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤
身延参詣甲州道中膝栗毛(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		④⑤
大日本物産図会 甲斐国葡萄酒養園(複製)	(原資料 明治10年(1877))	山梨県立博物館		④
絵葉書大黒葡萄酒の光栄(葡萄酒会社関係資料一括)	大正11年(1922)	山梨県立博物館		④⑤
葡萄酒の法被	昭和時代	山梨県立博物館		④
葡萄酒紙(甲州葡萄酒紙貼付帳・甲州文庫)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		④⑤
葡萄酒紙	昭和時代	山梨県立博物館		④⑤
甲州道中記(若尾資料)	大正4年(1915) (原資料 江戸時代)	山梨県立博物館		④
葡萄酒のラベル(映中広告集・甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		④
「甘味葡萄酒」木樽(大木家資料)	明治時代	山梨県立博物館		④
ワイングラス(大木家資料)	江戸時代末期以降	山梨県立博物館		④
出産見舞いの控(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		④
日本人初めて汽車に乗る図(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		④
汽車運転開業につき達(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		④
横浜藤原忠右衛門より東油川村篠原家宛書簡(篠原家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		④
中央鉄道甲府ステーション石版図	明治36年(1903)	山梨県立博物館		④
中央線電化記念写真帖(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		④
中央線列車行先表示板	昭和時代	個人		④
中央線甲府・松本間電化開通記念国鉄中部支社記念品	昭和40年(1965)	個人		④
特急あずさ登場時の時刻表	昭和41年(1966)	個人		④
さまざまな記念切符類	現代	個人		④
特急かいじ30周年記念弁当	平成30年(2018)	個人		④
渥美焼 壺(金地蔵遺跡)	平安時代(12世紀)	笛吹市教育委員会		④⑤
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
御菓子袋(市川家資料)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(市川家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
御菓子袋(上野晴朗氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
先祖代々周回覚(大木家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/28)
八日町牡丹亭金升菓子店包紙(大木家文書)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑤(11/30～12/19)
川中島軍記之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/26～11/21)
川中島大合戦之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(11/23～12/19)
信玄公祭りポスター	昭和40～50年代	山梨県立博物館		⑤
信玄公祭りパンフレット	平成時代	個人		⑤
ぶどうの粒抜き	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
ぶどう栽培用高下駄	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
「天経感問」(窪田家文書)	享保15年(1730)	山梨県立博物館		⑥
「天経発蒙」(甲州文庫)	宝暦12年(1762)	山梨県立博物館		⑥
「富嶽百景」(頼生文庫)	天保5～6年(1834～35)	山梨県立博物館		⑥
享保十四年貞享暦(古屋家資料)	享保13年(1728)	山梨県立博物館		⑥

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
寛政十年寛政暦(古屋家資料)	寛政9年(1797)	山梨県立博物館		⑥
天文方高橋作左衛門阿蘭陀人江面会品々相贈候一件書付(甲州文庫)	文政11年(1828)	山梨県立博物館		⑥
天保十五年天保暦(古屋家資料)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		⑥
改暦の詔書并太政官達につき町触(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑥
明治六年癸酉頒暦(高室家資料)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑥
明治七年甲戌太陽略暦(邊見家資料)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑥
山梨県甲府勸業場之図(甲州文庫)	明治7年(1874)頃	山梨県立博物館		⑥
府県長官銘々伝(頼生文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑥
学制解説(甲州文庫)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑥
小学物理書 上(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑥
山梨県町村合併改称(甲州文庫)	明治9年(1876)頃	山梨県立博物館		⑥
甲州街道神奈川県下道路開鑿費義捐金人名(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑥
四猿(十一屋野口家資料)	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
石櫃(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区		⑦
徳川家康朱印状(右左口区有文書及び関連資料一括)	天正10年(1582)	宿区		⑦
徳川家康朱印状写(甲州文庫)	(原資料 天正10年(1582))	山梨県立博物館		⑦
徳川家康朱印状写(檜峰神社武藤家文書)	(原資料 天正11年(1583))	山梨県立博物館		⑦
徳川家康朱印状(国府村辻家文書)	(原資料 天正10年(1582))	山梨県立博物館		⑦
徳川家康朱印状写(大木家文書)	(原資料 天正10年(1582))	山梨県立博物館		⑦
徳川家康判物写(坂名井家資料)	(原資料 天正11年(1583))	山梨県立博物館		⑦
三月節供雛人形(大木家資料)	昭和時代	山梨県立博物館		⑦
抱き人形(大木家資料)	明治時代か	山梨県立博物館		⑦
江戸文化の往来				
新屋村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	①
下大野村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	②
朝日小沢村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	③
川合村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	④
駒宮村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
八ツ沢村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
下吉田村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田信玄像(村松定史家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		①(2/16~3/14)
武田信玄信州川中島出張之図	天保14~弘化4年(1843~47)	山梨県立博物館		①(3/16~4/18)
信玄公像(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
桜樹図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
扇面(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
扇面 菜花図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
山本勘助入道道鬼	江戸時代	山梨県立博物館		①(2/17~3/15)
甲越武勇伝 大膳大夫晴信入道信玄・板垣駿河守信形・甘利左三門尉晴吉・秋山伯耆守信近	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	山梨県立博物館		①(2/17~3/15)
天正八年上州膳の城攻め	元治元年(1864)	山梨県立博物館		①(2/17~3/15)
永禄四年九月四日川中島ノ合戦 山本勘助入道討死ノ図	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	山梨県立博物館		①(2/17~3/15)
武田二十四将図	江戸時代	山梨県立博物館		①(3/17~4/18)
甲越武勇伝 武田左馬助信繁・武田太郎義信・飯富兵部小輔虎昌・真田兵部之丞昌照	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	山梨県立博物館		①(3/17~4/18)
甲越武勇伝 横田備中守昌時・内藤修理亮昌豊・土屋右衛門尉直村・浅利式部之丞信吉	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	山梨県立博物館		①(3/17~4/18)
信州川中島大合戦 朝霧ふかく立ちおほふの図	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	山梨県立博物館		①(3/17~4/18)
地震後野宿の図	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(4/20~5/23)
ゑんまの子	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(5/25~6/20)
鯨の流しもの	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(4/20~5/23)
流行職人尽	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(5/25~6/20)
治る御代 ひやかし鯨	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(4/20~5/23)
地震小咄集	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(5/25~6/20)
持○長者	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(4/20~5/23)
地震よけの歌	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(4/20~5/23)
流行三人生砕	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(5/25~6/20)
鯨の玩具を囲む三職人	安政2年(1855)以降	山梨県立博物館		②(5/25~6/20)
砲臺禁宛歌	文化12年(1815)	山梨県立博物館		②
モーニッケ像	江戸時代	山梨県立博物館		②
波鯉図(中村豊春氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③
秋草の図(中村豊春氏収集資料)	明治時代	山梨県立博物館		③
月に鶉図(中村豊春氏収集資料)	明治時代	山梨県立博物館		③
鯉魚図(中村豊春氏収集資料)	近代	山梨県立博物館		③
緑桃図(中村豊春氏収集資料)	大正~昭和時代	山梨県立博物館		③
赤魚図(中村豊春氏収集資料)	近代	山梨県立博物館		③
富士山道知留辺 前編(甲州文庫)	万延元年(1860)頃	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
富士登山改帳(本庄家文書)	天保9年(1838)	山梨県立博物館		④
御影(大木家文書)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		④
身延行記(上)	元禄17年(1704)	山梨県立博物館		④
身延山 参詣道中 旅籠案内(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		④
身延山小遣覚(市川家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
富士山神宮并麓八海略絵図	江戸時代	山梨県立博物館		④
甲州道中身延詣図巻	文政6年(1823)	山梨県立博物館		④
耕作図屏風(大木コレクション)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
撫子図屏風(大木コレクション)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎沙干狩	元治元年(1864年)	山梨県立博物館	○	⑥
桃鳩図(大木コレクション)	江戸時代後期(17～18世紀)	山梨県立博物館		⑦
雛図(大木コレクション)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
春景山水図(大木コレクション)	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		⑦
桃源郷図(大木コレクション)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		⑦
桃花峯図(大木コレクション)	大正10年(1921)	山梨県立博物館		⑦
転換期に向き合う				
勝沼駅近藤勇騎勇之図(複製)	(原資料 慶応4年(1868))	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡(複製)	(原資料 明治時代)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)	(原資料 江戸時代(19世紀))	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『太政官日誌 第七』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①⑦
板垣退助写真(大木家文書)	近代	山梨県立博物館		①⑦
御官軍御宿割控(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①⑦
砲弾	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①⑦
『天保騒動記』(甲州文庫)	天保8年(1837)	山梨県立博物館		②
弘化四丁未年中録(甲州文庫)	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		②
『安政見聞録』上・中・下(長谷川家文書)	安政3年(1856)	山梨県立博物館		②
『北斎漫画 八編』(大木家文書)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
『北斎漫画 十編』(大木家文書)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
『博物新編訳解 卷之四』(坂名井家資料)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		③
大曲馬広告(甲州文庫)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
『海外新話』(高室家資料)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		④
『環海航路日記』上・下(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		④
『山梨県布達』海外旅券規則(甲州文庫)	明治11年(1878)	山梨県立博物館		④
日本帝国海外旅券(甲州文庫)	明治42年(1909)	山梨県立博物館		④
『山梨県甲府各家商業便覧』(甲州文庫)	明治18年(1885)	山梨県立博物館		⑤
牛肉大勉強販売広告(太田家文書)	明治32年(1899)	山梨県立博物館		⑤
滋養分肉舎規約(大木家資料)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		⑤
『日本・支那・西洋料理独案内』(大木家資料)	明治19年(1886)	山梨県立博物館		⑤
『増補日用西洋料理法』(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑤
正月年礼之儀に付御達(篠原家文書)	明治時代初期	山梨県立博物館		⑥
甲府郵便取扱所御開御布達并規則(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治20年(1887)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		⑥
巨富を動かす				
機山公社殿建設規則(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		①⑦
武田神社奉建会趣意書(甲州文庫)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		①⑦
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書(関本家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①⑦
甲府市三十年史(甲州文庫)	大正7年(1918)	山梨県立博物館		①⑦
武田神社写真帖(甲州文庫)	昭和13年(1938)	山梨県立博物館		①⑦
甲府駅発車時間表(三井家文書)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		①
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②
甲府停車場開通式(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		②
中央鉄道敷設に付意見書(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		②
甲信鉄道起業取調書(甲州文庫)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		②
山梨鉄道起業意見書(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②④
甲府繁盛壽語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
馬車広告(名取雅樹関係文書)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		③
馬車開業広告(大木家文書)	明治17年(1884)	山梨県立博物館		③
山梨馬車鉄道株式会社創業総案内書(関本家文書)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		③
鉄道馬車時間表(大木家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		③
都留馬車鉄道株式会社創立関係綴(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		③
明治元年道中諸入用控帳(篠原家文書)	明治元年(1868)	山梨県立博物館		④
東京より甲府迄の道中他諸費明細(太田家文書)	明治20～30年代	山梨県立博物館		④
中央東線鉄道線路概況(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		④⑤
旅行の友 創刊号(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		④⑤
甲武中央線井線旅行案内(甲州文庫)	明治38年(1905)	山梨県立博物館		⑤
月の牽の引札(上野晴朗氏収集資料(歴史資料))	明治23年(1890)	山梨県立博物館		⑤
国鉄監修・交通公社の時刻表	昭和48年(1973)	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑥
おもちゃ籠 補遺(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
小林一三著「練糸痕」(甲州文庫)	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		⑥
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		⑥
宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		⑥
箕面電車回遊双六(パネル)	大正時代	山梨県立博物館		⑥
小林一三の著書(『雅俗山荘漫筆 第二』、『私の行き方』、『蘭印をかく見たり』)	昭和7年～16年(1932～1941)	山梨県立博物館		⑥
東宝十年史	昭和18年(1943)	山梨県立博物館		⑥
東宝 新年特大号	昭和10年(1935)	山梨県立博物館		⑥
宝塚少女歌劇二十年史	昭和8年(1933)	山梨県立博物館		⑥
共生する社会【地方病とたたかい】				
スチブナール	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
死体解剖御願(写し)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
スチブナール(模造品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病に関する手紙(飯田家資料)	江戸時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
甲陽軍鑑 廿 終(甲州文庫)(パネル)	(原資料 江戸時代)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
翻訳断毒論(パネル)	(原資料 文化7年(1810))	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県下ニ起レル山地ノ水害調査書(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史(甲州文庫)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住民資料(若尾資料)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住者調(若尾資料)	明治40年(1907)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46 集束焼夷弾(模型)	-	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ヘルメット	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ビュースグ	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年(1941)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
支那事変いろはがるた	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたピラ(甲州文庫)	昭和20年(1945)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i 伝えるー災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料	令和4年3月11日(金)から5月9日(月)まで
	ii たんけん! はっけん! 南極展ー壮大な自然と人々の物語ー	令和4年7月16日(土)から9月5日(月)まで
	iii 山梨と新聞ー知識ヲ広ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リー	令和4年10月15日(土)から12月5日(月)まで
	iv 印章ー刻まれてきた歴史と文化	令和5年3月11日(土)から5月8日(月)まで
② シンボル展	i 国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いとともに	令和4年5月28日(土)から6月27日(月)まで
	ii 山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像	令和5年1月21日(土)から2月20日(月)まで

令和5年3月11日(土)から5月8日(月)まで実施した「印章ー刻まれてきた歴史と文化」については、令和5年度年報にて詳述する。

①企画展

i 伝えるー災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料

【会 期】令和4年3月11日（金）～5月9日（月）

会期日数60日、展示日数52日

【主 催】山梨県立博物館、UTYテレビ山梨

【企画製作】NHKサービスセンター

【特別協力】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協 力】山梨県消防協会、山梨県立防災安全センター、山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】3,207人

【担 当】学芸員 中野賢治、近藤暁子

【概 要】

大正後期から戦前期にかけて、同和火災（現あいおいニッセイ同和損保）の廣瀬鉦太郎氏が収集した1,400点余りの災害資料は、18世紀から20世紀初頭に日本全国で発生した各種災害をほぼ網羅している。これらの記録には、災害を擬人化して飄々と受け流す態度も見られる。人々の揺れ動く感情、それを乗り越えて後世に被害を伝えようとする姿勢は、災害・疫病の続く社会を生きる私たちと、驚くほど重なって見える。過去の人々は一体どのように災害を記憶し、伝えようとしてくれたのだろうか。本展ではその様子を146点の資料から紹介した。あわせて関連展示「山梨の災害」を行い、甲斐国の地震・火災・洪水・疫病について、20点の特徴的な資料から紹介した。

【関連イベント】

■記念講演会

- ・日時：4月24日（日） 13：30～15：00
- ・場所：山梨県総合教育センター
- ・講師：齊田季実治氏（気象予報士）

■地震体験

- ・協力：山梨県立防災安全センター
- ・日時：3月20日（日）、4月16日（土）、17日（日）、5月4日（水・祝）、5日（木・祝） 10：00～16：00（12：00～13：00は休憩）
- ・場所：職員駐車場

■学芸員による展覧会の見どころ解説

- ・日時：3月12日（土）、4月9日（土）、5月7日（土） 14：00～15：00
- ・場所：生涯学習室



展覧会ちらし



展示風景

【出品資料一覧】

●国宝、◎重要文化財、○都道府県指定文化財、◇市町村指定文化財

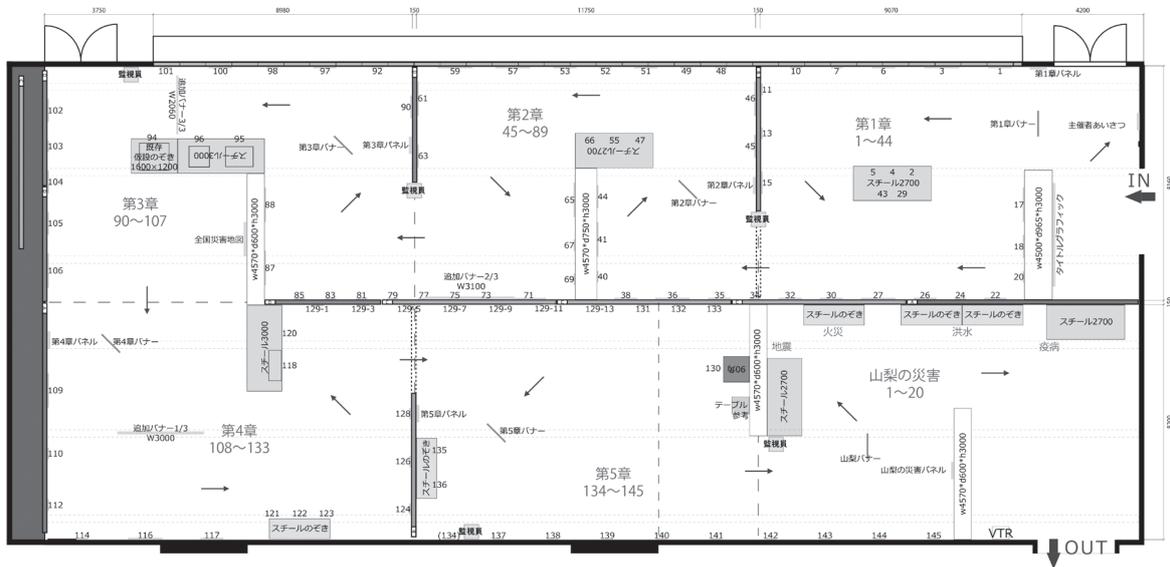
番号	作品名	製作時期	西暦・年代
第1章 京都・大坂の災害史			
1	新板京絵図	天明8年	1788
2	京洛中大焼節届の次第	天明8年	1788
3	天明八年京都大火図	天明8年	1788
4	天明八戊申年正月晦日京都大火ニ付諸事聞書	天明8年	1788
5	花紅葉都断 上・中・下	天明8年	1788
6	弘化四年丹後地方上り山一件	弘化4年	1847
7	京都出火略図	嘉永7年	1854
8	京都所々図絵	嘉永7年	1854
9	大坂船場大火	嘉永5年	1852
10	大坂南船場大火	嘉永5年	1852
11	嘉永七年大和外二か国大地震	嘉永7年	1854
12	諸国珍事末代記録鑑	嘉永7年	1854
13	嘉永七寅年大地震記	嘉永7年	1854
14	早飛脚廻りにてくわしき所本しらべ 大地震	嘉永7年	1854
15	本しらべ大坂大地震大破略記	嘉永7年	1854
16	本しらべ大阪地震の次第初編	嘉永7年	1854
17	嘉永七年寅十一月諸国大地震大津波并出火	嘉永7年	1854
18	嘉永七年寅十一月大坂大地震大津浪	嘉永7年	1854
19	嘉永七年寅十一月大坂大地震大津浪	嘉永7年	1854
20	京都出火略図	安政5年	1858
21	平安大火末代断	元治元年	1864
22	京都大火之略図	元治元年	1864
23	京都大火本しらべ	元治元年	1864
24	京都近世大火略図	元治元年	1864
25	京都大阪近世大火略図	江戸～明治時代	19世紀
26	京都大火記事	元治元年か	1864
27	本しらべ京都大火の説後編	元治元年	1864
28	京都大火大功記十段目抜文句	元治2年	1865
29	洛中大火夢物語	元治元年	1864
30	京大坂伏見大地震	文政13年	1830
31	慶応二年京坂地方大風雨之図	慶応2年	1866
32	慶応四戊辰年大洪水細見図	慶応4年	1868
33	大坂・堺・伏見火災絵図	慶応4年	1868
34	本しらべ城州伏見大火の図	慶応4年	1868
35	大阪・伏見出火の図	慶応4年	1868
36	大坂南堀江出火記事	享保9年	1724
37	大坂大火騒動絵図	天保8年	1837
38	米高直ニ付大阪市中にほどこし名前録後編	天保8年	1837
39	大阪大火之図	文久3年か	1863
40	大坂大火場所附	文久3年か	1863
41	大阪今昔三度の大火	文久3年	1863
42	大阪今昔四度の大火	明治42年	1909
43	大阪大火画報 第十六号	明治42年	1909
44	嘉永年間より米相場直段并年代記書抜大新版	慶応4年か	1868

第2章 江戸の災厄と絵画			
45	嘉永三年江戸落雷の図	嘉永3年	1850
46	落雷骨接泥鏝療治	嘉永3年	1850
47	震雷考説 全	安政3年	1856
48	家苦ばらい／ほうぼうへ逃状の事	江戸時代（安政頃か）	19世紀
49	明暦大火の図	明治32年	1899
50	明暦大火回向院供養の図	明治32年	1899
51	るいせう道しるべ 上・中・下	文化8年	1811
52	守札 大矢山日行寺	江戸時代	19世紀
53	焼死大法会図	安政2年か	1855
54	江戸地震施餓鬼の図	安政2年	1855
55	安政見聞誌 上・中・下	安政2年	1855
56	地しんの辨	安政2年	1855
57	安政二卯年十月二日夜地震大花場所一覽図	安政2年	1855
58	安政二卯十月二日地震焼場所附	安政2年	1855
59	安政二卯十月二日大地震附類焼場所	安政2年	1855
60	関東大地震并出火	安政2年	1855
61	安政二年大地震の絵	安政2年	1855
62	大地震記事	安政2年	1855
63	関東類焼大地震	安政2年	1855
64	安政二年十月二日夜亥刻大地震焼失市中騒動図	安政2年	1855
65	四ツ目ヨリ天神川通り堤上ニテ江戸ノ方ヲ見ル図	安政2年	1855
66	安政二乙卯年大震大火の図	安政2年	1855
67	泪如来の損像	安政2年か	1855
68	大坂下りなまづのかるわざ	安政2年	1855
69	じしん百万遍	安政2年か	1855
70	地震百万遍	安政2年か	1855
71	大合戦図	安政2年か	1855
72	地震吉凶之弁	安政2年か	1855
73	鯨筆を震	安政2年か	1855
74	鯨と職人たち／鯨大尽の遊び	安政2年か	1855
75	鯨に金銀を吐かされる持丸	安政2年か	1855
76	ほね抜どぞう／なまづおなんぎ大家場焼	安政2年か	1855
77	ゑんまの子のわけ	安政2年か	1855
78	なまづの力ばなし／なまづの夫婦やきもちばなし	安政2年か	1855
79	浮世辻うらなひ	安政2年か	1855
80	即席鯨はなし	安政2年か	1855
81	あら嬉し大安日にゆり直す	安政2年か	1855
82	鯨を押える鹿島大明神	安政2年か	1855
83	神馬と鯨	安政2年か	1855
84	鯨を蹴散らす伊勢神宮神馬	安政2年か	1855
85	打身骨抜即席御りやう治	安政2年か	1855
86	新板東海道地震双六	安政2年か	1855
87	大嵐水入場所明細書之写	安政3年	1856
88	江戸十里四方大嵐出水焼失場所附	安政3年	1856
89	呉服橋外桶町河岸つむじ風之図	安政5年	1858
第3章 諸国の災害と復興			
90	肥前国島原之図	寛政4年か	1792
91	島原半島之図	明治時代	19世紀

92	前山破裂当時の図	明治時代	19世紀
93	島原市街傍近風景	明治時代	19世紀
94	弘化丁未春三月廿四日信州大地震山頽川塞湛水之図	弘化4年	1847
95	弘化丁未夏四月十三日信州犀川崩激六郡漂蕩之図	弘化4年	1847
96	弘化丁未信濃国大地震之図	弘化4年	1847
97	信州大地震届書写し	弘化4年	1847
98	かわりけん	弘化4年	1847
99	弘化四年信州地方大地震	弘化4年	1847
100	江戸鯨と信州鯨	弘化4年	1847
101	安芸国大水図	嘉永3年か	1850
102	忘れまい沼津見立	天保10年	1839
103	甲州身延山大地震	嘉永6年	1853
104	越後の国大地震	文政11年か	1814
105	北越震動誌	安政5年か	1858
106	十箇国大地震の図	嘉永7年	1854
107	伊勢伊賀志摩近江尾張美濃大地震の図	嘉永7年	1854
第4章 近代の災害とメディア			
108	濃尾大地震後図	明治24年	1891
109	濃尾大地震図	明治24年	1891
110	岐阜県下大地震災之統計略表	明治24年	1891
111	岐阜県愛知県大地震実況	明治24年	1891
112	尾濃大地震	明治24年	1891
113	丹波国福知山洪水被害の図	明治29年	1896
114	京都市民被害者に諸物品を送るの図／大津近傍洪水被害惨状の図	明治29年	1896
115	両親愛子の最後を見送るの図ほか三図	明治30年	1897
116	三陸海嘯絵報	明治29年	1896
117	岩手県青森県宮城県大海嘯画報	明治29年	1896
118	明治丙申三陸大海嘯之実況	明治29年	1896
119	越喜来の小学校教員御真影を捧げ出すの図／篝火の為に命を拾ひ得たるの図（釜石町）	明治29年	1896
120	震災画報 全	大正13年	1924
121	各地災害図会	明治32年	1899
122	社会史研究 第十卷第四号 日本震災史	大正12年	1923
123	風俗画報 第三十六号 震災記聞前号の続	明治24年	1891
124	孝婦姑を救はんとして還て非命に終る図／危急に臨み親友に記念を託す図	明治24年	1891
125	大名の奥方立退の図	明治32年	1899
126	弘化三年正月本郷丸山大火の時越前屋鳥を放つの図	明治32年	1899
127	焼跡見舞図	明治32年	1899
128	安政二年十月江戸大地震之節火災一覽の図	明治32年	1899
129	火災の図	大正12年	1923
130	帝都大震災（絵ハガキ）	大正12年	1923
131	厩橋々畔の夕景／本所天神橋通り（写真）	明治43年	1910
132	罹災者の各種風俗	明治43年	1910
133	吾妻橋サッポロ麦酒会社附近ほか七図（絵ハガキ）	明治43年	1910
第5章 疫病との向き合い方			
134	痘瘡治療法	江戸時代	19世紀
135	安政午秋頃痢流行記	安政5年	1858
136	はしか毒いみ心得艸	文久2年	1862
137	疫癘速かに治する妙薬法	文化12年	1815
138	流行暴瀉病療治方	安政5年	1858

139	流行暴瀉病療治の御触書の写	安政5年	1858
140	大日本数量附暴病御救人別之写	安政5年	1858
141	厄除わらふ門 初編・二編	文久2年	1862
142	当時流行病療養妙伝	江戸時代 (安政頃か)	19世紀
143	流行癩疹やくばらい	江戸時代	18世紀
144	しんぱんない物づくし	文久2年	1862
145	癩疹養生法	江戸時代	18世紀
関連展示 山梨の災害			
1	上古甲斐国災害録謄写 (古屋家文書)	明治43年	1910
2	近世甲斐国災害記録 (市川家資料)	江戸時代	19世紀
3	甲府大地震之記 (甲州文庫)	嘉永7年	1854
4	地震之節建家土蔵并崩家数人別書上帳 (頼生文庫)	嘉永7年	1854
5	地震潰家取調帳 (甲州文庫)	嘉永7年	1854
6	大地震差出金請取につき覚 (大師村西川家文書)	安政元年	1854
7	村中火防料集帳 (市川家文書)	寛政10年	1798
8	御見舞帳 (頼生文庫)	享和3年	1803
9	甲府大火之記 (甲州文庫)	嘉永7年	1854
10	下条南割村釜無・御勅使両川大洪水に付見分注進書 (千野家文書)	宝暦7年	1757
11	大風雨の被害について乍恐以書付御訴奉申上候 (渡邊家文書)	万延元年	1860
12	水害資料 (若尾資料)	大正6年	1917
13	山梨県下水害地巡視日記 (古文書雑輯(2))	明治40年	1907
14	水害写真集 (甲州文庫)	明治40~43年	1907~10
15	暴瀉病薬方書 (甲州文庫・篠原家文書)	安政5年	1858
16	暴瀉病療治方触書写 (甲州文庫)	安政5年	1858
17	暴瀉病流行日記 (頼生文庫)	安政5年	1858
18	死体解剖御願 (個人蔵)	明治30年	1897
19	山梨地方病予防撲滅期成組合玉幡村分区長委嘱状 (長谷川家文書)	大正14年	1925
20	地方病撲滅ポスター	平成8年	1996

【展示平面図】



ii たんけん！はっけん！南極展 —壮大な自然と人々の物語—

- 【会 期】令和4年7月16日（土）～9月5日（月）
会期日数52日、展示日数45日
- 【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局
- 【協 力】株式会社キムラ、国立極地研究所、日本通運株式会社、山梨交通株式会社
- 【協 賛】日本ネットワークサービス
- 【会 場】企画展示室
- 【入場者数】22,468人
- 【担 当】学芸員 小畑茂雄、西願麻以
- 【概 要】



展示風景

南極は厳しい自然によって隔てられた、地球上で最後の秘境ともいえる場所でした。世界中の多くの人々が、この「宇宙よりも遠い場所」に挑み、数々のドラマを生み出すとともに、人類にとっての新たな発見をもたらしてきた。

山梨県においては、明治の終わりに日本人として初めて南極へ到達した白瀬轟らの探検隊に参加した村松進（市川三郷町出身）をはじめ、戦後の国際地球観測年に際しての国際的な南極観測事業への参加を最初に提唱し実現へと導いた矢田喜美雄（笛吹市出身）など、わが国と南極をつないだ人物らを輩出している。現在でも苛酷な南極での観測や、観測を支える技術や人材を南極へと送っている。

本展では、厳しくも壮大な南極の自然環境とともに、困難にチャレンジし続けた人々の歴史を紹介するほか、大人気テレビアニメ「宇宙（そら）よりも遠い場所」とのコラボレーションを展開し、南極からみえる地球の現在と未来について紹介した。

【関連イベント】

■かいじあむ南極教室① 「南極からみる地球」

- ・日 時 令和4年7月24日（日）13：30～15：00
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 小林拓氏（山梨大学准教授）

■かいじあむ南極教室② 「バイオリギングで探るペンギンの生活」

- ・日 時 令和4年7月31日（日）13：30～15：00
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 高橋晃周氏（国立極地研究所准教授）

■かいじあむ南極教室③ 「白瀬轟と南極探検隊」

- ・日 時 令和4年8月20日（土）13：30～15：00
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 石船清隆氏（白瀬南極探検隊記念館学芸員）

■親子でたんけん！南極展ツアー



展示風景

- ・日 時 令和4年7月30日(土)、8月11日(木・山の日) 17:30~18:30
- ・会 場 企画展示室
- ・対 象 小中学生とその保護者(20組40名)

■担当学芸員の見どころ解説

- ・日 時 令和4年7月16日(土)、30日(土)、8月6日(土)、28日(日)、9月3日(土)
14:00~(各回とも1時間程度)
- ・会 場 生涯学習室

■かいじあむ子ども工房「初代南極観測船“宗谷”ペーパーモデルを作ろう」

- ・日 時 令和4年8月13日(土) ①10:30~・②13:00~(各1時間30分)
- ・会 場 エントランスロビー

■かいじあむ寺子屋ひろば(会場はかいじあむ寺子屋など、いずれも11:00~11:30)

- ・紙芝居「ペンギンのペンペン」ほか 日時 令和4年7月17日(日)
- ・南極観測船のとびだすカードを作ろう 日時 同 7月24日(日)
- ・アデリーペンギンのパズルを作ろう 日時 同 7月31日(日)
- ・ペンギンの風鈴を作ろう 日時 同 8月7日(日)
- ・沈まない太陽のパズルを作ろう 日時 同 8月21日(日)
- ・ウェッデルアザラシのプラバンを作ろう 日時 同 8月28日(日)
- ・紙芝居「南極のタロとジロ」 日時 同 9月4日(日)

【出品資料一覧】

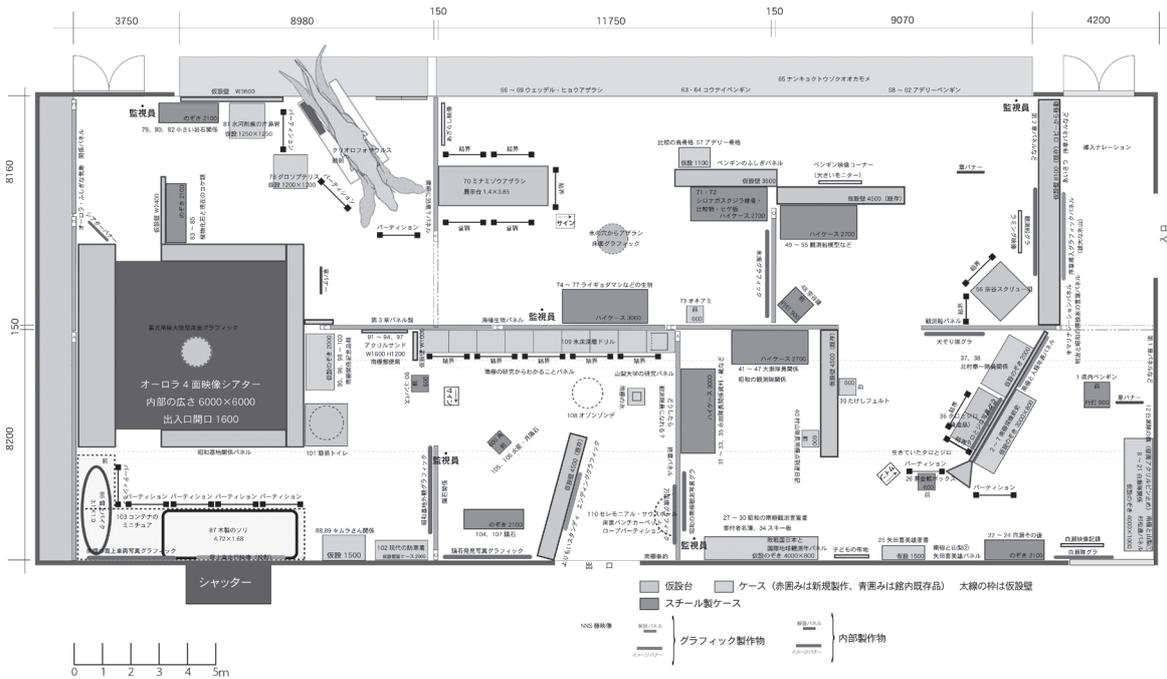
番号	資料名	年代	所蔵者
序章「宇宙よりも遠い場所」の南極			
第一章極地に挑んだ人々			
1	白瀬隊が持ち帰ったペンギンの剥製	明治時代	個人
2	改正蝦夷全図	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館(高室家資料)
3	仙台林子平図蝦夷国全図	天明6年(1786)	山梨県立博物館(檜峯神社武藤家文書)
4	東蝦夷夜話上・中	文久元年(1861)	山梨県立博物館(窪田家文書)
5	地球萬国山海輿地全図説	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館(古文書雑輯(2))
6	郡司大尉報效義会鼎浦丸遭難顛末	昭和7年(1932)	個人
7	アムンセン関係資料	戦前	個人
8	血判状(複製)	明治43年(1910)	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)
9	白瀬蘆のパスポート	明治43年(1910)	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)
10	出発前における防寒着姿の白瀬蘆記念写真	明治43年(1910)	個人
11	隊員名簿	昭和35年(1960)	山梨県立博物館(村松家資料)
12	白瀬隊の探検旗(模造品)	現代	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)
13	出発前の村松進記念写真	明治43年(1910)	個人
14	白瀬蘆名刺帖	近代	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)
15	南極探検船開南丸絵はがき	昭和11年(1936)	山梨県立博物館(村松家資料)
16	野村直吉船長日記(複製)	明治時代	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)
17	シドニーでのキャンプ写真	明治44年(1911)	個人
18	命令録	明治44年(1911)	白瀬南極探検隊記念館(秋田県)

19	大和雪原絵はがき	昭和11年（1936）	山梨県立博物館（村松家資料）
20	ペンギンの絵	明治45年（1912）	山梨県立博物館（村松家資料）
21	南極探検隊の料理日記（『婦人世界』第7巻第10・11・13号）	大正元年（1912）	個人
22	白瀬轟揮毫	大正元年（1912）	山梨県立博物館（村松家資料）
23	白瀬轟書簡（村松信子宛）	昭和11年（1936）	山梨県立博物館（村松家資料）
24	南極記南極探検後援会編集	大正2年（1913）	個人
25	矢田喜美雄関係図書	昭和時代	個人
26	南極観測寄金者名簿箱	昭和30年代	国立極地研究所
27	『南極』（南極観測隊寄付申込書）	昭和31年（1956）	個人
28	南極観測寄金者名簿	昭和30年代	国立極地研究所
29	宣誓書	昭和31年（1956）	国立極地研究所
30	南極観測隊図案の布地	昭和30年代	個人
31	通信機器	昭和30年代	国立極地研究所
32	永田武隊長の防寒着	昭和30年代	国立極地研究所
33	永田武隊長の衣服	昭和30年代	国立極地研究所
34	第一次観測隊のスキー板	昭和30年代	国立極地研究所
35	第一次越冬隊員の防寒靴	昭和30年代	国立極地研究所
36	タロとジロ（フェルトアート）	現代	船の科学館（東京都）
37	北村泰一隊員が撮影した写真	昭和30年代	国立極地研究所
38	北村泰一隊員の防寒着	昭和30年代	国立極地研究所
39	南極に行った猫たけし（羊毛クラフト）	令和元年（2019）	国立極地研究所
40	村山雅美隊長の南極点到達時の手帳	昭和43年（1968）	国立極地研究所
41	大瀬正美隊員関係資料	昭和30～40年代	国立極地研究所
42	南極地域観測記念バッジ	昭和時代	国立極地研究所
43	西堀栄三郎『南極越冬記』	昭和33年（1958）	山梨県立博物館（大木家文書）
44	『南極大陸日本観測隊の写真記録』	昭和32年（1957）	個人
45	国際地球観測年記念切手	昭和32年（1957）	個人
46	日本南極地域観測隊記念絵はがき	昭和35年（1960）	個人
47	南極の石	昭和時代	個人
48	宗谷の号鐘	昭和31年（1956）	船の科学館（東京都）
49	南極観測船宗谷の模型	平成25年（2013）	個人
50	南極観測船しらせ（初代）の模型	現代	国立極地研究所
51	南極観測船しらせ（二代目）の模型	現代	国立極地研究所
52	『アサヒグラフ』の表紙に掲載された南極観測船ふじ	昭和40年（1965）	個人
53	南極観測輸送支援教範（案）	昭和46年（1971）	個人
54	初代しらせの塗装片	年代不詳	株式会社キムラ（甲府市）
55	宗谷の甲板の木片	昭和30年代	国立極地研究所
56	宗谷のスクリーブローペラ	昭和時代	国立科学博物館
第二章 南極の生きものたち			
57	アデリーペンギンの骨格標本		国立科学博物館
58	アデリーペンギン成鳥の剥製		国立科学博物館
59	アデリーペンギン幼鳥の剥製		国立極地研究所
60	アデリーペンギンヒナの剥製		国立極地研究所
61	アデリーペンギンの卵		国立極地研究所

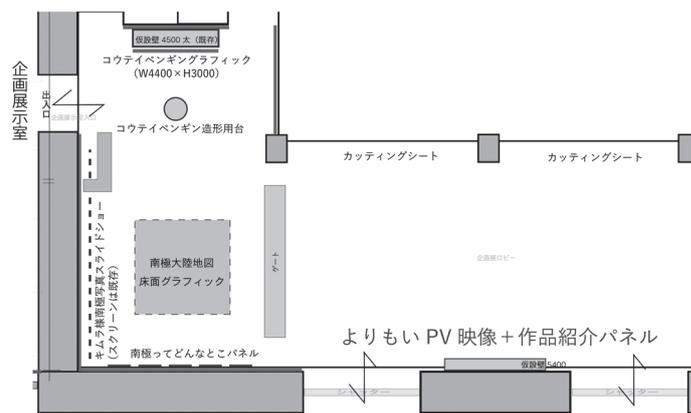
62	アデリーペンギンの営巣地の石		国立極地研究所
63	コウテイペンギン親子の剥製		国立科学博物館
64	コウテイペンギンヒナの剥製		国立科学博物館
65	ナンキョクオオトウゾクカモメの剥製		国立科学博物館
66	ウェッデルアザラシの剥製		国立科学博物館
67	ウェッデルアザラシ幼獣の剥製		国立極地研究所
68	ヒョウアザラシの剥製		国立科学博物館
69	ヒョウアザラシの幼獣の剥製		国立極地研究所
70	ミナミゾウアザラシの剥製		国立科学博物館
71	シロナガスクジラの椎骨		国立科学博物館
72	シロナガスクジラのヒゲ板		国立科学博物館
73	ナンキョクオキアミの標本		国立科学博物館、国立極地研究所
74	ライギョダマシの剥製		国立極地研究所
75	ショウワギスのレプリカ		国立極地研究所
76	トゲコオリウオの標本		国立極地研究所
77	ナンキョクイテレッダコの標本		国立極地研究所
第三章南極の自然と現在			
78	グロソプテリスの化石		国立極地研究所
79	ザクロ石を含む片麻岩		個人
80	石炭		国立極地研究所
81	氷河削痕のある片麻岩		国立極地研究所
82	蜂の巣岩		国立極地研究所
83	オオハリガネゴケ		国立極地研究所
84	ヤノウエノアカゴケ		国立極地研究所
85	クロヒゲゴケ		国立極地研究所
86	雪上バイク	現代	ふじてんスノーリゾート（鳴沢村）
87	木製のソリ	現代	国立極地研究所
88	圧雪車のホイール	現代	国立極地研究所
89	圧雪車ミニチュア	現代	株式会社キムラ（甲府市）
90	コンパス	現代	国立極地研究所
91	南極から届いた年賀状	現代	株式会社キムラ（甲府市）
92	南極観測20周年記念はがき	昭和52年（1977）	株式会社キムラ（甲府市）
93	南極観測25周年記念スタンプ	昭和57年（1982）	個人
94	南極観測関係記念切手	現代	個人
95	映画「南極物語」パンフレット	昭和58年（1983）	個人
96	記念品（焼酎）	現代	株式会社キムラ（甲府市）
97	記念ワッペン	現代	株式会社キムラ（甲府市）
98	壮行会の招待状	平成28年（2016）	株式会社キムラ（甲府市）
99	日本南極地域観測隊参加記念章（メダル）	現代	株式会社キムラ（甲府市）
100	南極地域観測50周年記念五百円硬貨	平成19年（2007）	個人
101	携帯トイレ	現代	国立極地研究所
102	現在の防寒着	現代	国立極地研究所
103	コンテナのミニチュア	現代	株式会社キムラ（甲府市）
104	コンドライト（始原的隕石）		国立極地研究所

105	斜長岩質礫岩（月隕石）		国立極地研究所
106	ナクライト（火星隕石）		国立極地研究所
107	鉄隕石		国立極地研究所
108	オゾンゾンデ	現代	気象庁高層気象台
109	氷床コア掘削用ドリル	現代	国立極地研究所
終章南極と地球の未来			
110	セレニアルサウスポール（複製）	現代	国立極地研究所

【展示平面図】



ロビー展示



iii 山梨と新聞—知識ヲ広ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ—

- 【会 期】令和4年10月15日（土）～12月5日（月）
会期日数52日、展示日数45日
- 【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送、山梨文化会館
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局
- 【協 力】日本通運株式会社、山梨交通株式会社
- 【会 場】企画展示室
- 【入場者数】4,369人
- 【担 当】学芸員 中野賢治、小畑茂雄
- 【概 要】



展覧会ちらし

幕末から明治にかけての激動の時代、人々は日々刻々と変わる政治や社会に関する知識を求め、各地でその媒体としての新聞が次々に発行されるようになった。山梨で明治5年（1872）7月に発行された「峡中新聞」（現 山梨日日新聞）は、その後の150年間、名前を変えながらも山梨の人々に様々な情報を提供し続け、現在に至る迄継続発行されている最古の地方紙として知られている。

新聞の果たす役割は、政治や社会の情報をもたらすだけではなく、経済、文化、スポーツなど、地域の人々の暮らしに関わるあらゆる情報を伝え、その発展や創造に大きく貢献してきたのである。

「峡中新聞」創刊から150周年となる今年、山梨という地域からみえるメディアの歩みを通して“県民の歴史”を紹介する展覧会として開催した。

【関連イベント】

■思い出新聞発行

- ・日時：10月23日（日）10：00～16：00（休憩 12：00～13：00）
- ・会場：メインエントランス

■講演会Ⅰ「山梨の新聞の歴史」

- ・日時：11月3日（木・祝）13：30～15：00
- ・場所：生涯学習室
- ・講師：向山文人氏（山梨日日新聞 新聞150年史事業統括、元山梨日日新聞社論説委員長）

■講演会Ⅱ「野口二郎と山梨の郷土史研究」

- ・日時：11月27日（日）13：30～15：00
- ・場所：生涯学習室
- ・講師：清雲俊元氏（山梨郷土研究会理事長）

■記者が語る新聞取材秘話

- ・日時：11月12日（土）13：30～15：00
- ・場所：生涯学習室
- ・講師：靍田圭吾氏（元山梨日日新聞社編集局次長）
前島文彦氏（山梨日日新聞社編集局報道部部长）
樋川義樹氏（山梨日日新聞社編集局地域報道部副部长（デスク））

■来館記念新聞をつくろう！

- ・日時：11月20日（日・県民の日）10：00～16：00（休憩 12：00～13：00）



展示風景

・会場：メインエントランス

■取材体験 あなたも新聞記者！

- ・日時：12月3日（土）13：30～15：00
- ・場所：生涯学習室・企画展示室ほか

■学芸員による展覧会の見どころ解説

- ・日時：10月30日（日）、11月6日（日）、13日（日）、12月4日（日）
14：00～15：00
- ・場所：生涯学習室

【出品資料一覧】

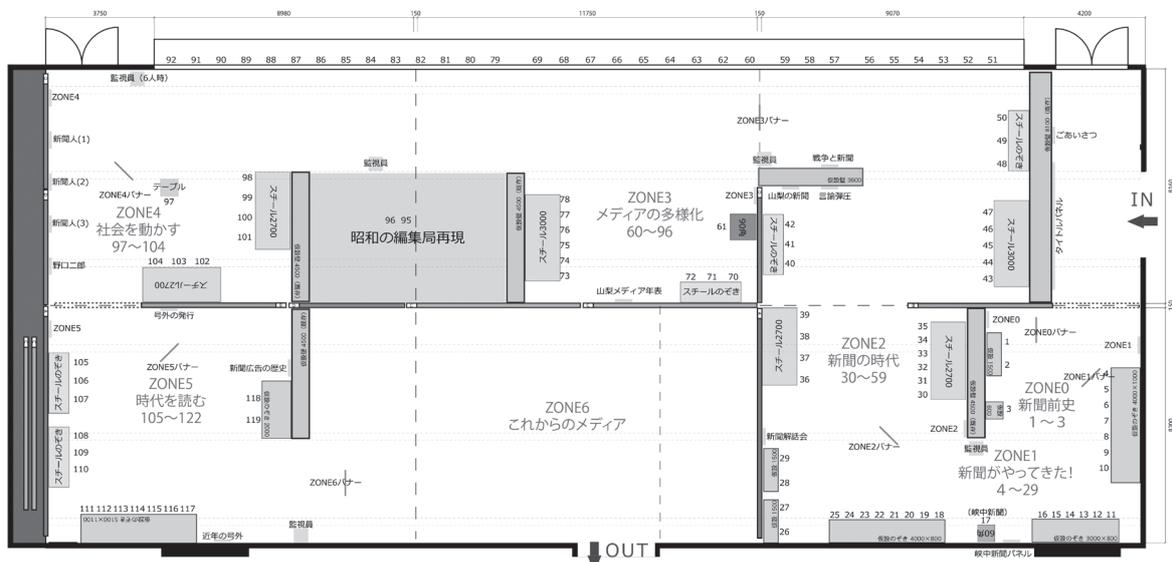
通番	資料名	年代	所蔵者
ZONE 0【新聞前史】			
1	敵討瓦版	安政4年（1857）	山梨県立博物館
2	触留帳	慶応4年（1868）	山梨県立博物館
3	わかまつくどきぶし	慶応4年（1868）	山梨県立博物館
ZONE 1【新聞（NEWSPAPER）がやってきた！】			
新時代の到来と新聞			
4	官版中外新報 第一号	咸豊8年（安政5、1858）11月	山梨県立博物館
5	香港船頭賃紙 第四百六十六号	万延元年（1860）9月10日	山梨県立博物館
6	万国新聞紙 第二集	慶応3年（1867）2月中浣	山梨県立博物館
7	倫敦新聞紙	慶応3年（1867）10月1日	山梨県立博物館
8	中外新聞 第一号	慶応4年（1868）2月24日	山梨県立博物館
9	内外新報 第一号	慶応4年（1868）4月10日	山梨県立博物館
10	横浜新報もしほ草 第一帙	慶応4年（1868）閏4月11日	山梨県立博物館
11	日々新聞 第一号	慶応4年（1868）閏4月18日	山梨県立博物館
12	江湖新聞 第十六号	慶応4年（1868）5月5日	山梨県立博物館
13	官版海外新聞 第一号	明治3年（1870）7月18日	山梨県立博物館
14	新聞雑誌 第一号	明治4年（1871）5月1日	山梨県立博物館
15	万国新聞 第一号	明治4年（1871）10月	山梨県立博物館
16	東京日日新聞 第一号	明治5年（1872）2月21日	山梨県立博物館
峡中新聞の創刊と新聞の普及			
17	峡中新聞 第一号	明治5年（1872）7月	山梨県立博物館
18	内外各種新聞要録 第一号	明治5年（1872）9月	山梨県立博物館
19	甲府新聞 第九号	明治6年（1873）4月	山梨県立博物館
20	甲府新聞 第十九号・第二十号	明治6年（1873）7月	山梨日日新聞社
21	甲府日日新聞代価受領証	明治10年（1877）4月～12月	山梨県立博物館
22	甲府新聞配達料領収証	明治24年（1891）3月～明治25年4月	山梨県立博物館
23	新聞解話会規則（峡中新聞 第三号）	明治5年（1872）10月	山梨県立博物館
24	御布告・新聞聴聞請印帳	明治6年（1873）9月	山梨県立博物館
25	新聞聴聞人名録	明治6年（1873）12月13日	山梨県立博物館
26	御布告・新聞開話会所出張人名前帳	明治6年（1873）11月	山梨県立博物館
27	御布告・新聞読聞出張簿	明治7年（1874）3月8日	山梨県立博物館
28	甲府新聞順達表・廻状	明治9年（1876）2月5日	山梨県立博物館
29	山梨郡諏訪村甲府新聞順達通知書	明治9年（1876）2月21日	山梨県立博物館

ZONE 2 【新聞の時代】			
多様な新聞と政府の統制			
30	大日本新聞雑誌名録	明治10年(1877)4月	山梨文化会館
31	内外日誌 第一号	明治6年(1873)2月14日	山梨県立博物館
32	観風新聞 第十五号	明治10年(1877)6月13日	山梨県立博物館
33	生読新聞 第一号	明治11年(1878)7月15日	山梨県立博物館
34	をとめ新聞 第一号	明治11年(1878)9月23日	山梨県立博物館
35	乙女新聞購読に付伺并回答等綴	明治11年(1878)11月9日	山梨県立博物館
36	峡中新報 第一号	明治12年(1879)3月2日	山梨県立博物館
37	峡中新報社明治十三年度総勘定表	明治13年(1880)5月	山梨県立博物館
38	かなめ新聞 第六十七号	明治14年(1881)9月24日	山梨県立博物館
39	かなめ新聞社中申合規則	明治15年(1882)9月	山梨県立博物館
40	新聞条例違反事件言渡	明治15年(1882)7月15日	山梨県立博物館
41	新聞紙条例(太政官布告)	明治16年(1883)4月16日	山梨県立博物館
42	峡中日報発行停止号外	明治21年(1888)8月3日	山梨県立博物館
新聞と世間			
43	今日新聞 第一号及び附録	明治17年(1884)9月25日	山梨県立博物館
44	かなしんぶん だいがう	明治18年(1885)7月1日	山梨県立博物館
45	甲斐新報 第一号	明治18年(1885)1月28日	山梨県立博物館
46	甲陽日報 第五百八十二号	明治21年(1888)3月15日	山梨県立博物館
47	峡中日報 第六十五号	明治21年(1888)8月1日	山梨県立博物館
48	甲斐 第一号	明治23年(1890)4月16日	山梨県立博物館
49	甲斐新聞 第一号	明治32年(1899)9月16日	山梨県立博物館
50	山梨時報 第九十九号	明治33年(1900)6月15日	山梨県立博物館
51	石川式マリノニ型輪転機模型	昭和時代か	山梨文化会館
52	甲陽タイムス 第三年二月号	大正9年(1920)2月1日	山梨県立博物館
53	開発 第一卷第三号	昭和2年(1927)8月1日	山梨県立博物館
54	山日ゆかた	昭和時代初期	山梨文化会館
55	山日ゆかた包装紙	昭和時代初期	山梨県立博物館
56	辞令	昭和16年(1941)6月～昭和19年12月	山梨文化会館
戦争と新聞			
57	新聞記者徽章	昭和5年(1930)11月	山梨文化会館
58	日本新聞記者会証	昭和18年(1943)5月1日	山梨文化会館
59	戦時下の新聞	昭和16年(1941)～昭和17年	山梨文化会館
ZONE 3 【メディアの多様化】			
ラジオ・テレビの登場			
60	真空管ラジオ	昭和20年代	山梨文化会館
61	円盤式録音装置	昭和29年(1954)	山梨文化会館
62	ベリカード	昭和29年(1954)～昭和44年	山梨文化会館
63	ゼンマイ式フィルムカメラ	昭和34年(1959)頃	山梨文化会館
64	ゼンマイ式取材用携帯録音機	昭和30年代後半	山梨文化会館
65	磁気記録式録音テープ	昭和30年代	山梨文化会館
66	ダイナミックマイクロフォン	昭和29年(1954)頃	山梨文化会館
67	ベロシティマイクロフォン	昭和29年(1954)頃	山梨文化会館
68	ラジオ聴取率調査報告書	昭和36年(1961)、昭和42年	山梨文化会館

69	レゾリューションチャート・グレースケールチャート	昭和34年（1959）	山梨文化会館
70	テレビのテストパターン	昭和34年（1959）～昭和36年	山梨文化会館
71	共同テレビニュース原稿	昭和36年（1961）12月30日～昭和37年1月26日	山梨文化会館
72	テロップカード・カードホルダー	昭和34年（1959）～平成時代初期	山梨文化会館
73	ニューステロップ	昭和30年代～昭和50年代	山梨文化会館
74	カラー中継車用カメラ	昭和45年（1970）～昭和56年	山梨文化会館
75	スクーピックカメラ	昭和40年代	山梨文化会館
76	ENG取材カメラ	昭和50年代	山梨文化会館
新聞の変化			
77	山梨時事新聞看板	昭和20年代か	山梨文化会館
78	山梨時事新聞	昭和44年（1969）3月31日	山梨文化会館
79	紙型	昭和35年（1960）8月	山梨文化会館
80	鉛板	昭和41年（1966）9月	山梨文化会館
81	鉛板	昭和41年（1966）9月	山梨文化会館
82	大組み凸版	昭和47年（1972）5月	山梨文化会館
83	新聞フィルム・大組み台紙	昭和40年代～昭和50年代	山梨文化会館
84	写植機用投射文字ガラスディスク	昭和40年代	山梨文化会館
85	三菱新聞用オフセット輪転機模型	昭和59年（1984）6月	山梨文化会館
86	模写電送送信装置	昭和50年（1975）7月	山梨文化会館
87	模写電送受信装置	昭和50年（1975）7月	山梨文化会館
88	写真電送送信機	昭和50年代	山梨文化会館
89	新聞から見た明治100年展関係綴	昭和41年（1966）	山梨文化会館
90	無線業務日誌	昭和42年（1967）～昭和49年	山梨日日新聞社
91	SAN-NETキーボード	平成元年（1989）	山梨日日新聞社
92	SAN-NETキーボード	平成元年（1989）	山梨日日新聞社
昭和の新聞編集局			
93	一面大組み凸版	昭和47年（1972）5月	山梨文化会館
94	山梨日日新聞	昭和47年（1972）5月15日	山梨文化会館
95	鉛活字	昭和40年代か	山梨文化会館
96	活字ケース	昭和40年代か	山梨文化会館
ZONE 4【社会を動かす】			
97	手帳	昭和19年（1944）～昭和49年	山梨文化会館
98	第一回県下一周駅伝大会コース略図・挨拶状	昭和27年（1952）3月17日	山梨文化会館
99	夏草道中切手	昭和30年代～昭和40年代	山梨文化会館
100	功刀亀内書簡	昭和26年（1951）2月5日	山梨文化会館
101	県立博物館設立陳情書	昭和37年（1962）1月	山梨文化会館
102	第一回信玄まつり関係資料	昭和41年（1966）	山梨文化会館
103	信玄まつりごちそう用品特売チラシ	昭和42年（1967）頃	山梨文化会館
104	信玄銅像設計図	昭和43年（1968）12月11日	山梨文化会館
ZONE 5【時代を読む】			
105	官報号外（帝国憲法発布）	明治22年（1889）2月11日	山梨県立博物館
106	甲斐新聞号外（日露戦争開戦）	明治37年（1904）2月10日	山梨県立博物館
107	山梨日日新聞号外（日露戦争旅順攻略）	明治38年（1905）1月2日	山梨県立博物館
108	山梨時報号外（日露戦争奉天攻略）	明治38年（1905）3月11日	山梨県立博物館

109	山梨日日新聞号外（明治天皇崩御）	明治45年（大正元、1912）7月30日	山梨県立博物館
110	山梨毎日新聞号外（明治天皇崩御）	明治45年（大正元、1912）7月30日	山梨県立博物館
111	山梨毎日新聞号外（関東大震災）	大正12年（1923）9月2日	山梨日日新聞社
112	東京日日新聞号外（二・二六事件）	昭和11年（1936）2月27日	山梨県立博物館
113	読売新聞号外（二・二六事件）	昭和11年（1936）2月29日	山梨県立博物館
114	東京朝日新聞号外（盧溝橋事件）	昭和12年（1937）7月8日	山梨県立博物館
115	朝日新聞号外（東條内閣成立）	昭和16年（1941）10月18日	山梨県立博物館
116	読売新聞号外（太平洋戦争開戦）	昭和16年（1941）12月8日	山梨県立博物館
117	毎日新聞特報（甲府空襲）	昭和20年（1945）7月7日	山梨県立博物館
118	新聞折込ちらし	昭和17年（1942）1月頃	山梨文化会館
119	新聞折込ちらし	昭和時代	山梨文化会館
ZONE 6 【これからのメディア】			
インターネットと新聞			
新聞編集・印刷の現在			
屋外展示			
120	メディア 1	平成17年（2005）	山梨文化会館

【展示平面図】



②シンボル展

i 国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いととともに

【会 期】令和4年5月28日（土）～6月27日（月）

会期日数31日、展示日数27日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入館者数】2,748人

【担 当】学芸員 丸尾依子、海老沼真治

【概 要】

甲府市小瀬に伝承される「天津司舞」は、重要無形民俗文化財に指定される日本最古の人形芝居のひとつである。しかしながら、その舞が度重なる中断や廃絶の危機を乗り越え、繋がれてきたことはあまり知られていなかった。また令和2年度、文化庁補助事業によって後継者養成・伝習用のレプリカが作成された。展示では、天津司舞の特徴や歴史、社会変動と変容、保存継承の取り組みを紹介した。9体の人形すべてと、新たに作成したレプリカを展示するとともに、人形のからくりの一部も公開した。

【関連イベント】

■かいじあむ講座「小瀬の天津司舞」

- ・日時：6月18日（土）13：30～15：00
- ・会場：生涯学習室
- ・講師：丸尾依子

■演劇「ヤマガヒ」上演

- ・日時：6月25日（土）11：00～、15：30～（各回40分程度）
- ・会場：メインエントランス前の池周辺

■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「オリジナル紙芝居『湖水伝説 天津司の舞のはじまり』」

- ・日時：6月5日（日）11：00～11：30
- ・会場：ロビー

■ギャラリー・トーク

- ・日時：5月29日（日）、6月11日（土）、6月26日（日）
- いずれも14：00～15：00



展示会ちらし



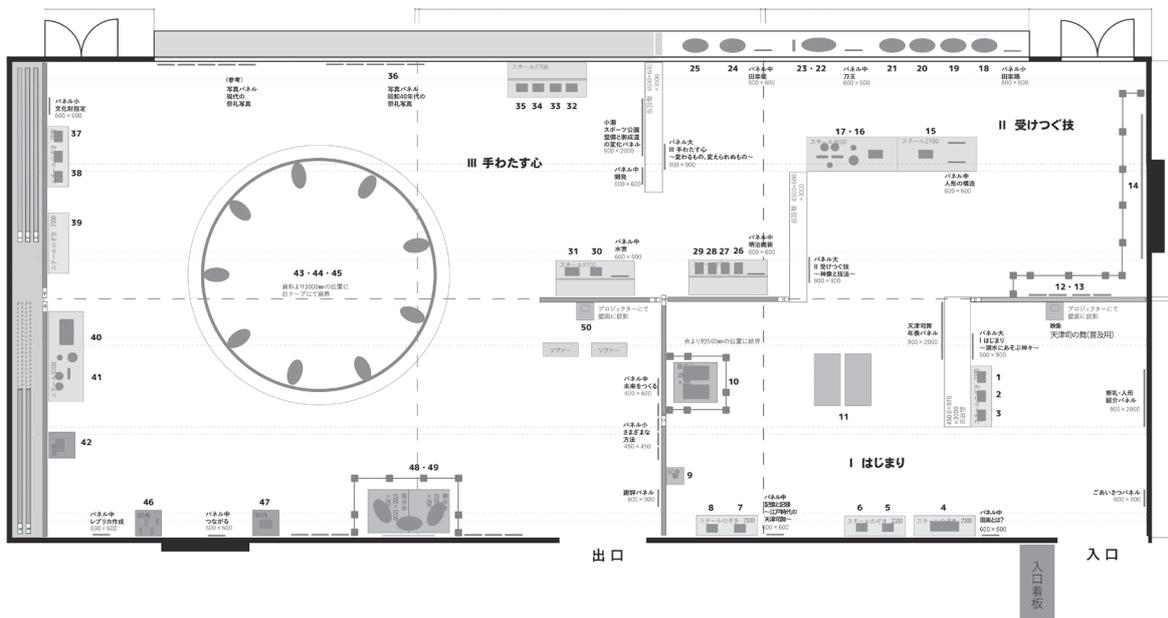
展示風景

【出品資料一覧】

出品 No.	展 示 資 料			
	資 料 名	員数	時代(西暦)	所 蔵
1	穴切大神社記由緒	1冊	慶応4年(1868)	山梨県立博物館
2	稲積地藏菩薩像	1冊	江戸時代か	山梨県立博物館
3	甲陽随筆	1冊	安政7年(1860)	山梨県立博物館
4	七十一番職人歌合	1巻	江戸時代	山梨県立博物館
5	春日大宮若宮御祭禮図	1冊	江戸時代中期	個人
6	職人尽歌合	1冊	江戸時代	山梨県立博物館
7	甲斐叢記	1冊	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館
8	甲斐国志	1冊	江戸時代	山梨県立博物館
9	「神指」容器	1点	延宝7年(1679)	天津司神社
10	装束箱	2点	貞享元年(1684)	天津司神社
11	古い装束	一式	江戸時代初期～昭和時代	天津司神社
12	幟旗	2枚	明治37年(1904)	天津司神社
13	幟旗	2枚	昭和7年(1932)	天津司神社
14	九曜紋幔幕	2枚	昭和12年(1937)	天津司神社氏子
15	二の御編木様より 頭・胴串・手・ささら(構造一式)	1式	中世以降	天津司神社
16	二の御太鼓様より 太鼓・頭・手 ※胴串以外	1点	中世以降	天津司神社
17	二の御太鼓様より 装束一式	1式	昭和34年(1959)	天津司神社
18	天津司人形(一の御編木様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
19	天津司人形(一の御太鼓様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
20	天津司人形(御笛様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
21	天津司人形(御鼓様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
22	天津司人形(御鹿島様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
23	御鹿島様の刀	1本	平成25年(2013)	山梨県立博物館
24	天津司人形(御姫様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
25	天津司人形(鬼様)一式(人形、装束)	1軀	中世以降～現代	天津司神社
26	山梨県布達	1点	明治6年(1873)	山梨県立博物館
27	天長節拝賀につき達	1点	明治4年(1871)	山梨県立博物館
28	神社資料	1点	大正時代	山梨県立博物館
29	天長節祝砲有志献納煙火	1点	明治29年(1896)	山梨県立博物館
30	『水害写真帳』より 山城村付近被害写真	1点	明治40年(1907)	山梨県立図書館
31	二の御太鼓様より 胴串 ※裏墨書	1点	明治34年(1901)以前	天津司神社
32	第41回国民体育大会開催準備概要第3集	1冊	昭和60年(1985)	山梨県立博物館
33	第41回国民体育大会施設概要	1冊	昭和61年(1986)	山梨県立博物館

34	『ザやまなし』別冊	1冊	昭和61年(1986)	山梨県立博物館
35	第41回国民体育大会報告書	1冊	昭和62年(1987)	山梨県立博物館
36	昭和中期の祭礼写真(内田宏撮影写真)	5点	昭和30~40年代	山梨県立博物館
参考	現代の祭礼写真	5点	平成30~31年(2018~2019)	山梨県立博物館
37	天津司舞の古写真	4枚	昭和12年(1937)頃か	天津司の舞保存会
38	昭和29年4月10日山梨日日新聞(パネル)	1枚	昭和29年(1954)	山梨日日新聞社
39	小田内通久氏書簡	一式	昭和11年(1936)	天津司の舞保存会
40	昭和37年奉納装束箱	2箱	昭和37年(1962)	天津司の舞保存会
41	古い用具一式	一式	昭和時代以前	天津司の舞保存会
42	文化財指定書	1枚	昭和51年(1976)	天津司の舞保存会
43	御船	1枚	昭和46年(1971)	下鍛冶屋町自治会
44	天津司人形(レプリカ)一式	9軀	令和2年(2020)	天津司の舞保存会
45	天津司舞装束一式	一式	平成16年(2004)	天津司神社
46	レプリカ作成用の型(頭用、紙製)	一式	令和2年(2020)	個人
47	『ヤマガヒ』シナリオ	2点	平成30年(2018)	個人
48	『ヤマガヒ』舞台写真	6点	平成30年(2018)	個人
49	『ヤマガヒ』衣装(男、長、蛇)	3点	平成30年(2018)	山梨県民文化ホール
50	『ヤマガヒ』動画	1点	平成30年(2018)	山梨県民文化ホール

【展示平面図】



ii 山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像

【会 期】令和5年1月21日(土)～2月20日(月)

会期日数31日、展示日数27日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】3,174人

【担 当】学芸員 近藤暁子、西願麻以

【概 要】

甲斐善光寺に伝わる源頼朝像は鎌倉時代に制作されたもので、頼朝の肖像彫刻として最古のものとされている。鎌倉時代以降、長きにわたる武士の世の礎を築いた源頼朝。その姿は、絵画や彫刻など様々なイメージで伝えられてきたが、近年、その真の姿を最もよく伝えるものとして注目を集めているのが、この頼朝像である。本展では、“日本最古の鎌倉殿”の迫力を間近で体感いただくとともに、令和2年度に行われた解体修理の様子についても紹介した。

【関連イベント】

■あそぼう！まなぼう！寺子屋広場ひろば

- ・日時：2月5日(日)「源頼朝坐像の飛び出すカードを作ろう」
2月12日(日)「源頼朝坐像のストラップを作ろう」
いずれも11:00から30分程度

- ・会場：新寺子屋付近

■ギャラリートーク

- ・日時：1月22日(日)、1月29日(日)、2月5日(日)、2月12日(日)
いずれも15:00から30分程度
- ・会場：企画展示室



展覧会ちらし

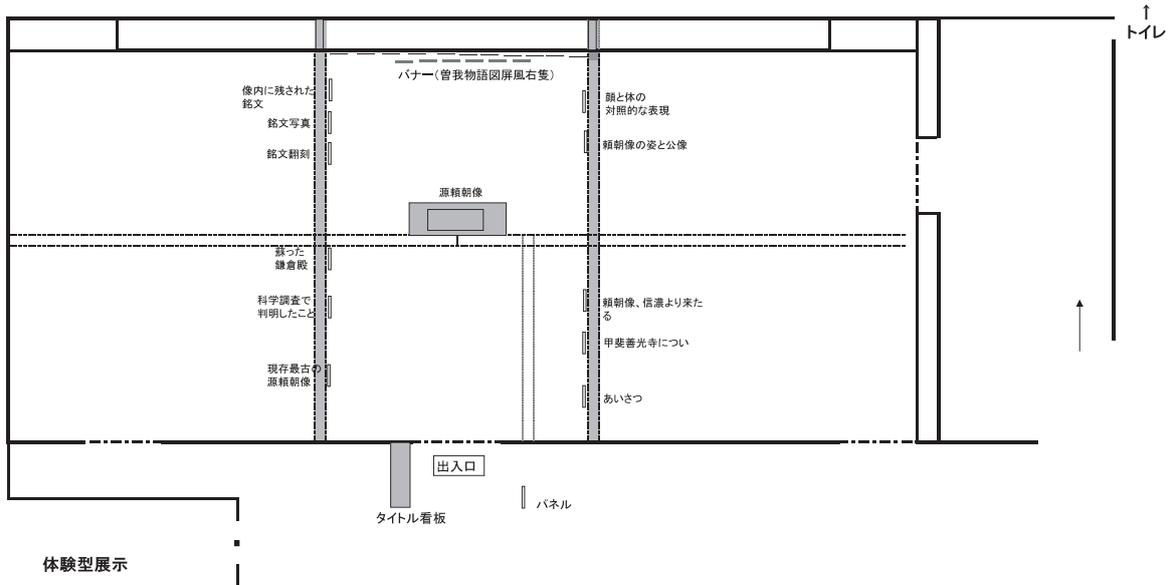


展示風景

【出品資料一覧】

番号	指定	資料名	員数	材質・技法	法量(cm)	時代	所蔵
1	県指定	木造源頼朝坐像	1 軀	木造彩色玉眼	像高97.2	鎌倉時代(13~14世紀)	甲斐善光寺

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発 刊 日	体 裁
1	企画展「伝える－災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」展示図録	※	B5版、184頁
2	シンボル展「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いととみに」リーフレット	令和4年5月28日	A4版、4頁
3	企画展「たんけん! はっけん! 南極展－壮大な自然と人々の物語－」展示図録	令和4年7月16日	B5変形版、160頁
4	企画展「山梨と新聞－智識ヲ廣ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ－」展示図録	令和4年10月15日	A4版、96頁
5	シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」リーフレット	令和5年1月21日	A4版、4頁

※「伝える－災害の記憶」展は巡回展のため、令和2年度刊行（編集：京都文化博物館、発行：NHKサービスセンター）

2



3



4



5



第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和4年4月24日	斉田 季実治氏(気象予報士)	伝えるー災害の記憶展記念講演会	山梨県総合教育センター	101人
令和4年7月24日	小林 拓氏(山梨大学准教授)	南極からみる地球	県立博物館	35人
令和4年7月31日	高橋 晃周氏(国立極地研究所准教授)	バイオリキングで探るペンギンの生活	県立博物館	30人
令和4年8月20日	石船 清隆氏(白瀬南極探検隊記念館学芸員)	白瀬轟と南極探検隊	県立博物館	33人
令和4年10月30日	西川 広平氏(中央大学文学部教授)	鎌倉幕府と甲斐源氏・武田一族	恩賜林記念館(信玄公まつり)	26人
令和4年11月3日	向山 文人氏(山梨日日新聞 新聞150年史事業統括、元山梨日日新聞社論説委員長)	山梨の新聞の歴史	県立博物館	48人
令和4年11月12日	靄田 圭吾氏(元山梨日日新聞社編集局次長) 前島 文彦氏(元山梨日日新聞社編集局報道部長) 樋川 義樹氏(山梨日日新聞社編集局地域報道部副部長(デスク))	記者が語る新聞取材秘話	県立博物館	20人
令和4年11月27日	清雲 俊元氏(山梨郷土研究会理事長)	野口二郎と山梨の郷土史研究	県立博物館	25人
令和5年3月21日	朝岡 俊也氏(福岡市博物館学芸員)	金印の時代の九州北部～漢倭奴国王とは何者か～	県立博物館	69人

■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和4年4月17日	守屋 正彦(当館館長)	仏教美術 飛鳥白鳳時代	県立博物館	26人
令和4年6月19日	守屋 正彦(当館館長)	仏教美術 天平時代	県立博物館	22人
令和4年8月21日	守屋 正彦(当館館長)	仏教美術 平安時代	県立博物館	20人
令和4年10月16日	守屋 正彦(当館館長)	鎌倉時代の仏教美術 平安後期から鎌倉時代の浄土教文化	県立博物館	19人
令和4年12月18日	守屋 正彦(当館館長)	甲斐の禅宗文化 鎌倉室町時代	県立博物館	20人
令和5年2月19日	守屋 正彦(当館館長)	近世山梨の仏教美術	県立博物館	22人

■ 古文書講座

令和4年4月23日	中野 賢治(当館学芸員)	古文書に親しむ(1)	県立博物館	25人
令和4年5月28日	小畑 茂雄(当館学芸員)	古文書に親しむ(2)	県立博物館	23人
令和4年6月25日	海老沼真治(当館学芸員)	古文書に親しむ(3)	県立博物館	25人
令和4年7月23日	小畑 茂雄(当館学芸員)	探検	県立博物館	26人
令和4年8月27日	中野 賢治(当館学芸員)	騒動	県立博物館	26人
令和4年10月22日	海老沼真治(当館学芸員)	食文化	県立博物館	24人
令和4年11月26日	海老沼真治(当館学芸員)	暦	県立博物館	20人
令和5年1月28日	小畑 茂雄(当館学芸員)	卯年	県立博物館	24人
令和5年2月25日	中野 賢治(当館学芸員)	印鑑	県立博物館	27人
令和4年5月15日	—	「古文書相談日」	県立博物館	4人
令和4年9月18日	—	「古文書相談日」	県立博物館	1人
令和5年1月15日	—	「古文書相談日」	県立博物館	2人

■かいじあむ講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和4年6月18日	丸尾 依子(当館学芸員)	小瀬の天津司舞	県立博物館	29人
令和5年3月26日	海老沼真治(当館学芸員)	戦国大名のハンコ行政～武田氏を中心に～	県立博物館	39人

講演会・講座等参加者数合計 811人

令和4年4月16日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	13人
令和4年5月21日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	7人
令和4年6月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	6人
令和4年7月16日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	1人
令和4年8月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	5人
令和4年9月17日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	3人
令和4年10月15日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	3人
令和4年11月19日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	10人
令和4年12月17日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	1人
令和5年1月21日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	6人
令和5年2月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	4人
令和5年3月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」		県立博物館庭	9人
令和4年4月3日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「武田信虎物語」	県立博物館	19人
令和4年4月10日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～」	県立博物館	10人
令和4年4月17日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「クイズ富士山を学ぼう（防災編）」	県立博物館	3人
令和4年4月24日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「ナマズ絵のストラップを作ろう」	県立博物館	9人
令和4年5月1日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「武田信玄の兜を作ろう」	県立博物館	12人
令和4年5月8日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「折り紙でナマズを作ろう」	県立博物館	9人
令和4年5月15日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「けん玉で遊ぼう」	県立博物館	5人
令和4年5月22日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「釜無川・御勅使川の治水を知ろう！」	県立博物館	6人
令和4年5月29日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「やまなしの名水を学ぼう」	県立博物館	14人
令和4年6月5日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	紙芝居「湖水伝説～天津司舞のはじまり～」	県立博物館	6人
令和4年6月12日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「てるてる坊主を作ろう」	県立博物館	5人
令和4年6月19日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「甲斐名所寿古六」を楽しもう	県立博物館	7人
令和4年6月26日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「数え方を学ぼう」	県立博物館	7人
令和4年7月3日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「七夕人形を作ろう」	県立博物館	13人
令和4年7月10日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「折り紙で朝顔を学ぼう」	県立博物館	5人
令和4年7月17日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	紙芝居「ペンギンのペンペン」「ペンギんはつらいよ」	県立博物館	43人
令和4年7月24日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「南極観測船のとびだすカードを作ろう」	県立博物館	20人
令和4年7月31日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「アデリーペンギンのパズルを作ろう」	県立博物館	17人
令和4年8月7日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「ペンギンの風鈴を作ろう」	県立博物館	25人
令和4年8月21日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「沈まない太陽のパズルを作ろう」	県立博物館	20人
令和4年8月28日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「ウェッデルアザラシのプラバンを作ろう」	県立博物館	19人
令和4年9月4日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	紙芝居「南極のタロとジロ」	県立博物館	25人
令和4年9月11日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「数え方を学ぼう②」	県立博物館	2人
令和4年9月18日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「甲府の商家の印（トレードマーク）を学ぼう」	県立博物館	16人
令和4年9月25日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「つつんでみよう！」	県立博物館	14人
令和4年10月2日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「ひとりあやとりに挑戦！」	県立博物館	11人
令和4年10月9日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	大型紙芝居「パッチンバッタを作ろう」	県立博物館	7人
令和4年10月16日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	紙芝居「てっだいねこ」	県立博物館	10人
令和4年10月23日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	「折り紙で作ろう秋のどんぐりカード」	県立博物館	6人
令和4年10月30日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～」	県立博物館	5人

令和4年11月6日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば クイズツアー「紙とんぼを作ろう」	県立博物館	13人
令和4年11月13日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「新聞紙エコバッグを作ろう」	県立博物館	12人
令和4年11月27日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「昔の新聞のパズルを作ろう」	県立博物館	5人
令和4年12月4日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「まぐるがまぐるになったわけ」	県立博物館	17人
令和4年12月11日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「甲斐八珍果」ってなんだろう	県立博物館	6人
令和4年12月18日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「えとを学ぼう」	県立博物館	3人
令和4年1月8日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 道祖神祭りの「おこんぶくろ」を作ろう	県立博物館	5人
令和4年1月15日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「幕絵」を楽しもう	県立博物館	9人
令和4年1月22日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「常設展カルタで遊ぼう」	県立博物館	6人
令和4年1月29日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「だるまを作ろう」	県立博物館	8人
令和4年2月5日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「源頼朝坐像の飛び出すカードを作ろう」	県立博物館	4人
令和4年2月12日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「源頼朝坐像のストラップを作ろう」	県立博物館	11人
令和4年2月19日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「富士山の成り立ちBOOKを作ろう」	県立博物館	7人
令和4年2月26日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「おひなさまカードを作ろう」	県立博物館	19人
令和4年3月5日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「からだではかろう」	県立博物館	7人
令和4年3月12日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「消しゴムハンコを作ってみよう」	県立博物館	26人
令和4年3月19日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「はなさかじい」	県立博物館	11人
令和4年3月26日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「消しゴムハンコを作ってみよう」	県立博物館	14人
令和4年4月9日	かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトでミニ楯無鑑を作ろう」	県立博物館	6人
令和4年5月14日	かいじあむ子ども工房「ナマズのずぼんぼを作ろう」	県立博物館	10人
令和4年6月13日	かいじあむ子ども工房「跳んだり跳ねたりを作ろう」	県立博物館	13人
令和4年7月9日	かいじあむ子ども工房「紙つばめを作ろう」	県立博物館	11人
令和4年8月13日	かいじあむ子ども工房「初代南極観測船“宗谷”ペーパーモデルを作ろう」	県立博物館	8人
令和4年9月10日	かいじあむ子ども工房「染め物をしよう」	県立博物館	11人
令和4年10月8日	かいじあむ子ども工房「絵巻物を作ろう」	県立博物館	9人
令和4年11月12日	かいじあむ子ども工房「菓子袋のぬり絵をしよう」	県立博物館	4人
令和5年1月14日	かいじあむ子ども工房「竹とんぼを作ろう」	県立博物館	8人
令和5年2月7日	かいじあむ子ども工房「真綿を作ろう」	県立博物館	7人
令和5年3月11日	かいじあむ子ども工房「はんこ彫り（篆刻）をしよう」	県立博物館	42人
令和4年4月16日	地震体験	県立博物館	43人
令和4年4月17日	地震体験	県立博物館	50人
令和4年5月4日	地震体験	県立博物館	82人
令和4年5月5日	地震体験	県立博物館	112人
令和4年7月30日	親子でたんけん！南極展ツアー	県立博物館	20人
令和4年10月23日	思い出新聞発行	県立博物館	112
令和4年12月3日	取材体験 あなたも新聞記者！	県立博物館	2人
令和4年5月4日	かいじあむ子どもまつり	県立博物館	229人
令和4年5月5日	かいじあむ子どもまつり	舞鶴城公園	308人
令和4年8月14日	かいじあむの夏まつり	県立博物館	717人
令和4年8月15日	かいじあむの夏まつり	県立博物館	864人
令和4年11月20日	かいじあむの秋祭り	県立博物館	273人
令和5年1月2日	かいじあむのお正月	県立博物館	191人
令和5年1月3日	かいじあむのお正月	県立博物館	194人

体験プログラム参加者数合計

3,947人

③その他

展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を毎週土曜日に実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

教員の方にティーチャーズクラブを知っていただくために、研究会や研修会の際に趣旨の説明と加入依頼を行った。また、学校見学における引率者については、ティーチャーズクラブ加入を勧める対応をおこなった。

ii 会員数（令和5年3月31日現在）

校種	会員数（人）
小学校	1,281
中学校	571
高等学校・特別支援学校	959
教育庁	60
総合教育センター	37
教育事務所等	7
総計	2,915

iii 教員視察人数（ティーチャーズクラブ以外の視察も含む）

令和4年度 教員視察人数

（令和5年3月31日現在）

1 ティーチャーズクラブ視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	8	10	18	企画展 伝える－災害の記録
5月	7	5	12	企画展 伝える－災害の記録 シンボル展 天津司の舞
6月	8	0	8	シンボル展 天津司の舞
7月	23	25	48	企画展 南極展
8月	39	55	94	企画展 南極展
9月	9	12	21	企画展 南極展
10月	4	6	10	企画展 山梨と新聞
11月	4	12	16	企画展 山梨と新聞
12月	5	8	13	企画展 山梨と新聞
1月	14	0	14	シンボル展 木造源頼朝坐像
2月	17	0	17	シンボル展 木造源頼朝坐像
3月	0	0	0	企画展 印章
合計	138	133	① 271	

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

2 教育センター視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	0	6	6	企画展 伝える－災害の記録
5月	1	0	1	企画展 伝える－災害の記録 シンボル展 天津司の舞
6月	1	0	1	シンボル展 天津司の舞
7月	1	3	4	企画展 南極展
8月	4	14	18	企画展 南極展
9月	1	3	4	企画展 南極展
10月	0	1	1	企画展 山梨と新聞
11月	0	6	6	企画展 山梨と新聞
12月	1	3	4	企画展 山梨と新聞
1月	3	0	3	シンボル展 木造源頼朝坐像
2月	13	0	13	シンボル展 木造源頼朝坐像
3月	0	0	0	企画展 印章
合計	25	36	② 61	

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

3 校外学習の下見人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	39	1	40	企画展 伝える－災害の記録
5月	4	0	4	企画展 伝える－災害の記録 シンボル展 天津司の舞
6月	0	0	0	シンボル展 天津司の舞
7月	17	6	23	企画展 南極展
8月	59	36	95	企画展 南極展
9月	4	0	4	企画展 南極展
10月	4	0	4	企画展 山梨と新聞
11月	2	2	4	企画展 山梨と新聞
12月	3	0	3	企画展 山梨と新聞
1月	4	0	4	シンボル展 木造源頼朝坐像
2月	5	0	5	シンボル展 木造源頼朝坐像
3月	0	0	0	企画展 印章
合計	141	45	③ 186	

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

4 教員の研修

名 称	常設	企画	計
8/18 博物館を活用した授業づくり研修会	6	6	12
合計	6	6	④ 12

①+②+③+④	530
---------	-----

①授業の一環としての博物館利用

	来館日時	学 校 名	人数(人)			来館日時	学 校 名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月14日(木)	南部中学校	40	6	46	10月3日(月)	下吉田第一小学校	21	4
2	4月15日(金)	早川中学校	8	5	47	10月5日(水)	国母小学校	49	4
3	4月18日(月)	宝小学校	18	2	48	10月6日(木)	小菅小学校	6	3
4	5月11日(水)	小立小学校	55	5	49	10月6日(木)	長坂小学校	46	4
5	5月11日(木)	都留第二中学校	89	8	50	10月12日(水)	下吉田東小学校	40	4
6	5月12日(木)	櫛形中学校	32	2	51	10月12日(水)	増穂小学校	55	5
7	5月12日(木)	韮崎東中学校	33	2	52	10月13日(木)	静岡県高洲小学校	117	9
8	5月12日(木)	韮崎西中学校	4		53	10月17日(月)	竜王西小学校	52	4
9	5月12日(木)	白根御勅使中学校	4	1	54	10月19日(水)	双葉東小学校	123	8
10	5月13日(金)	高根中学校	34	2	55	10月20日(木)	新田小学校	9	6
11	5月13日(金)	泉巨摩中学校	31	4	56	10月20日(木)	大国小学校	70	7
12	5月13日(金)	白根巨摩中学校	6	1	57	10月21日(金)	甘利小学校	52	4
13	5月13日(金)	双葉中学校	4		58	10月21日(金)	山梨小学校	61	7
14	5月19日(木)	谷村第一小学校	38	5	59	10月24日(月)	初狩小学校	11	3
15	5月19日(木)	素和美中学校	7		60	10月26日(水)	上野原西小学校	64	6
16	5月20日(金)	田富中学校	3	1	61	10月26日(水)	長野県開明小学校	80	9
17	5月20日(金)	須玉中学校	2		62	10月26日(水)	猿橋中学校	30	3
18	5月20日(金)	甲府城西高校	71	4	63	10月27日(木)	大里小学校	74	7
19	5月21日(土)	竜王中学校	42	3	64	10月28日(金)	石田小学校	46	5
20	5月23日(月)	玉諸小学校	122	6	65	10月31日(月)	舞鶴小学校	42	3
21	5月26日(木)	日下部小学校	51	4	66	11月2日(水)	上野原小学校	63	6
22	5月28日(土)	都留文科大学	11	1	67	11月4日(金)	韮崎北東小学校	60	4
23	6月1日(水)	富士河口湖高等学校	155	10	68	11月7日(月)	東小学校	44	4
24	6月2日(木)	禾生第二小学校	49	5	69	11月9日(水)	善誘館小学校	28	3
25	6月3日(金)	新紺屋小学校	29	3	70	11月10日(木)	櫛形西小学校	11	3
26	6月3日(金)	県立盲学校(小)	1	2	71	11月14日(月)	上野小学校	10	2
27	6月16日(木)	国母小学校	65	4	72	11月16日(水)	日川高校	44	2
28	6月17日(金)	下山小学校	19	2	73	11月17日(木)	駿河甲府小学校	75	4
29	6月22日(水)	富沢小学校	17	2	74	11月18日(金)	笛吹支援センターステラ	14	5
30	6月22日(水)	笛吹高校	215	16	75	11月25日(金)	白根源小学校	20	2
31	6月23日(木)	甲府支援学校(中)	6	9	76	12月7日(水)	韮崎高校	33	6
32	7月6日(水)	目黒区第十一中学校	61	9	77	12月7日(水)	町田市立小山ヶ丘小学校	14	5
33	7月6日(水)	山梨大学付属中学校	79	2	78	12月21日(水)	竜王小学校	65	4
34	7月6日(水)	目黒区第十一中学校	63	17	79	2月8日(水)	身延小学校	23	2
35	7月13日(木)	市川南中学校	16	6	80	2月16日(木)	春日居小学校	45	4
36	7月29日(金)	山梨学院大学付属小学校	17	2	81	2月17日(金)	韮崎小学校	56	5
37	7月29日(金)	山梨学院大学付属小学校	11	2	82	3月3日(金)	長坂小学校	64	4
38	8月25日(木)	須玉中学校	2	2	83	3月8日(水)	あおぞら保育園	15	4
39	8月29日(月)	春日居小学校	57	6	84	3月13日(月)	素和美小学校	11	2
40	9月1日(木)	吉田西小学校	43	5	85	3月13日(月)	素和美中学校	14	
41	9月2日(金)	石和東小学校	87	10	86	3月17日(金)	石和東小学校	17	2
42	9月2日(金)	相川小学校	63	4	87	3月20日(月)	竜王東小学校	45	4
43	9月7日(木)	羽黒小学校	56	5					
44	9月22日(木)	山中小学校	35	5					
45	9月29日(木)	秋山小学校	9	4					
						小 計		3,679	376
						総 計		4,055	

②出前授業

■出前授業実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和4年4月22日(金)	北杜市立小淵沢中学校	北杜市立小淵沢中学校	富士山はなぜ世界遺産になったのか	森原明廣・乙黒 修	59
2	令和4年5月9日(月)	県立日川高等学校	オンライン授業	職業人と語る	小畑茂雄	200
3	令和4年5月18日(水)	富士川町立増徳南小学校	富士川町立増徳南小学校	富士川舟運について	中野賢治・和智勝政	102
4	令和4年6月15日(水)	県立笛吹高等学校	県立笛吹高等学校	博物見学の事前学習	乙黒 修・和智勝政	233
5	令和4年9月29日(木)	甲州市立大藤小学校	甲州市立大藤小学校	養蚕について	丸尾依子・乙黒 修	12
6	令和4年10月5日(水)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	山梨の伝統行事・文化財	丸尾依子	50
7	令和4年10月19日(水)	県立甲府西高等学校	県立甲府西高等学校	山梨に伝わる人形田楽	丸尾依子	23
8	令和4年10月19日(水)	笛吹市立石和西小学校	笛吹市立石和西小学校	明治の大水害	小畑茂雄	23
9	令和4年10月26日(水)	市川三郷町立市川小学校	市川三郷町立市川小学校	甲府空襲	小畑茂雄	55
10	令和5年1月16日(月)	南アルプス市立御勅使中学校	南アルプス市立御勅使中学校	県内めぐり事前学習	和智勝政	75
11	令和5年1月23日(月)	県立日川高等学校	県立日川高等学校	職業人と語る	和智勝政	31
12	令和5年1月25日(水)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	62
13	令和5年1月27日(金)	富士河口湖町立富士豊茂小学校	富士河口湖町立富士豊茂小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	7
14	令和5年2月2日(木)	甲府市立大里小学校	甲府市立大里小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	72
15	令和5年2月6日(月)	甲府市立羽黒小学校	甲府市立羽黒小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	55
16	令和5年2月9日(木)	笛吹市立春日居小学校	笛吹市立春日居小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	47
17	令和5年2月15日(水)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	45
18	令和5年2月20日(月)	甲府市立甲府東小学校	甲府市立東小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	45
19	令和5年2月22日(水)	山梨学院幼稚園	山梨学院幼稚園	昔の道具	丸尾依子・乙黒 修	63
20	令和5年2月27日(月)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	72
21	令和5年3月2日(木)	韮崎市立韮崎小学校	韮崎市立韮崎小学校	修学旅行事前学習	乙黒 修	61
出前授業利用人数						1,392人

③教育センター・その他の団体との連携

■実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和4年8月18日(木)	山梨県総合教育センター・山梨県立博物館共催	山梨県立博物館	博物館を活用した授業づくり研修会	丸尾依子	6
2	令和4年10月7日(金)	山梨県総合教育センター	山梨県総合教育センター	初任者研修 博学連携研修会	乙黒 修	162

④職場体験

■職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
令和4年7月27日(水)～7月28日(木)	塩山高等学校	2	2
令和4年7月27日(水)～7月28日(木)	山梨高等学校	2	2
令和4年7月29日(金)	甲府東高等学校	2	2
合計	3校		6

⑤「山梨の未来を描こう」募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	24	141
中学校	2	8
合計	26	149

⑥子ども学芸員事業

	日付	曜	学校名	学年	人数(人)	常設展	企画展	備考
1	4月22日	金	小淵沢中学校	3	60			出前授業
2	5月23日	月	玉諸小学校	4	125	○		見学
3	10月21日	金	甘利小学校	6	52	○	○	見学
4	2月15日	水	石和東小学校	3	28			出前授業
認定数					265			

⑧貸出教材（ミュージアム・キット）

	借用期間	学校名等	キット名	備考
1	令和4年5月25日～5月27日	山梨大学付属支援学校	戦国時代キット 江戸時代キット	高等部1、2年 生活単元学習
2	令和4年5月27日～6月10日	山梨県ろう学校	江戸時代キット 旅姿キット	全校生徒 図書教養行事
3	令和4年6月3日～6月5日	鳥沢小学校	旅姿キット	6学年：社会
4	令和4年6月6日～6月8日	甲府支援学校	旅姿キット	中学部2年生：校外学習事前学習
5	令和4年9月24日～10月8日	城南中学校	木簡キット	1年：歴史
6	令和4年10月6日～10月21日	甘利小学校	戦国時代キット	6年：社会科
7	令和5年2月3日～2月17日	県立特別支援学校 うぐいすの杜学園	戦国時代キット	小学部：社会科
8	令和5年2月17日～3月3日	県立特別支援学校 うぐいすの杜学園	江戸時代キット	小学部：社会科
9	令和5年3月3日～3月15日	県立特別支援学校 うぐいすの杜学園	石臼	小学部：社会科
小計（小・中学校）				3
小計（高等学校・特別支援学校）				6
総 計				9

⑨大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】 令和4年8月10日（水）から同年8月18日（木）まで（計8日間）

【受け入れ人数】 12人（男6人、女6人）

【実習生所属大学】

- ・山梨大学・成城大学・立正大学・都留文科大学・帝京大学・東京大学・大正大学

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・展示実務実習
- ・県立博物館職員との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名（科目名）	期 間
近藤 暁子	中央大学（日本美術史、博物館実習）	令和4年4月1日（金）～令和4年9月20日（火）
丸尾 依子	成城大学（博物館学実習〈民俗学〉）	令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）
海老沼真治	身延山大学（博物館情報・メディア論、博物館経営論）	令和4年10月1日（土）～令和5年3月31日（金）
小畑 茂雄	山梨大学（博物館展示論）	令和4年10月1日（土）～令和5年3月31日（金）
中野 賢治	山梨県立大学（日本の歴史）	令和4年4月1日（金）～令和4年9月30日（金）
中野 賢治	都留文科大学（博物館資料論）	令和4年10月1日（土）～令和5年3月31日（金）

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

日時：令和4年7月18日（月・祝）

場所：アイメッセ山梨

参加者数：119名

参加館数：11館

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から人数を制限し実施。

【ミニブック配布】

配布及びホームページでのダウンロード期間：令和4年7月18日（月・祝）～8月31日（水）

参加館数：49館

配布場所：各館、岡島百貨店6階 丸善ジュンク堂書店

【動画配信】

配信期間：令和4年7月18日（月・祝）～8月31日（水）

参加館数：11館

【自由研究なんでも質問箱】

質問受付期間：令和4年7月18日（月・祝）～8月26日（金）

質問数：4件

【ミニワークショップ】

日時：令和4年8月5日（金）

場所：岡島百貨店7階 特設会場

参加者数：147名

参加館：武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）・山梨県立博物館

■令和4年度総会

日時：令和4年5月19日（木）

場所：生涯学習室

内容：令和4年度夏休み自由研究プロジェクト 合同プレゼンの実施方法について

■令和4年度講習会

日時：令和5年1月27日（金）

場所：生涯学習室

内容：博物館・美術館の広報活動

講師：山梨県立科学館 市川大陸氏

山梨県立博物館 松田美沙子

(4) 広報

年3回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政たより「ふれあい」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送、SNS等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

■かいじあむ通信 Kai（交い）一覧

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 Kai（交い）夏休み特別号	令和4年6月20日
かいじあむ通信 Kai（交い）第56号	令和4年9月3日
かいじあむ通信 Kai（交い）第57号	令和5年2月8日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	令和4年9月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
令和4年4月	45	5,370	17	960
5月	56	6,450	4	480
6月	12	2,730	15	480
7月	21	3,810	6	480
8月	5	1,410	12	960
9月	20	4,050	8	480
10月	61	5,930	8	480
11月	86	15,250	3	480
12月	21	4,610	6	480
令和5年1月	96	12,220	8	720
2月	38	13,930	20	1,440
3月	37	6,490	7	480
計	498	82,250	114	7,920

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

9：00から17：00

(書庫内資料の請求、複写申込は16：30まで)

(即日閲覧資料の請求は、15：00まで)

入室は無料

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類、主な歴史分野の図書、逐次刊行物、『山梨県史』や県内市町村史誌類など郷土研究に関する資料等、約3,000冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。

・収蔵資料のうち、県立図書館から移管した古文書・古記録等の一部は即日閲覧可能である。

・「甲州文庫」の画像データや古文書のマイクロフィルムは資料閲覧室内の端末で即日閲覧できる。

・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧できる。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のデジタル化・マイクロ化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連図書紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連図書の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史関係や自然観察の図書、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(2台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■令和4年度 資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入室者	93人	120人	110人	343人	684人	227人	125人	160人	62人	67人	138人	253人	2,382人
ビデオ利用	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	2件
レファレンス	レファレンス	8件	13件	9件	4件	15件	8件	6件	14件	10件	5件	11件	119件
	利用相談	6件	4件	5件	8件	6件	3件	6件	9件	3件	7件	15件	95件
	小計	14件	17件	14件	12件	21件	11件	12件	23件	13件	12件	26件	214件
複写	件数	5件	13件	13件	10件	20件	16件	16件	11件	6件	11件	21件	170件
	電子式	39枚	70枚	114枚	24枚	129枚	174枚	181枚	146枚	81枚	182枚	117枚	1,388枚
	マイクロ、デジタル	0枚	350枚	34枚	412枚	196枚	66枚	335枚	20枚	74枚	293枚	246枚	2,354枚
	小計	39枚	420枚	148枚	436枚	325枚	240枚	516枚	166枚	155枚	475枚	363枚	3,742枚
キッズライブラリー利用	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	177人	113人	183人	217人	575人	1,265人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため閉鎖していたビデオライブラリー、キッズライブラリーを令和4年11月3日から再開。



展示関連図書紹介「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」
期間：令和5年1月21日（土）～2月20日（月）

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成29年度にシステムの入替を行い、平成30年3月1日に本稼働させた。このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理、検索、閲覧するためのシステムである。資料の目録情報、受入情報、付随する画像情報、レファレンス情報、地域情報、また閲覧・撮影・展示業務の情報管理も行っている。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報の検索端末の設置、地域インデックスにおける地域情報端末での各種県内情報の発信をしている。館外では、博物館ホームページにおける収蔵資料・図書情報・レファレンス情報などの提供を行っている。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。インター

ネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内各システムをネットワークで相互に接続し、情報の連携を図っている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より、ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等各種情報を公開し、随時更新している。

■ ホームページの主な更新履歴

令和5年3月18日 累計アクセス数170万件を突破。

■ 「収蔵資料案内」ページの更新

収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

■ 検索可能件数（令和5年3月31日現在）

- ・ 歴史資料等 85,302件
- ・ 図書類 54,549件
- ・ レファレンス事例 509件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式ツイッター：kaiseum_ypm



■ 令和4年度 ホームページアクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
令和4年4月	9,923	343	13,408
5月	11,608	392	12,211
6月	11,855	387	11,245
7月	18,068	594	23,741
8月	25,624	840	22,282
9月	15,764	551	10,819
10月	12,447	407	11,294
11月	11,050	375	9,733
12月	6,486	283	5,754
令和5年1月	13,020	382	9,656
2月	12,278	444	7,402
3月	21,427	690	9,253
計	169,550	474	146,798

ツイッターフォロワー数 (令和5年3月末日現在)	5,113
-----------------------------	-------

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

令和4年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、第1部を展示資料や展覧会テーマゆかりの地を歩くツアー、第2部をギャラリートークとして、展示のテーマを題材に地域と博物館を結びつけることを目指した事業が定着している。令和4年度は、秋の企画展「山梨と新聞」及び冬のシンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」について、地域を訪ねるツアーと展示室や生涯学習室でのギャラリートークを実施した。

また、開催中の企画展や常設展の魅力を広く紹介し、博物館に足を運んでいただくきっかけづくりとするため、山梨県立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施した。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

① かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和4年11月2日(水)から 同年11月16日(水)まで	企画展「山梨と新聞」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	200人
令和4年11月13日(日)	企画展「山梨と新聞」ゆかりの地ツアー	山梨県立博物館 韮崎市穂坂町	17人
令和5年1月25日(水)から 同年2月8日(水)まで	シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	197人
令和5年2月12日(日)	シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」ゆかりの地ツアー	山梨県立博物館 甲府市善光寺	27人

参加者数合計 441人

②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和4年11月20日(日) ～11月23日(水・祝)	通信簿ツアー	山梨県立博物館	400人
令和5年1月29日(日)	意見聴取会	山梨県立博物館	7人

参加者数合計 407人

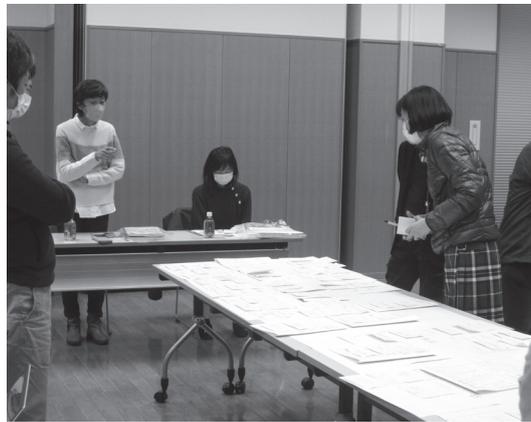
※委託先のNPOについては、令和4年10月24日(月)に、両事業ともNPO法人「つなぐ」と委託契約を結んだ。



令和4年11月13日(日)実施の企画展「山梨と新聞」ゆかりの地ツアーの様子。韮崎市にある山梨日日新聞社新聞印刷センターを見学した。参加者には、企画展「山梨と新聞」の見どころを記載した「ミニブック」を配布した。



令和5年1月25日(水)から2月8日(水)まで実施したミニ展示の様子。県立博物館で開催中のシンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」の展示内容を県立図書館に出張して紹介した。参加者には、シンボル展「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」の楽しみ方ガイドブックを配布し、シンボル展に興味をもったいただき、県立博物館に来ていただくきっかけづくりに努めた。



令和5年1月29日(日)実施の意見交換会の様子。「何を観たい? 展覧会のアイデア大募集」をテーマとし、県立博物館のこれからの展覧会について話し合った。

(2) 博物館協力会(ボランティア)との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが50名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や鳥など野外施設の管理
- ・広報物発送の補助
- ・来館者への展示ガイド(今年度不実施)
- ・館蔵の資料の整理(今年度不実施)

■令和4年度の協力会の主な活動

令和4年6月5日(日) 第1回 運営委員会
協力会総会について

- 6月12日(日) 協力会総会(平成3年度事業・決算の報告、令和4年度事業・予算の決定)
- 9月11日(日) 第2回 運営委員会
- 11月13日(日) 歴史ウォーキング(国衙・成田熊野神社・姥塚古墳他)
- 12月10日(土) 研修旅行(放光寺・恵林寺・甘草屋敷他)
- 令和5年2月18日(土) 第3回 運営委員会
機関誌『協力会だより』について
運営委員について

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、その他不定期イベントの補助 ※イベント等に向けた学習会も含む
- ・発送作業…ポスター・ちらし等の発送作業補助
- ・畠作業…野菜の栽培・草取り・石拾い等の作業
- ・お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」講師



国衙付近を巡る歴史ウォーキング(令和4年11月)



山梨市・甲州市への研修旅行「清白寺」にて(令和4年12月)

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

展示交流員研修一覧

日 時	内 容
令和4年9月16日（金）	自衛防災訓練に関する研修・ガイド研修

(2) 第三者委員会

①山梨県立博物館運営委員会

i 委員名簿（50音順、敬称略）

氏 名	勤務先・役職等
相 沢 季 里	元白根高校校長
市 川 美 季	行政経験者
大 隅 清 陽	山梨大学教授
小 澤 龍 一	(財) やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター元所長 みんなでつくる博物館協議会委員長 ※運営委員任期：令和4年7月14日まで
清 雲 俊 元	山梨郷土研究会理事長 ※運営委員任期：令和4年7月14日まで
笹 本 正 治	長野県立歴史館特別館長
末 木 健	山梨県考古学協会名誉会長
中 山 誠 二	南アルプス市ふるさと文化伝承館館長、帝京大学客員教授

ii 運営委員会の検討状況

■第51回運営委員会

日 時：令和4年6月30日（木）

検討内容：運営要綱の改正について

令和5年度以降の企画展、シンボル展について

令和5年度の新規研究計画について

■第52回運営委員会

日 時：令和4年12月14日（水）

検討内容：令和5年度の企画展・シンボル展および令和6年度の企画展計画について

■第53回運営委員会

日 時：令和5年3月20日（月）

検討内容：令和7年度以降の企画展について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第II編第3章で詳述。

③みんなで作る博物館協議会

i みんなつく委員名簿（50音順、敬称略）

氏 名	勤務先・役職等
浅 川 初 美	元山梨放送アナウンサー
足 達 郁 也	山梨県農業協同中央会専務理事
小 澤 龍 一	(財)山梨文化学習協会生涯学習推進センター元所長
北 原 対 馬	山梨銘醸株式会社代表取締役
工 藤 麻 子	忍野児童館
末 木 健	山梨県考古学協会名誉会長
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出 澤 忠 利	(株)印傳屋上原勇七総務部長
戸 田 達 昭	シナプテック(株)代表
長 沢 宏 昌	石和温泉活性化研究会副理事長
中 村 茂	有限会社大屋ホテル代表取締役社長
初 鹿 紀 子	身延町立下山小学校元教頭
八 田 知 子	ホテル八田代表
古 屋 久 昭	山梨県詩人の会会長、やまなし県民文化祭文学部門専門委員

ii みんなつく検討状況

■令和4年度第1回みんなつく協議会 第1回全体会議

日 時：令和4年6月24日（金）

検討内容：令和4年度における課題について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
森原 明廣 近藤 暁子 小畑 茂雄 丸尾 依子 海老沼真治 中野 賢治 松田美沙子	山梨県富士山総合学術調査研究委員会調査員	山梨県富士山世界遺産センター	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日
森原 明廣	韮崎市文化財保存活用施設整備検討委員会委員	韮崎市	令和4年8月26日～ 令和5年3月31日
近藤 暁子	韮崎市文化財審議会委員	韮崎市教育委員会	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
近藤 暁子	富士河口湖町史編纂委員会調査員	富士河口湖町教育委員会	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
近藤 暁子	甲州市文化財審議員	甲州市教育委員会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
丸尾 依子	甲府市文化財調査審議会委員	甲府市教育委員会	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日
丸尾 依子	南アルプス市文化財審議会委員	南アルプス市教育委員会	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日
丸尾 依子	甲斐市文化財保存審議会委員	甲斐市教育委員会	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日
中野 賢治	富士川町歴史文化館運営検討委員会委員	富士川町教育委員会	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日

(2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、7月20日（水）～8月3日（水）に令和4年度総会が書面にて開催された。

(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示協力

平成27年度に開館した山梨近代人物館及び平成28年度に開館した富士山世界遺産センターの展示等に当たっては、資料貸出や当館学芸員による展示作業、講座等で全面的に協力している。

■山梨近代人物館での展示事業

- ・第15回展示「山梨を舞台に活躍したひとびと」

令和4年3月25日（金）から9月19日（月・祝）まで開催。

前年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館および講座などの日程変更や中止があった

が、第7波の影響もありつつも事業を実施することができた。

また5月9日（月）から令和5年3月27日（月）まで、旧知事室での名誉県民展示のため、同室の再現家具類および絨毯が撤去された。

・第16回展示「わたしたちのまちの先駆者たち—峡東地域—」

令和4年9月23日（金・祝）から令和5年3月21日（火・祝）まで開催。

今年度の展示では、当館で開催の新聞展に関連して、野口英夫（第15回）および内藤伝右衛門（第16回）を紹介し、資料の出品にあたっては山梨日日新聞社の協力を得た。



山梨近代人物館第15回展示における、野口英夫らの展示状況。



旧知事室における名誉県民展示の展示状況。

第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の流行は続き、8月ごろに第7波（オミクロン株派生型）のピークを迎え、山梨県においては8月18日（木）にこの時点で最多となる1,662人の感染者数を記録した。こうした感染拡大状況に対して、令和4年度の博物館活動および運営は、基本的感染対策の普及や重症化率の低下がみられたこともあって、前年度までのような企画展などの中止・期間短縮などの措置はおこなわれなかった。

令和5年1月6日（金）には、山梨県における第8波（オミクロン株派生型）のピークを迎え、山梨県としては最多となる2,201人の感染者数を記録したが、企画展やイベントの中止などの措置はおこなわれなかった。

一方で、常設展示における接触を要する展示機器類（タッチパネルモニタ、引き出し型ケース、体験型展示各コーナーなど）については、引き続き利用停止を継続していたが、3月13日（月）からマスクの着用が個人の判断とする指針が政府から示されるなど、新型コロナウイルス感染症の社会的な対応も転機を迎えたこともあり、これら展示機器類の再開の検討・準備を開始し、2月15日（水）からタッチパネルモニタおよび引き出し型ケースの利用について再開に漕ぎつけた。

展示の利用については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いの変更（2類→5類）が検討されるなか、体験型展示各コーナーなど、いまだ利用の停止を継続している接触を要する展示についてもその再開を準備する方針とし、令和5年度に想定される2類への変更時を視野に準備することとした。（その後、令和5年5月8日（月）の5類移行を受けて、9日（火）の展示替えて対応措置をおこない、運用上の問題があった「歴史衣装の現場」を除き、10日（水）からほぼすべての体験型展示の再開をみた。）

新型コロナウイルス感染症をとりまく社会的な環境が変化するなか、博物館活動は基本的感染対策を継続しつつも、中止や制限をすることなく事業を実施するようになり、いわば「出口」を迎えつつあるとも考えられる。その一方で、新型コロナウイルス感染症関係資料については、収集状況は従来に比べて芳しくなく、春期企画展「伝える－災害の記憶」（令和4年3月11日～5月9日）に際して、それまで職員や新聞報道などをみた一般の方からの応募によって収集していたものを、一般からの募集を呼び掛けることとした。それでも応募数は伸び悩んでおり、さまざまな立場や状況での資料を収集することが望まれることや、スペイン風邪や関東大震災などの「非常時」においても、その「非常時」意識の終息状況においては急速に資料が散逸していった前例があることなどから、今後の資料収集の呼び掛けや普及に関する取り組みがより重要になるものと思われる。

(1) 感染症対策日誌

令和4年度は、前年度までとは異なり、基本的な感染予防対策を行いながら、企画展等は予定どおり開催することが出来た。

(2) 施設の整備と来館者対応

令和4年度も感染者が急増する時期があったものの、十分な感染予防対策を実施しながら、全ての企画展についてオープニングセレモニーも実施し、予定していた期間の開催を実現できた。

具体的な対策としては、令和3年度から引き続き入館者数を制限した。

メインエントランス、サブエントランスからの入館者を最大300名とし、超えた時点で入館を中止し、退館者があればその人数分を入館させる措置を継続した。このため、障害者・車椅子利用者、招待状・案内はがき保有者、貸室利用者、イベント参加者及び再入場者は、サブエントランスからの入館に限定し、それ以外をメインエントランスからの入館とした。

入館の導線を2つに分けたことにより、来館者の健康チェックを確実に実施することもできた。

ほかに前年度から引き続いて行った対策としては、来館者に対してホームページ上や出入口付近で感染症対策への協力を呼びかけるとともに、体調確認のためチェックシート記入への協力を求めた。また、チケット販売受付や改札など頻繁に対面対応が発生する場所には、飛沫防止用のアクリル板を設置継続した。受付や改札付近の足下へのライン表示、ロビーや展示室内の椅子やソファの撤去など密集・密接を回避するための措置も引き続き実施した。

その他、館内各所にアルコール消毒液、トイレにハンドソープを増設し接触感染の防止に努めるとともに、館内各所に注意喚起の掲示も行った。展示室においては密集を回避するため、展示室面積や空調設備の毎時総換気量を参考に、展示室ごとに定員を設けていた。

(3) 情報発信と収蔵資料の活用・資料収集

前年度から継続して、新型コロナウイルス感染症関係資料の収集や「ヨゲンノトリ」関係資料の収集を実施した。

新型コロナウイルス感染症関係資料は、医療の逼迫などの状況に配慮して、限定的な収集活動を進めてきたが、非常時に関する資料の急速な散佚が危惧されることもあり、災害に関する企画展の開催に併せる形で、令和4年(2022)3月10日からは一般からの公募を受け付けることとした。その結果、資料の他にもコロナ禍に関する文芸作品などが寄せられたが、その応募数は伸び悩んでいる。

本年度は新型コロナウイルス感染症関係資料の活用や普及については、展示などに供する機会はないものの、博物館や図書館活動の研究分野では関心が高く寄せられており、日本図書館協会の『ネットワーク資料保存』(第128号 令和4年6月)には、当館職員により「山梨県

山梨県立博物館では、**新型コロナウイルス感染症にまつわるモノ(資料)と記憶(証言)**を集めています!

博物館は大昔のモノを集めているだけではありません。現代の私たちの社会の出来事や文化に関するモノや記憶を、未来の山梨の人々に継承することも、博物館の大事な仕事のひとつです。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、現代の生活や文化に大きな影響を与えた私たちの「歴史的体験」ともいえるものであり、私たちがどのようにパンデミックに向き合ったかを後世に継承していくことは、地域社会にとっても大事なことです。

山梨県立博物館では、県民のみなさんがお持ちの新型コロナウイルス感染症に関するモノ(資料)や、この大変な時期に体験したことや感じたことの記憶(証言・写真)を集めています。100年後の山梨の人々に向けて、多様な資料や記憶を残せるように、多くのみなさまのご協力をお願いいたします。

それぞれにとってのコロナについての記憶
証言

大事に守りたいモノ
モノ

写真
地域とコロナに関する記憶

私たちの大変だった思いや記憶を、後世の人々に残していきたい。

詳しくは応募リーフレットをご覧ください。
山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

公益財団法人 山梨県立博物館 学芸課 (担当: 本間)
〒406-0801 山梨県市川郡坂町1501-1
電話 055-261-2631 メールアドレス kushakuj@pref.yamanashi.lg.jp

新型コロナウイルス感染症関係資料の募集を広報するポスター

立博物館における新型コロナウイルス感染症関係資料の収集と現況について」と題した論考を寄稿している。

(4) 展示・公開

①展示・公開

常設展示の観覧は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度より引き続き展示の一部（鑑賞学習型展示の接触型展示部分や体験型展示の一部）を閉鎖していたが、10月26日（水）より鑑賞学習型展示の一部（引き出し型ケース内展示、タッチパネル形式の情報端末）を使用可能とした。

シンボル展については「国指定重要無形民俗文化財 天津司舞 900年の想いととも」(5月28日（土）～6月27日（月）)「山梨県指定文化財 木造源頼朝坐像」(1月21日（土）～2月20日（月）)を予定どおり開催した。

企画展については、「伝える－災害の記憶展 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」(令和4年3月11日（金）～5月9日（月）)のオープニングセレモニー及び内覧会は感染拡大防止のため中止となったが、それ以降に開催した「たんけん！はっけん！南極展－壮大な自然と人々の物語－」(令和4年7月16日（金）～9月5日（月）)、「山梨と新聞－知識ヲ広ムルハ新聞ヲ求ムルニ在リ－」(令和4年10月15日（金）～12月5日（月）)、「印章－刻まれてきた歴史と文化」(令和5年3月11日（金）～5月8日（月）)についてはオープニングセレモニー及び内覧会をともに実施した。なお、内覧会についてはこれまでの担当学芸員によるギャラリートーク形式でなく、冒頭で展覧会概要説明を行った後、自由観覧という形式をとった。

②閲覧業務

資料閲覧室は感染症拡大防止の観点から消毒と換気のため、令和3年4月1日（木）から12時～13時、16時～17時閉室していた。この閉室を段階的に廃止し、8月6日（土）から昼の閉室を、11月3日（木）からは16時からの閉室を取りやめた。消毒換気は継続して行っている。またビデオライブラリー、キッズライブラリーについても11月3日（木）より再開している。

(5) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

今年度は研究会を開催しなかった。

②学校見学

感染症対策の徹底を行った上で、学校見学の受け入れを実施したが、人数制限や体験型展示の閉鎖に対応する形で実施した。オリエンテーションを簡略化した上で、児童・生徒を少人数のグループに分けて、展覧会（常設展・企画展）を見学する班、生涯学習室で映像資料を視聴する班、庭でワークショップを行う班など、館内で分散させ学校見学を実施した。

利用数については、87校であった。県内巡り・県内探訪という形で、中学生はグループ毎に公共交通機関を利用して来館する生徒が少しずつ増えてきたが、多くは大型バスを利用して来館する学校が目立った。また、修学旅行や宿泊学習の利用で、県外の学校利用も見られた。

③出前授業

「昔の道具とくらし」の出前授業については、今年度より、消毒等の感染症対策を行い、石臼・天秤棒・洗濯板などを持参する形で実施した。授業は映像での学習と実際に体験してもらう学習の2部構成とした。また、基本的に接触するものがない出前授業については、学芸員が各校に赴き、感染症対策を行った上で実施した。



「昔の道具とくらしの出前授業」実施風景

④貸出教材（ミュージアム・キット）

すべてのキットの貸し出しを再開したが、返却後、次の使用まで間を空けるなど感染症対策を行った。

⑤職場体験

3校8名の利用があり、職員と同様の感染症対策を行った上で実施した。

⑥「山梨の未来を描こう」

学校現場での授業時数の確保、学校行事の変更等を考慮し、募集の締め切りを8月末とせずに、9月12日として実施した。

⑦学芸員実習

学芸員実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底するなかで実施した。

⑧その他

総合教育センターとの共催であった「博物館を活用した授業づくり研修会」は参加者が6名であったが、感染症対策を行った上で予定通り実施した。「初任者研修」については、博物館に来館せずに、教育センター大研修室にて講義形式で実施した。今年度より、ことぶき勸学院の見学についても再開した。子ども学芸員事業については例年どおり実施した。

(6) 県民参画（NPO・協力会）

①NPO「ゆかりの地ツアー」

秋の企画展「山梨と新聞」関連イベントとして、「ゆかりの地ツアー」を韮崎市にある山梨日日新聞社新聞印刷センターで実施した際は、密を避けるため定員を20人と限定し、参加者を募集した（17名の参加）。手指消毒などの感染対策を実施しながら関連する施設を見学した後、博物館の生涯学習室において学芸員によるギャラリートークを行った。

シンボル展「山梨県指定文化財 木造 源頼朝坐像」でも、甲府市善光寺を見学する「ゆかりの地ツアー」を実施した（27名の参加）後、博物館展示室内において学芸員によるギャラリートークを行った。

②NPO「通信簿ツアー」

令和4年11月20日（日）～11月23日（水）の期間に、「通信簿ツアー」を実施した。例年のように、異なる時期に年2日実施するのではなく、前年度同様、秋の企画展開催中に一定期間実施日を設けて実施し

た。なお、接触感染のリスクを少なくするため、記入した通信簿はお帰りになる際に投函してもらう形とした。また、鉛筆についても、消毒したものを常に使用した。

③協力会

協力会の活動は、新型コロナウイルス感染症が蔓延するなかで、従来通りの活動を十分に行うことができなかった。まず総会や運営委員会は、十分なスペースを確保したうえで、生涯学習室で実施した。日常の活動に関しては、ミュージアムショップの運営、畠での作業、刊行物の発送準備および発送作業については、十分に対策を取ったうえで通常通り実施したが、資料整理および子ども工房の作業補助については、感染拡大防止の観点から今年度の実施は見合わせた。研修旅行については、県外旅行やバスでの移動は感染リスクがあることから現地集合とし、県内の恵林寺、放光寺、甘草屋敷等の見学を行ったほか、歴史ウォークについては、定員を設けた上で感染拡大防止対策を行いながら、博物館周辺を散策した。

協力員の皆様からは、博物館における協力会の活動に参加したい気持ちがあるが、感染のリスクを考えると躊躇してしまうというお声を多く頂戴した。また、十分な活動の機会を設けることができないため、新規の協力員の募集を停止した。

(7) イベント

①講演会・講座・シンポジウム

令和4年度の「館長トーク」・「古文書講座」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事前に往復ハガキで申し込みを受け付け、抽選にて参加者を決定する形で実施をした。また、関連資料については、当館ホームページからもそれぞれダウンロードできるようにした。記念講演会についても、事前申し込みの形で定員を設け、感染対策を取りながら実施した。

かいじあむ講座、ギャラリートークについては、当日整理券を配布したうえで定員30名とし、どちらも生涯学習室にて実施した。(一部ギャラリートークについては展示室内にて実施)

②体験プログラム

お庭ガイドは、4月より先着定員10名で実施した。寺子屋ひろばは、展示交流員がお客様に接触せずに実施できる内容を基本としたうえで、エントランスロビーや常設展示室内の寺子屋ひろばを会場に、先着定員6名で実施した。子ども工房は、事前電話予約制を取り、日に数回に分けての実施とし、回ごとに定員を設けて実施した。会場は定員と体験内容により、エントランスロビー、体験学習室と各所での実施とした。職員とお客様が直接接触しないよう配慮した他、使用した道具類は、各回終了時にアルコール消毒を行った。

子どもの日(5月)・夏(8月)・秋(11月)・正月(1月)の「祭り」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から内容を精査し、感染対策を取ったうえですべて実施した。

③その他

展示交流員によるスルーガイドは先着定員10名で実施した。交流員はマスクを着用のうえ、十分に来館者と距離を取り感染拡大防止対策を行ったうえでの実施とした。



マスクを着用の上実施したスルーガイド

(8) その他

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

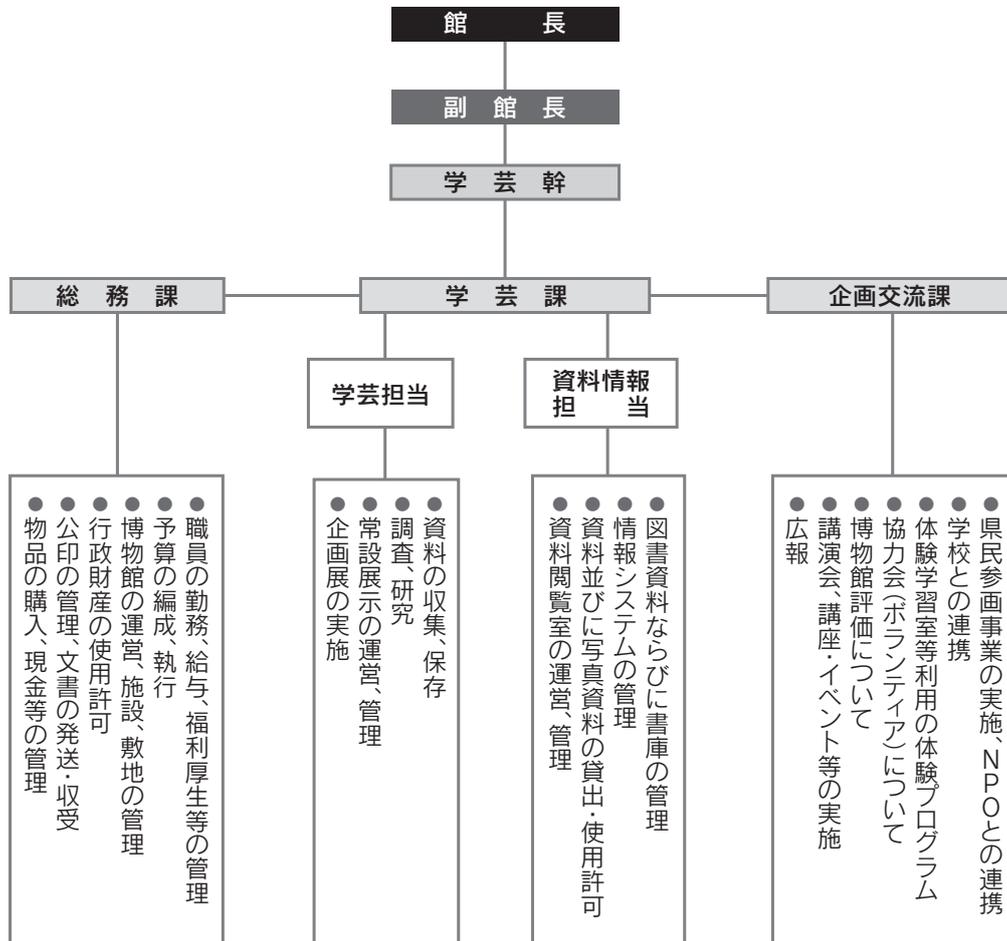
ミュージアム甲斐・ネットワークで例年実施している「博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト」であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2・3年度においてはアイメッセ山梨で実施していた合同プレゼンテーションは中止とした。令和4年度に関しては、人数制限を設けたうえで、アイメッセ山梨で開催した。

なお、ミニブックの作成については令和2・3年度同様、自宅にいてもミニブックが入手できるよう、当館ホームページから作成館全館分のミニブックデータをダウンロードできるようにした。また、今年度より動画の配信も開始し、山梨県立博物館の公式YouTubeチャンネルにて、各館作成の動画の配信もおこなった（ダウンロード及び動画配信期間：令和4年7月18日（月・祝）～8月31日（水））。

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



■関係委員会

・運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

・資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

・みんなで作る博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(R5.3.31現在)

館長	守屋 正彦		
副館長	小林 司		
学芸幹	森原 明廣		
総務課		学芸課	
	課長 渡邊 宏	課長(事務取扱)	森原 明廣 考古学
	副主査 武川 祐介	学芸担当	
	主事 深山 弘也	学芸員	近藤 暁子 美術
	会計年度任用職員 齊籐 敏	学芸員	小畑 茂雄 歴史
	会計年度任用職員 横小路恵李依	学芸員	海老沼真治 歴史
	会計年度任用職員 小幡 理美	学芸員	中野 賢治 歴史
	会計年度任用職員 古屋恵里佳	資料情報担当	
	会計年度任用職員 松野 美波	副主幹	込山たまき
	会計年度任用職員 今福 一仁	会計年度任用職員	石原 宝
	会計年度任用職員 今宮 美香	会計年度任用職員	郷田 敦子
	会計年度任用職員 岩間しのぶ	会計年度任用職員	早川 美保
	会計年度任用職員 田口 美加	会計年度任用職員	中野 志史
	会計年度任用職員 元谷 留美	企画交流課	
	会計年度任用職員 樋口 昌弘	課長	田口 明子
	会計年度任用職員 宇佐美玲子	主幹	乙黒 修
	会計年度任用職員 丸茂 哲雄	主幹	和智 勝政
	会計年度任用職員 三枝 宏好	学芸員	丸尾 依子 民俗
	会計年度任用職員 河野 麻耶	学芸員	松田美沙子 美術
	会計年度任用職員 丸山 美香	会計年度任用職員	村松 良子
	会計年度任用職員 玉眞香陽子		
	会計年度任用職員 米永 藍里		
	会計年度任用職員 鶴田 麻美		
	会計年度任用職員 飽津 陽介		
	会計年度任用職員 橋本 一騎		

2 令和4年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	64,842千円	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	16,817千円	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	241,926千円	施設管理、常設展示機器管理、会計年度任用職員等人件費
合計	323,585千円	

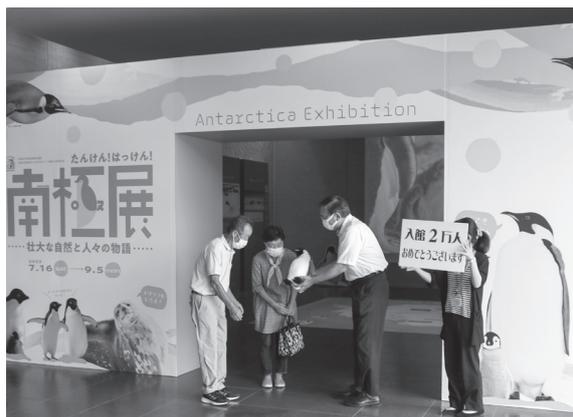
※職員給与費を除く

3 年間日誌

■主な出来事及び新聞記事から抄

- 令和4年4月22日（金） 山梨今昔 点描
～県立博物館用地～「山梨新報」
- 令和4年5月28日（土） 県立博物館「天津司の舞」テーマに展示
～人形、江戸期装束を公開～「山梨日日新聞」
- 令和4年6月10日（金） 中断を超えて続く地域と家族の物語
～「天津司舞－900年の想いととも」～「山梨新報」
- 令和4年6月22日（水） 唯一現存人形の田楽
～神々が舞い遊ぶ姿表現～「読売新聞」
- 令和4年7月14日（木） 南極挑んだ人々の足跡
～笛吹・県立博物館16日から企画展～「山梨日日新聞」
- 令和4年7月16日（土） 探検隊の足跡、生き物紹介
～県立博物館南極展きょう開幕～「山梨日日新聞」
- 令和4年7月17日（日） 南極の世界家族で“探険”
～県立博物館夏季企画展始まる～「山梨日日新聞」
- 令和4年8月1日（月） ペンギンの生態解説
～県立博物館南極展に合わせ教室～「山梨日日新聞」
- 令和4年8月4日（木） 南極での暮らし剥製や図で学ぶ「山梨日日新聞」
- 令和4年8月11日（木・祝） 南極展入館1万人
～県立博物館笛吹の家族に記念品～「山梨日日新聞」
- 令和4年8月12日（金） 生態系の変化を注視
～海氷減少に地域差、餌の変化も～「山梨新報」
- 令和4年8月21日（日） 南極探検隊率いた白瀬轟の生涯解説「山梨日日新聞」
- 令和4年8月30日（火） 南極の実体験語る
～観測隊員春日居小児童に～「山梨日日新聞」
- 令和4年9月2日（金） 南極展2万人突破
～県立博物館甲府の夫婦に記念品～「山梨日日新聞」
- 令和4年10月14日（金） 地域との歩み150年回顧
～県立博物館あすから「山梨と新聞」展～「山梨日日新聞」
- 令和4年10月15日（土） 山梨と新聞変遷たどる
～県立博物館きょうから企画展～「山梨日日新聞」

- 令和4年10月16日(日) 地方メディア役割紹介
～県立博物館山梨と新聞展開幕～「山梨日日新聞」
- 令和4年10月24日(月) 「思い出新聞」発行
～県立博物館 来館者に贈呈～「山梨新報」
- 令和4年11月4日(金) 新聞報道の在り方語る
～県博戦争の反省と教訓脈々～「山梨日日新聞」
- 令和4年11月13日(日) 取材秘話記者語る
～「山梨と新聞」展で講演～「山梨日日新聞」
- 令和4年11月19日(土) 天皇杯V写真に入り込もう
～県立博物館「山梨と新聞」展撮影コーナー人気～「山梨日日新聞」
- 令和4年11月21日(月) 特別号外プレゼント
～県立博物館で「秋まつり」～「山梨日日新聞」
- 令和4年11月28日(月) 野口二郎の功績評価
～県立博物館清雲さんが講演～「山梨日日新聞」
- 令和4年12月4日(日) 記者体験紙面を製作
～あすまで「山梨と新聞」展～「山梨日日新聞」
- 令和5年1月21日(土) 日本最古の頼朝像紹介
～県立博物館きょうからシンボル展～「山梨日日新聞」
- 令和5年1月26日(木) やまなし探・研
～頼朝像いつ造られた?～「山梨日日新聞」
- 令和5年1月30日(月) 頼朝最古の木像
～県立博物館で展示～「読売新聞」
- 令和5年3月10日(金) 印章文化の歴史たどる
～国宝「金印」山梨で初公開～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月11日(土) 国宝「金印」間近に
～県立博物館きょうから印章展～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月12日(日) 国宝目当てにぎわい
～県立博物館で「印章展」開幕～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月23日(木) 国宝「金印」の謎紹介
～県立博物館企画展で講演～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月24日(金) 印章と人々2000年の歴史をたどる
～「印章」一刻まれてきた歴史と文化～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月24日(金) 「印章展」1万人突破
～県立博物館レプリカ、図録贈る～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月30日(木) 印章産業の振興に意欲
～知事、企画展視察～「山梨日日新聞」
- 令和5年3月31日(金) 「博物館を身近に」4こま漫画6年間
～学芸幹・森原さんきょう最終回「山梨日日新聞」



令和4年9月1日(木)、「たんけん! はっけん! 南極展—壮大な自然と人々の物語—」の入館20,000人目の観覧者となったお客様へ、守屋館長から記念品を贈呈した。

令和4年度 山梨県立博物館年報

発行日 2023年9月30日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055 (261) 2631
印刷 株式会社 少国民社
